学則の変更の趣旨等を記載した書類

≪　目　次　≫

ア　学則変更（収容定員変更）の内容・・・・・・・・・・・・・・・　１

イ　学則変更（収容定員変更）の必要性・・・・・・・・・・・・・・　２

ウ　学則（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

（ア）教育課程の変更内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３

（イ）教育方法及び履修指導方法の変更内容・・・・・・・・・・・　７

（ウ）教員組織の変更内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３

（エ）大学全体の施設・設備の変更内容・・・・・・・・・・・・・　１４

学則の変更の趣旨等を記載した書類

ア　学則変更（収容定員変更）の内容

同志社女子大学は、「キリスト教主義」、「国際主義」、「リベラル・アーツ」を基本的な教育理念とし、創立以来女子教育の充実・発展に対する不断の取り組みにより、これまでも多くの受験生から志願され、安定的に入学者を確保してきた。今後も、社会から本学に寄せられる期待や要請に応えていくために、平成 32（2020）年度入学生から、同志社女子大学学則第４条第２項に定める、学芸学部メディア創造学科、学芸学部国際教養学科、現代社会学部社会システム学科、薬学部医療薬学科、看護学部看護学科、表象文化学部英語英文学科、生活科学部人間生活学科、生活科学部食物栄養科学科食物科学専攻の入学定員及び収容定員を下表のとおり変更する。

（単位：人）

学部	学科・専攻	現行 （平成 31(2019)年度）		変更後 （平成 32(2020)年度）		増加数	
		入学 定員	収容 定員	入学 定員	収容 定員	入学 定員	収容 定員
学芸学部	音楽学科 演奏専攻	75	300	75	300	0	0
	音楽学科 音楽文化専攻	40	160	40	160	0	0
	メディア創造学科	120	480	125	500	5	20
	国際教養学科	80	320	85	340	5	20
現代社会学部	社会システム学科	300	1,200	310	1,240	10	40
	現代こども学科	100	400	100	400	0	0
薬学部	医療薬学科	120	720	125	750	5	30
看護学部	看護学科	80	320	90	360	10	40
表象文化学部	英語英文学科	145	580	150	600	5	20
	日本語日本文学科	120	480	120	480	0	0
生活科学部	人間生活学科	80	320	90	360	10	40
	食物栄養科学科 食物科学専攻	55	220	60	240	5	20
	食物栄養科学科 管理栄養士専攻	80	320	80	320	0	0
計		1,395	5,820	1,450	6,050	55	230

イ．学則変更（収容定員変更）の必要性

同志社女子大学は、新島襄の先駆的な女子教育への情熱に基づいて設立された「女子塾」を起源とする。明治９（1876）年の創立以来、「キリスト教主義」、「国際主義」、「リベラル・アーツ」を基本的な教育理念として、円満な人格を涵養し、国際的視野に立って建設的にかつ責任をもって生活し得る女性の育成に努めてきた。

教育理念の「キリスト教主義」とは、キリストの教えに基づく自由と愛の精神を尊重する人格教育を実践することである。次に「国際主義」とは、新島襄の欧米における研鑽体験に基づき、国際的視野に立って世界を理解し、言語・宗教・文化等の違いを超えて、共生を目指す精神をもって国際社会に貢献しうる能力を養う教育を行うことである。最後に「リベラル・アーツ」とは、「人間とは何か、いかに生くべきか」という根源的な問いについて多様な視点から考察する精神を涵養する教育を展開することである。特に今日のように学問領域が広がりをみせ、高度化・専門化が著しく進む学問状況にあっては、ともすれば人間そのものが見失われてしまう危険性があるだけに、豊かな知性と高貴な人格を兼ね備えた人間教育が求められている。

上記の教育理念に基づく本学の教育研究活動に対する社会的評価については、入口（入学志願状況）と出口（就職状況）の両方から高い評価を得ている。

まず、入口での評価指標として過去５年間の志願者数をみると、本学全体で12,816名～14,736名の範囲で推移している【資料１】。近年の18歳人口の減少期においても、毎年入学者選抜の機能を十分に発揮できる志願倍率で約10倍の志願者数を確保しており、朝日新聞出版の「大学ランキング2019」では、一般入試の志願者数が全国の女子大学の中で4位となっている【資料２】。

株式会社リクルートマーケティングパートナーズが発表した「進学ブランド力調査2018」では、高校所在地が関西エリアの高校生の志願度ランキングにおいて、本学は全体の18位、男女別の女子では８位、文理別の文系女子で９位、理系女子で６位となっており、いずれも女子大学としては最上位となっている。また、同調査の関西エリアにおける知名度ランキングでは、本学は全体の18位、男女別の女子では６位、文理別の文系女子で８位、理系女子で７位と高校生から高い認知度を得ている【資料３】。本学が同調査の関西エリアにおける各イメージ項目の全体もしくは女子を対象に、上位15位までにランキングされた項目数は、平成27（2015）年度以降増加傾向にあり、平成30（2018）年度では全47項目中16項目にランクインしている【資料４】。本学に対する高校生の認知度は着実に広がっていると考えている。また、前述の朝日新聞出版「大学ランキング2019」の女子大ランキングにおいて、「高校からの評価」の項目では全国の女子大で３位となっており【資料２】、株式会社日程BPコンサルティングによる「大学ブランド・イメージ調査（2017-2018）」近畿編では、ビジネスパーソンが選ぶ大学ブランド力ランキングにおいて10位となっている【資料５】。このように本学は受験生や高校生だけでなく、高校教員やビジネスパーソンからも高い評価を得ており、良好なブランドイメージを醸成している。

一方、出口での評価指標として卒業生の就職実績をみると、過去５年間の本学全体の就職決定率は96.8%～98.5%と極めて高い実績を維持している【資料６】。平成29（2017）年度の企業規模別就職者数では、従業員数が500人以上の大企業への就職決定者の割合が全体の54.5%を占めている【資料７】。求人についても、本学の所在する京都府や近畿のみならず日本全国の企業等から数多くの求人件数が寄せられており、本学で教育を受けた学生に対する社会からの需要や関心は高いといえる【資料８】。

このような社会からの期待や要請に応えるために、本学ではこれまでできる限り門戸を広げ、学生を受け入れてきた。その結果、今回収容定員を増加する各学科の過去５年間（平成26（2014）年度～平成30（2018）年度）の入学定員充足率の平均は、メディア創造学科は1.08倍、国際教養学科は1.10倍、社会システム学科は1.09倍、医療薬学科は1.06倍、看護学科は1.02倍、英語英文学科は1.11倍、人間生活学科は1.13倍、食物栄養科学科食物科学専攻は1.15倍といずれも1.00倍を超え、入学定員を超える入学者を受け入れる状況となっている【資料１】。

本学としては、入学を希望する多くの優秀な受験生に対し、できる限り門戸を開きながらも、教育の質を保証していくためには、現状の定員充足状況を上回らないようにすることが重要であると考えている。また、同時に入学定員充足率が恒常的に1.00倍を超えている現状は、適正な定員管理の上で望ましいことではないことも認識している。そのため、今回の収容定員変更は、今後もできるだけ多くの受験生に本学で教育を受ける機会を提供し、優秀な女性を社会に多数輩出することを目指しながらも、教育研究活動の質的な低下を招かないように、現状の入学者受入数をもとに最小限の増員を行うものである。なお、今後は今回収容定員を変更しない学科も含めて入学定員の管理には、より一層の注意を払い、適正な定員管理に努めていく。

ウ．学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

（ア）教育課程の変更内容

本学では、ディプロマ・ポリシーに掲げる能力や資質を涵養するとともに、学生一人ひとりの能力を最大限引き出し、それぞれの興味や関心に従って自己の進路を切り開く力を身に付けることができるよう教育課程を編成している。

具体的には、幅広い教養を身に付け、広い視野を拓くため、全学部学科共通に「共通学芸科目」「キリスト教・同志社関係科目」「外国語科目」「スポーツ・健康科目」の各科目区分を設け、それぞれの区分に多様な科目を設置するとともに、他学部他学科科目や他大学の科目を履修する機会を豊富に用意している。また、専門分野のカリキュラムは、「基礎教育科目」や「入門・概論科目」などから「応用・各論科目」などへと段階的、発展的に科目区分を設け、最終的には「卒業研究」や「卒業論文」などにつながるように編成している。

今回収容定員を変更する各学科については、継続的に教育課程の整備と充実に努めており、収容定員を変更した場合でも教育上の支障はないものと考えていることから、収容定員変更に伴う教育課程の変更は予定していないが、今後も必要に応じて教育課程のさらなる整備と充実に努める。

今回収容定員を変更する各学科の教育課程の概要は、以下のとおりである。

①学芸学部メディア創造学科

学芸学部メディア創造学科は、専門分野における高度な知識や、関連した他の多様な学問・芸術分野を幅広く学ぶことにより、メディア活用の知識と技術、創造的な問題解決能力、メディア技術を用いたユニークな発想力と自己表現力などを修得することで、主体性を持って社会に関わり、修得した知識・技術・能力を社会において駆使できる女性を育てることを目的とする。

この人材養成目的を達成するために、理論を学ぶ講義形式と、実技を中心とした演習形式をバランスよく配置し、相互に補完しあう体系を構築している。主要な４つの分野（アートとデザイン、マスメディアとカルチャー、エンターテインメントとビジネス、メディアとテクノロジー）に適切な科目を配置しつつ、分野横断的に専門知識又は技術を修得し、複合的発想による独自技術を生み出す力を醸成するため、分野を固定しない幅広い履修を可能としている。

②学芸学部国際教養学科

学芸学部国際教養学科は、リベラル・アーツ教育を重視し、日本の文化、伝統、歴史に対する理解を深め、英語圏大学への留学をとおして異文化を体験し、他国を理解し、さまざまな国際問題や学問的な内容について対等に議論できるような高度な英語力を身に付け、物事の本質を掴むことができ、国際理解を積極的に推進する態度や信条を持った人材を養成することを目的とする。

この人材養成目的を達成するために、専門分野の科目は「基礎教育科目区分」「国際教養科目区分」「キャリアデザイン科目区分」「演習科目区分」により段階的に配置されており、留学期間が２年次秋学期から３年次春学期に設定されている。

専門分野の科目は講義科目であっても、教員及び学生がコミュニケーションをとりながらインタラクティブに進められる。なお、「基礎教育科目区分」「演習科目区分」の科目はすべて演習科目であり、「国際教養科目区分」「キャリアデザイン科目区分」の科目は講義と演習を合わせた形態で実施されている。

③現代社会学部社会システム学科

現代社会学部社会システム学科は、21 世紀の多様な社会システムにおける女性のライフステージを視野におき、多文化共生コース、京都学・観光学コース、ライフデザインコ

ース、ビジネスマネジメントコース、公共政策と法コースの５コースを設け、専門的な能力の開発をとおして、現代社会の各方面で主体的に判断し、活躍できる人材を養成することを目的とする。

この人材養成の目的を達成するために、専門分野の科目を「基礎・入門科目区分」「概論科目区分」「応用・各論科目区分」「ゼミナール科目区分」により段階的に配置し、法律、社会対応力（情報活用・問題解決技能）、グローバルコミュニケーション（外国語運用能力）をまず身に付け、５つのコースに置かれた専門的な授業において理論的、実戦的知識を学際的に獲得し、それらを統合した体系的な学びの上で、最後に卒業研究において専門的な知識を修得する教育課程となっている。また、入学時に実施する英語適性検査によって選抜された一定の英語基礎能力を有する学生については、１年次から３年次に開講される英語特別プログラム（CASE）において、ネイティブ・スピーカー教員が中心となり、さらに高度な外国語運用技能の修得が可能となっている。

④薬学部医療薬学科

薬学部医療薬学科は、最先端の薬学領域である医療や創薬現場で活躍できる研究能力をもち、幅広い教養と人間性、国際性を兼ね備えた、高度医療に対応できる薬剤師を養成することを目的とする。

この人材養成の目的を達成するため、専門教育科目を「基礎教育科目区分」「入門・概論科目区分」「応用・各論科目区分」「卒業研究区分」として、学年進行とともに基礎薬学を礎として薬学臨床へと発展するよう薬学専門科目を段階的に配置する教育課程となっている。また、医療人として活躍し社会貢献するための「薬剤師としての心構え」「コミュニケーション能力」「卒業後も将来にわたって自己研鑽を継続しようとする態度」を醸成・育成するために、１年次から４年次にかけてスモールグループディスカッション形式の授業を配置している。高い英語運用能力を有し、国際化に対応できる薬剤師の養成を志向して、全学共通の英語科目に加え、３・４年次には医療・薬学英語に係る英語科目を配置し、さらに、希望者には米国での病院・薬局研修において、薬剤師の職能と医療制度について国際的な視野を広げるプログラムも配置している。

⑤看護学部看護学科

看護学部看護学科は、保健、医療、福祉等の場で活躍できる質の高い看護実践能力をもち、広い教養と人間性、国際性を兼ね備えた、質の高い看護職者を養成することを目的とする。

この人材養成の目的を達成するため、全学共通の各科目区分による学びをとおして、総合的・学際的知識と、専門分野と相互に補完しあう幅広い教養の修得をはかり、自らの専門知識を得るだけではなく、それとは異なった角度から別領域の考え方を学ぶことで、総合的な理解力を養う。「学科科目」では、本学の教育理念である「キリスト教主義」「国際

主義」「リベラル・アーツ」のもとに、看護学に関する高度な知識と技術に加えて、円満な人格と幅広い教養及び人間の尊厳に基づく高い倫理観、人間及び環境への深い洞察力を養い、看護職者として、総合的なヒューマンケアに基づく看護実践力を養成する教育を行うことを目的とし、系統的に科目を配置する教育課程となっている。

⑥表象文化学部英語英文学科

表象文化学部英語英文学科は、英米の文学・文化・言語・コミュニケーションの教育・研究分野において、英語４技能（「話す、聞く、読む、書く」）の徹底したトレーニングをとおして高度な英語運用能力を身に付けるだけでなく、文化伝達の主要な媒体としての言語また文化の表象としての言語を学ぶ意味と意義を理解し、国内外の社会に貢献できる人材を養成することを目的とする。

この人材養成の目的を達成するため、専門分野の科目は「学部共通科目区分」「基礎教育科目区分」「入門・概論科目区分」「応用・各論科目区分」「ゼミナール科目区分」により段階的に配置されている。英語英文学科では、高度な英語運用能力を身に付けるとともに、その基礎の上に、「文学」「文化」「言語」「コミュニケーション」という４つの専門分野を学生に自由に選択させ、質の高い学びを達成することができるように教育課程を編成している。

⑦生活科学部人間生活学科

生活科学部人間生活学科は、人文科学・社会科学・自然科学の方法を用いて家族・家庭生活を中心とする人間生活を対象とした研究・教育を行い、生活をめぐる自然・社会・人間・文化に対する科学的な認識力と実践能力を有した生活者であるとともに、企業・行政・団体・学校などで生活のスペシャリストとして活躍できる人材を養成する。

この人材養成の目的を達成するために、専門教育科目を「基礎教育科目区分」「入門・概論科目区分」「応用・各論科目区分」「ゼミナール科目区分」と段階的に配置し、学科を構成する３分野である、くらし・こころ・まちづくりを体系的に学び、科学的思考に基づく「くらし」のスペシャリストを育成するべく教育課程を編成している。

⑧生活科学部食物栄養科学科食物科学専攻

生活科学部食物栄養科学科は、主に自然科学的方法によって食と栄養に関する実践的かつ総合的な教育・研究を行い、幅広い教養と科学的な思考力を身に付けた人材を養成することを目的とする。

食物栄養科学科食物科学専攻では、個々の食生活からそれを取り巻く食環境までを視野に入れ、食品学・調理学・栄養学の３分野をバランス良く学び、豊富な実験・実習をとおして科学的な思考力と技術力を養い、食品産業を主とした一般企業、学校などで活躍できる「食」のスペシャリストを養成する。

この人材養成の目的を達成するために、専門教育科目を「基礎教育科目区分」「入門・概論科目区分」「応用・各論科目区分」「卒業論文」と段階的に配置し、その中で食品学・調理学・栄養学を広く学ばせ、科学的基盤に基づいた「食」のスペシャリストを育成するべく教育課程を編成している。

（イ）教育方法及び履修指導方法の変更内容

（１）　教育方法

本学では、知識・技能を獲得することが主目的の科目、知識・技能を活用することが主目的の科目など、それぞれの科目の特性に適した多様な教育方法（講義、演習、実習、実験等）が実践されている。

また、教える者と学ぶ者との双方向性や学ぶ者同士の相互性を重視するアクティブ・ラーニングが多様な形で実践されており、知識や技能を無批判に獲得するのではなく、「知識を得る」「体験する」「深く考える」「考えをまとめ、他者に伝える」「他者と議論しあるいは相互に評価し合う」「自らの考えを修正し鍛え直す」などの過程をとおして、知識や技能を真に自分のものとするとともに、創造性に溢れた発想を涵養する教育を重視している。

このような教育の充実・改善を図るための全学的な取り組みとして、教員と学生の間に立ち、教員の授業内容や方法の改善及び教育に対する意識の向上に向けて、組織的な取組を行う教育開発支援センターを設置している。教育開発支援センターでは、授業アンケートの実施、アクティブ・ラーニング研究会やＦＤ講習会の開催、ＦＤレポートの発行等を行い、教育活動の改善の推進と支援を行っている。

今回収容定員を変更する各学科については、収容定員を変更した場合でも、現在の教育方法で教育上の支障はないものと考えており、収容定員変更に伴う教育方法の変更は行わないが、今後とも必要に応じて教育方法のさらなる充実・改善に向けて継続的に取り組んでいく。

なお、今回収容定員を変更する各学科の教育方法の概要は、以下のとおりである。

①学芸学部メディア創造学科

学芸学部メディア創造学科では、授業全般にアクティブ・ラーニングの手法を取り入れ、自らの考えに基づいた創造的な指針を生み出す力を醸成している。講義形式の授業では、適宜グループワーク・調査・制作・発表等の課題を課し、知識の修得だけではなく、主体的に学び、ユニークな発想を生み出す力を醸成している。また、演習形式の授業では、少人数制によるきめ細やかな指導と目標設定を行うことで、実践的な技術を身に付けるとともに自己表現力と問題解決力を醸成している。

授業及び授業外学習では、最新情報機材を備えた演習室及び工作室を活用し、専門スタッフで組織されたメディアサポートセンターが技術的なサポートを行う体制を整えてい

る。
さらに、学生が多様な視点をもつきっかけとするため、ゲスト講師によるワークショップ・講演会・展覧会等を随時実施している。

②学芸学部国際教養学科
学芸学部国際教養学科では、「基礎教育科目区分」「国際教養科目区分」の各科目においては、全般的にプレゼンテーションやディスカッション等のアクティブ・ラーニングの手法を多く取り入れて授業を行い、演習科目においては、グループワーク・フィールドワーク・プレゼンテーション・ディスカッションを中心に進めている。
留学中に進める個人研究・調査については、担当教員が学生から毎月オンラインで提出される研究報告（マンスリー・レポート）や電子メール等で指導を行う。また、他国及び他大学に留学中の学生数人と担当教員をオンライン・会議システムで結び、個人研究・調査の中間発表を行い、グループ間での公開ディスカッションと指導を行う。
留学前後の発表会や学びの集大成である卒業論文発表会を公開プレゼンテーション形式で行うことにより、論理的思考力とプレゼンテーション力を学科の４年間の学びをとおして実践的かつ体系的に磨き、ゼミや学年を越えて質疑応答やフィードバックを行い、学び合うことにより経験の定着や学びの深化を図っている。また、これらの運営を学生が主体的に担うことをとおして、アクティブに学ぶ姿勢を育み、リーダーシップに対する意識を高めている。

③現代社会学部社会システム学科
現代社会学部社会システム学科では、「基礎・入門科目」において、少人数クラスで総合的かつ実地に学ぶことをとおして、適宜グループワーク・調査・制作・発表等の課題を課し、知識の修得だけではなく、主体的に学び新たな発想を生み出す力を育成している。
授業全般にアクティブ・ラーニングの手法を積極的に取り入れ、創造的な学習と理解、さらに発信する力を育成し、演習形式の授業では少人数制による指導を行うとともに、学外でのフィールドワークを積極的に行い、地域社会と連携した実践的な研究を行うことをとおして、現代社会を理解する上で必要な力を醸成している。
また、学部・学科・学会による講演会やフィールドワーク、ワークショップ等を随時実施し、主体的に社会に対応する多様な力を育成している。

④薬学部医療薬学科
薬学部医療薬学科では、必要な知識を準備させるため、また、受講で得た知識を定着させるために、シラバスに基づいて教科書・ノート・配布プリント又は本学の Web による学習支援システム（愛称：マナビー）を利用し、授業内容を予習・復習させている。医療倫理を涵養する科目では、専門的知識を解説後、４～６人程度のスモールグループディスカ

ッションの時間を設け、学生間の議論を誘導する等、授業を活性化させ、修得した知識や意見の発信力や検証力を育成している。

講義科目においては、小テストやレポート提出を課すことで、予習・復習による学修効果を高め、知識の到達度を定期的に確認し、学期末試験において対象科目の総合的な到達度を確認する。

実験実習では講義科目に対応した内容を取り扱うことにより、修得した専門知識の理解を深め、実践的な技術や技能を修得させる。また、得られた結果を整理して分析し、考察することにより分析力や思考力を育成し、レポート提出や口頭試問を課すことにより論理的な文章作成能力も育成する。このような過程をとおして、分析機器や統計手法の活用法にも習熟させる。

「実務実習事前学習」では、学外の病院・薬局での実務実習において必要となる実践的知識を身に付けるとともに、学内で行う「模擬病院・薬局実習」及び「薬物治療学実習」において臨床現場を模倣した薬剤師業務を修得する。

「病院実務実習・薬局実務実習」は、学外の病院・薬局施設で行い、当該施設の指導薬剤師に指導を受けることにより、実践的能力を育むとともに変化対応力、自己管理力、自己実現力を養う。また、希望者は、学外実務実習終了後、「海外病院・薬局研修」に参加し、薬学や医療制度についての国際的な見聞を広めることも可能である。

「卒業研究」では、全ての学生を各研究室に配属し、担当教員の指導の下、薬学領域の様々な研究課題に取り組ませる。３年次から６年次までの４年間の研究活動により、専門性の高い実験技能を修得させるだけでなく、分析・思考力やプレゼンテーション力、さらには計画立案・実行力、変化対応力、リーダーシップ、責任感と自己管理力、協調性など、社会人あるいは医療人として求められる資質を広く醸成するとともに、研究マインドを有する問題解決型の薬剤師を養成する。得られた最終成果をレポートや論文にまとめて指導教員に提出させ、研究活動の集大成として卒業論文発表会においてプレゼンテーションを行う。

⑤看護学部看護学科

看護学部看護学科では、すべての科目区分について受講内容を概観し、必要な知識を準備させ、また受講で得た知識を定着させるために、教科書・ノート又は本学の Web による学習支援システム（愛称：マナビー）を利用して、授業内容を予習・復習させている。

「基礎教育科目」「応用・各論科目」においては、臨地実習や国家試験に向けて看護実践に必要な専門的知識を定着させるために e-learning を導入し、国家試験問題などの定期配信と理解度の確認、成績管理を行う。

講義科目においては、予習・復習による学習効果を高め、知識の到達度を定期的に確認するために小テストの実施やレポートを課し、学期末試験において対象科目の総合的な到達度を確認する。

「応用・各論科目区分」の看護展開科目では、コミュニケーション力や課題解決力を身に付けるために、グループワークやロールプレイ等のアクティブ・ラーニングを積極的に取り入れ、また、看護倫理では、医療者及び看護学生としての倫理観を修得できる内容となっている。

演習科目では、専門的な知識や根拠に基づいた看護技術を修得できるよう少人数のクラスやグループを編成し指導している。看護技術の修得や知識の定着に向けて、授業時間のみならず主体的な学修（技術練習や国家試験対策含む）を支援するためにプラクティカルサポートセンター（スキルスラボ）を整備している。

「応用・各論科目区分」の「看護実践総合演習Ⅰ～Ⅳ」に関しては、看護師に必要な知識・態度・技術を統合し看護実践能力を高めるために、学習進度にあわせたシミュレーション学習や看護オスキーを実施する。看護オスキーでは臨床環境に近づけるために模擬患者の協力を得る。また、学士力養成のためのアカデミックライティング・リーディング、専門職としてのキャリアデザインを描き、生涯にわたる自己研鑽に思いを馳せる契機となる学習機会を設ける。

「学外実習」においては、準備性を高めるために医療安全や感染予防、個人情報管理並びにチーム医療における連携・協働について学修するオリエンテーションを設けている。「臨地実習」では、少人数のグループ編成により、実習指導者、担当教員がきめ細やかな指導を実施する。実習進度に伴う教育内容の深化に配慮し、各科目担当教員が有機的な連携を図りながら指導を進める。

「卒業研究」では、研究マインドを涵養するために「卒業研究Ⅰ」、「卒業研究Ⅱ」、「卒業研究Ⅲ」の科目進行に伴い、情報収集・分析力、ヘルスリテラシー・思考力、計画立案・実行力、プレゼンテーション能力等を段階的に学修する。「卒業研究Ⅱ」、「卒業研究Ⅲ」の少人数ゼミによる教員指導のもとでテーマを決定し、卒業研究論文を完成させる。１年間の継続的な取り組みをとおして、実行力や変化対応力、責任感と自己管理能力など社会人として求められる能力を身に付けさせる。

⑥表象文化学部英語英文学科

表象文化学部英語英文学科では、全学年において、グループでの共同作業の機会を持つ授業を設け、異なる文化や価値観の相手の意見を理解しようとする柔軟な態度や、相手の立場を尊重し、相手を理解しようとする態度、及び自らの置かれた立場でリーダーシップを発揮しようとする意欲を養っている。

「基礎教育科目」においては、同じトピックについて４Skills を学ぶことにより学習効果を上げている。一人ひとりの学生の英語を使う場面が増えるように、特に Speaking を少人数クラスで実施している。また、CALL 教材は自宅からもアクセス可能であり、「基礎教育科目」の授業内容に組み込むことにより、反転授業の観点からアクティブ・ラーニングに取り組んでいる。

「応用・各論科目」は日本語で実施する科目だけでなく、「Topics in English」や「Studies in English」などの英語で実施する科目もあり、英語のみで講義を理解し考える力を身に付けることができる。

また、オーラルコミュニケーション能力に関しては、１年次～３年次において共通のパフォーマンス課題についての発表の場を持つことにより、各自の能力の伸張状況を確認することができる。

４年次にはそれまでに学んだ内容を基礎に、春学期末のポスターセッション、秋学期末の卒業研究発表会を活用し、4 年間の集大成となる質の高い研究を学生が各自ですすめるとともに発表方法を磨いている。

⑦生活科学部人間生活学科

生活科学部人間生活学科では、講義・演習・実習の授業形態にかかわらず、事前の準備学習や受講後の復習を徹底させるために、教科書・参考図書の活用やノートテーキングに加え、本学の Web による学習支援システム（愛称：マナビー）による双方向型な学びのシステムを活用する。

各授業形態の特徴に応じて、担当教員と受講学生の双方向コミュニケーションを活性化させ、各授業の教育目標への到達の円滑化を図る。また、各授業形態の特徴に応じた課題（小テスト、homework、マナビーによる課題）を課すことにより、受講生それぞれの到達度を点検する。

実習型授業や演習では、少人数クラスを基本として、教員・受講学生という軸に加え、受講学生同士の学習上の交流の促進を図る。これにより、他の受講学生の習熟度を知ることによる動機づけの高揚や、他の受講学生に対する学習支援を喚起させ、学習効果全体を上昇させることができる。

３年次にはキャリア形成を促進するため人間生活学科の学びに特化した実習先での「インターンシップⅡ」を科目として開講し、実習先での学習体験等を下級年次生に公開する報告会を開催する。これにより、学科での学びと企業などでの学びを連結することができる。

３・４年次一貫の演習（「応用演習Ⅰ」、「応用演習Ⅱ」、「卒業論文」）では、各受講学生が専門的テーマを設定し、卒業論文発表会に向けて、研究に取り組む。これにより、情報収集、討論、プレゼンテーションなどに関わる諸技能が育成できる。また、フィールドワークの企画・実践なども含め受講学生相互の交流に伴い、卒業後も必要とされるリーダーシップなどの社会的スキルを磨くことも可能となる。

⑧生活科学部食物栄養科学科食物科学専攻

生活科学部食物栄養科学科食物科学専攻では、受講内容を概観し、必要な知識を準備させるため、また受講で得た知識を定着させるために、シラバスに基づいて教科書・ノート

又は本学の Web による学習支援システム（愛称：マナビー）を利用して、授業内容を予習・復習させている。

授業では、教員から学生に問いかけ、学生間の議論を誘導するなど、アクティブ・ラーニングの要素も取り入れて授業を活性化させ、修得した知識や意見の発信力や検証力を育てる。小テストやノート・レポート提出等によって、復習効果を高め、修得度を確認する。

少人数クラスの実験・実習授業を実施する。協同学習やアクティブ・ラーニングの効果を利用して、食に関する専門知識の理解を深め、実践的な技能を修得させる。得られた結果を分析・考察・まとめる過程で分析力や思考力を、レポート提出や口頭発表を課すことで論理的な文章作成やプレゼンテーション能力を育成する。また、このような過程をとおして、情報機器や統計手法の活用法にも習熟させる。

限られた人数ではあるが、食品関連企業でインターンシップを経験することで、専門内容の現場での実践経験を与えると同時に、キャリア教育の一環として職業や社会との接続を意識させ、学内で事前・事後指導を実施し、専攻内での公開報告会でプレゼンテーションさせる。

「卒業論文」では履修生を各研究室に配属し、担当教員の指導の下、主にグループで食に関わる様々な諸課題に取り組ませる。一年間の持続的な研究活動により、配属研究室独自の高い技能を獲得させるだけでなく、分析・思考力やプレゼンテーション力、さらに計画立案・実行力、変化対応力、リーダーシップ、責任感と自己管理力、協同性など、社会人として求められる資質を広く涵養する。得られた最終成果を論文にまとめて指導教員に提出させ、学科主催の卒業論文発表会において専任教員と在学生の前で口頭発表させる。各研究室代表の学生からなる卒論委員会が、教員の指導の下、卒業論文発表会を運営する。これらのことにより、履修生全員に高い目的意識と継続意欲を持たせ、事後の達成感と自信を得させる。

（2）　履修指導方法

履修指導にあたっては、まず、全学部の新入生に対してオリエンテーション期間に「登録説明」に関するガイダンスを実施している。これは入学式後、新入生に配付する「履修要項」等に基づいて教務課が履修科目の登録方法等の説明を行うもので、新入生が順調に大学生活を始められるようにオリエンテーションの一環として実施している。また、新入生を含む全ての学生は、教務課及び所属する学部事務室の窓口にて、いつでも個別に履修相談できる体制を整えている。

同志社女子大学学則第 39 条第２項には「教授、准教授、専任講師、助教は、授業科目の選択等に関し、アドバイザーとして学生の指導に当たるほか、課外活動の各分野に対し指導助言の責任を分担する。」と規定しており、これに基づきアドバイザー制度を設け、全ての学生に相談相手となるアドバイザー教員を配置している。アドバイザー（教員）とアドバイジー（学生）は年に数回会合するだけでなく、学生は修学上の問題やその他の問

題について、いつでも教員に相談することが可能である。

さらに、全教員がオフィスアワーを設定し、各教員の研究室で学生からの質問や相談に対応できるようにしており、学生一人ひとりに対し、きめ細やかな相談体制を整備している。

なお、各授業科目の内容（授業の概要、到達目標、授業方法、成績評価方法、成績評価基準等）を記載した「シラバス」や、学科科目についてディプロマ・ポリシーに示された到達目標と各科目との関連を可視化するための「カリキュラム・マップ」を作成し、本学ホームページで公開している。

また、2016 年度より体系的な教育プログラムを理解するために、授業科目に内容・レベルなどに応じた特定のナンバーを付与する科目ナンバリング制度（「FLT ナンバー」）を設けており、学生が学修したい分野について、どのように学修を進めていけば良いか判断するための参考として活用することが可能である。

そして、本学独自の制度としてビッグシスター制度がある。これは 60 年以上続いている制度で、入学前に新入生からの申し込みにより、所属学科や出身地、趣味等を考慮した上で、良き相談相手となる上級生（ビッグシスター）を紹介するものである。新入生（リトルシスター）は入学前から履修登録や授業、課外活動等大学生活全般について上級生に相談することができ、入学前に大学生活に対する不安を軽減することができる。

上記のように、本学では様々な制度や窓口をとおして履修指導に取り組んでおり、収容定員を変更した場合でも教育上の支障はないものと考えている。そのため、今回の収容定員変更に伴う履修指導に関する変更は行わないが、今後も必要に応じて履修指導に関する制度のさらなる充実を図り、学生の履修計画の質の向上に努めていく。

（ウ）教員組織の変更内容

今回の収容定員の変更に伴う教員組織の変更は行わない。本学では、各学部・学科のカリキュラム・ポリシーに基づき教育課程を編成し、その教育課程に沿った質の高い教育を実践するために必要かつ十分な教員組織を編成している。また、教員組織の充実を図るために、毎年各学部・学科からの要望に基づき、常任委員会及び評議会での審議を経て、学長が教員採用方針を決定している。全学的な見地から策定された教員採用方針に基づき計画的に採用を行うことで、全学の教育研究水準を維持・向上させるように努めている。なお、教員を募集・採用する際には、当該学科の専任教員の男女比、年齢構成、国際性等にも配慮して行っている。

現時点において、各学科の教育課程及び教育内容・教育方法等の教育上の諸条件を考慮して、十分な教育効果を上げられる専任教員数による指導体制を構築しており、全ての学科において、大学設置基準に定められている基準となる教員数を上回る専任教員を配置している。今回の収容定員の変更に伴い、大学設置基準別表第二に定められている基準教員数は、現在より２名増加することになるが、現時点でも変更後の基準を十分に上回る教員

数を擁しており、支障がないものと考えている。

上記の教員組織による指導体制により、収容定員を変更した場合でも、これまでと同等以上の教育の質を担保できると考えているが、今後も必要に応じて教員組織の一層の整備と充実を図り、教育効果を更に高め、教育の質を維持・向上できるように努めていく。

（エ）大学全体の施設設備の変更内容

本学は、これまでもより良い教育研究環境を整備するため、必要に応じて施設設備等の充実を図ってきた。本学には京田辺キャンパス（京都府京田辺市興戸）と今出川キャンパス（京都市上京区今出川通烏丸東入）の２校地があり、京田辺キャンパスには４学部（学芸学部、現代社会学部、薬学部、看護学部）、大学院４研究科（文学研究科（情報文化専攻）、国際社会システム研究科、薬学研究科、看護学研究科）及び音楽専攻科を設置し、今出川キャンパスには２学部（表象文化学部、生活科学部）及び大学院２研究科（文学研究科（英語英文学専攻、日本語日本文化専攻）、生活科学研究科）を設置している。

近年における施設設備の整備では、京田辺キャンパスにおいて、アクティブ・ラーニングや学生の自主的な学修を促進するため、平成 30 年４月聡恵館（図書館）を増築し、ラーニング・コモンズ等を設置した。ラーニング・コモンズでは、図書館資料やパソコン、ホワイトボード等を使いながら、グループでディスカッションやプレゼンテーション等ができる「グループワークエリア」「グループスタディブース」「グループスタディルーム」、アクティブ・ラーニングに適した設備の「ワークショップルーム」、複数台のプロジェクターやスクリーンを同時に利用することができる「イベントエリア」等が設置されている。また、同時期に、京田辺キャンパスの学生の福利厚生施設として恵愛館を新たに建設し、学生のキャンパスライフの快適性向上を図った。

一方、今出川キャンパスでは、平成 25 年８月よりキャンパス整備事業を展開し、新心館及び楽真館の建て替え、心和館、頌美館、デントン館の改修を行った。特に、楽真館には新たにラーニング・コモンズやグローバルラウンジを設置し、学生の自発的な学修や国際理解の促進に寄与する環境が整備された。

このように本学では、教育研究環境の整備に積極的に取り組んでおり、施設・設備については充実しているものと考えている。そのため、今回収容定員を変更した場合でも教育上の質を十分維持できるものと考えており、収容定員変更に伴う特段の施設設備の変更は行わないが、今後も計画的に両キャンパスの教育研究環境の充実・改善を図っていく。

以上

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（学芸学部メディア創造学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通学芸科目	哲学A	1前		2		○								兼1	
	哲学B	1後		2		○								兼1	
	西洋の思想A	1前		2		○								兼1	
	西洋の思想B	1後		2		○								兼1	
	日本の思想A	1前		2		○								兼1	
	日本の思想B	1後		2		○								兼1	
	宇宙の科学	1後		2		○								兼1	
	地球の科学	1前		2		○								兼1	
	生命の科学	1前		2		○								兼1	
	自然人類学	1前		2		○								兼1	
	物質の科学	1後		2		○								兼1	
	生活環境の科学	1前		2		○								兼1	
	自然科学史	1前		2		○								兼1	
	科学技術と人間	1前		2		○								兼1	
	心理学A	1前		2		○								兼1	
	心理学B	1後		2		○								兼1	
	人格心理学	1前		2		○			1						
	臨床心理学	1後		2		○			1						
	薬の発明・発見史Ⅰ	1前		2		○								兼1	
	薬の発明・発見史Ⅱ	1後		2		○								兼2	オムニバス
	女性のための医学	1後		2		○								兼2	オムニバス
	日本国憲法	1前		2		○								兼1	
	国際社会と法	1前		2		○								兼1	
	法と市民生活	1後		2		○								兼1	
	国際関係論A	1前		2		○								兼1	
	国際関係論B	1後		2		○								兼1	
	国際社会と経済A	1前		2		○								兼1	
	国際社会と経済B	1後		2		○								兼1	
	日本経済のしくみ	1後		2		○								兼1	
	人間と社会A	1前		2		○								兼1	
	人間と社会B	1後		2		○								兼1	
	異文化間コミュニケーション論	1後		2		○								兼1	
	マスコミュニケーション論A	1前		2		○								兼1	
	マスコミュニケーション論B	1前		2		○								兼1	
	情報と社会	1前		2		○								兼1	
	社会保障と福祉	1後		2		○								兼1	
	介護概説	1前		2		○								兼1	
	女性と社会	1後		2		○								兼1	
	日本女性史	1前		2		○								兼1	
	外国文学と女性A	1前		2		○								兼1	
	外国文学と女性B	1後		2		○								兼1	
	日本文学と女性	1後		2		○								兼1	
	ヨーロッパの歴史と文化A	1前		2		○								兼1	
	ヨーロッパの歴史と文化B	1後		2		○								兼1	
	日本の歴史と文化A	1前		2		○								兼1	
	日本の歴史と文化B	1後		2		○								兼1	
	日本文化論	1後		2		○								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通学芸科目	文化交流史	1後		2		○								兼2	オムニバス
	文化人類学	1前		2		○								兼1	
	環境社会論	1後		2		○								兼1	
	アメリカ地域研究A	1前		2		○								兼3	オムニバス
	アメリカ地域研究B	1後		2		○								兼3	オムニバス
	アジア地域研究A	1前		2		○								兼1	
	アジア地域研究B	1後		2		○								兼1	
	日本古典芸能A	1前		2		○								兼1	
	日本古典芸能B	1後		2		○								兼1	
	美術史	1前		2		○								兼1	
	音楽と諸芸術	1前		2		○								兼1	
	音楽と社会	1前		2		○								兼1	
	現代の音楽	1後		2		○								兼1	
	映像文化論	1前		2		○								兼1	
	京都の文化A	1前		2		○								兼1	
	京都の文化B	1前		2		○								兼1	
	京都の文化C	1後		2		○								兼1	
	京都の文化D	1前		2		○								兼1	
	京都の文化に触れるA	2前		2		○								兼1	
	京都の文化に触れるB	2前		2		○								兼1	
	京都の文化に触れるC	2前		2		○								兼1	
	京都の文化に触れるD	2前		2		○								兼1	
	京都の文化に触れるE	2前		2		○								兼7	オムニバス
	京都の歴史A	1前		2		○								兼1	
	京都の歴史B	1後		2		○								兼1	
	教育の原理	2前		2		○								兼1	
	発達と学習の心理学	2前		2		○								兼1	
	教育の制度と経営	2後		2		○								兼1	
	海外事情（アメリカ）	1前		4			○							兼1	
	海外事情（イギリス）	1後		4			○							兼1	
	海外事情（ニュージーランド）	1後		4			○							兼1	
	海外事情（中国）	1後		4			○							兼1	
	海外事情（カナダ）	1前		4			○							兼1	
	Japan Studies A	1後		2		○								兼1	
	Japan Studies B	1後		2		○								兼1	
	Japan Studies C	1後		2		○								兼1	
	Japan Studies D	1後		2		○								兼1	
	大学生活とキャリアデザインⅠ	1後		2		○								兼1	
	大学生活とキャリアデザインⅡ	2前		2		○								兼1	
	大学生活とキャリアデザインⅢ	2後		2		○								兼1	
	キャリアのための自己表現演習	2前		1			○							兼1	
	インターンシップ［大学コンソーシアム京都］	2通		2				○						兼1	
	インターンシップⅠA	2通		1				○							
	インターンシップⅠB	2通		2				○						兼1	
	小計（91科目）	－	0	190	0	－			1	0	0	0	0	兼70	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
キリスト教・同志社関係科目	聖書A	1前	2			○			1					兼1	
	聖書B	1後	2			○			1					兼1	
	キリスト教の歴史A	1前		2		○								兼1	
	キリスト教の歴史B	1前		2		○								兼1	
	キリスト教の歴史C	1後		2		○								兼1	
	キリスト教文化論A	1後		2		○								兼1	
	キリスト教文化論B	1後		2		○								兼1	
	キリスト教文化論C	1前		2		○								兼1	
	キリスト教世界の探求A	1前		2		○								兼1	
	キリスト教世界の探求B	1後		2		○								兼1	
	キリスト教世界の探求C	1後		2		○								兼1	
	近代日本と同志社A	1後		2		○								兼1	
	近代日本と同志社B	1前		2		○								兼3	オムニバス
	近代日本と同志社C	1前		2		○			1						
	近代日本と同志社D	1後		2			○							兼1	
	小計（15科目）	－	4	26	0	－			1	0	0	0	0	兼11	
外国語科目	Comprehensive English Ⅰ	1前	1				○							兼4	
	Comprehensive English Ⅱ	1後	1				○							兼4	
	Comprehensive English Ⅲ	2前	1				○							兼4	
	Comprehensive English Ⅳ	2後	1				○							兼4	
	Communication in English Ⅰ	1前	1				○							兼4	
	Communication in English Ⅱ	1後	1				○							兼4	
	Communication in English Ⅲ	2前	1				○							兼4	
	Communication in English Ⅳ	2後	1				○							兼4	
	初級フランス語基礎Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級フランス語基礎Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	初級フランス語演習Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級フランス語演習Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	中級フランス語Ⅰ	2前		1			○							兼1	
	中級フランス語Ⅱ	2後		1			○							兼1	
	ラピートフランス語Ⅰ	2前		1			○							兼1	
	ラピートフランス語Ⅱ	2後		1			○							兼1	
	ラピートフランス語Ⅲ	3前		1			○							兼1	
	ラピートフランス語Ⅳ	3後		1			○							兼1	
	初級ドイツ語基礎Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級ドイツ語基礎Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	初級ドイツ語演習Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級ドイツ語演習Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	中級ドイツ語Ⅰ	2前		1			○							兼1	
	中級ドイツ語Ⅱ	2後		1			○							兼1	
	ラピートドイツ語Ⅰ	2前		1			○							兼1	
	ラピートドイツ語Ⅱ	2後		1			○							兼1	
	ラピートドイツ語Ⅲ	3前		1			○							兼1	
	ラピートドイツ語Ⅳ	3後		1			○							兼1	
	初級中国語基礎	1前		2			○							兼1	
	初級中国語演習	1後		2			○							兼1	
	中級中国語Ⅰ	2前		1			○							兼1	
	中級中国語Ⅱ	2後		1			○							兼1	
	ラピート中国語Ⅰ	2前		1			○							兼1	
	ラピート中国語Ⅱ	2後		1			○							兼1	
	ラピート中国語Ⅲ	3前		1			○							兼1	
	ラピート中国語Ⅳ	3後		1			○							兼1	
	初級ハングル基礎Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級ハングル基礎Ⅱ	1後		1			○							兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語科目	初級ハングル演習Ⅰ	1前		1			○							兼1
	初級ハングル演習Ⅱ	1後		1			○							兼1
	中級ハングルⅠ	2前		1			○							兼1
	中級ハングルⅡ	2後		1			○							兼1
	初級イタリア語基礎Ⅰ	1前		1			○							兼1
	初級イタリア語基礎Ⅱ	1後		1			○							兼1
	初級イタリア語演習Ⅰ	1前		1			○							兼1
	初級イタリア語演習Ⅱ	1後		1			○							兼1
	中級イタリア語Ⅰ	2前		1			○							兼1
	中級イタリア語Ⅱ	2後		1			○							兼1
	初級スペイン語基礎Ⅰ	1前		1			○							兼1
	初級スペイン語基礎Ⅱ	1後		1			○							兼1
	初級スペイン語演習Ⅰ	1前		1			○							兼1
	初級スペイン語演習Ⅱ	1後		1			○							兼1
	中級スペイン語Ⅰ	2前		1			○							兼1
	中級スペイン語Ⅱ	2後		1			○							兼1
	小計（54科目）	－	8	48	0	－			0	0	0	0	0	兼26
スポーツ・健康科目	体育実技A	1前		1				○						兼3
	体育実技B	1後		1				○						兼3
	からだの科学	1前		2		○								兼1
	ウェルネス健康論	1前		2		○								兼1
	食物と健康	1後		2		○								兼1
	スポーツ文化論	1後		2		○								兼1
	スポーツ実習A	2前		1				○						兼1
	スポーツ実習B	2後		1				○						兼1
	小計（8科目）	－	0	12	0	－			0	0	0	0	0	兼8
基礎教育科目	メディア創造基礎演習A	1前	2				○		3					
	メディア創造基礎演習B	1後	2				○		1	2				
	メディア創造基礎演習C	2前	2				○		2					兼1
	コンピュータ活用基礎	1前	2				○							兼1
	キャリアプランニング演習	1前		2			○							兼1
	プレゼンテーション技法	1後		2		○			1					兼1
	小計（6科目）	－	8	4	0	－			5	2	0	0	0	兼4
入門・概論科目	メディア創造概論	1後	2			○			9	2				オムニバス
	女性の人生設計	2前	2			○								兼1
	小計（2科目）	－	4	0	0	－			9	2	0	0	0	兼1

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
応用・各論科目	アートとデザイン	グラフィック・WEB基礎演習	1前	2				○			1				兼2
		写真・動画基礎演習	1後	2				○							兼2
		イラスト表現演習	1後		2			○							兼1
		アニメーション表現演習	1後		2			○		1					
		写真表現論	2後		2		○								兼1
		写真表現演習	2後		2			○							兼1
		グラフィックデザイン論	2前		2		○				1				
		グラフィックデザイン演習	2前		2			○			1				兼2
		ゲームデザイン演習	2後		2			○							兼1
		エディトリアル・ブックデザイン演習	2前		2			○			1				
		エクスペリエンスデザイン演習	2後		2			○							兼1
		ＷＥＢデザイン演習	2前		2			○							兼1
		情報デザイン演習	2前		2			○		1					
		３ＤＣＧ演習	2前		2			○							兼1
		３ＤＣＧアニメーション演習	2後		2			○							兼1
		メディアアート論	2前		2		○			1					
		メディアアート表現演習	2前		2			○							兼1
		現代美術演習	2前		2			○							兼1
		演劇表現演習	2前		2			○							兼1
		パフォーマンス論	2後		2		○								兼1
		音楽制作演習	2前		2			○							兼1
		サウンドデザイン演習	2前		2			○		1					
		音楽表現論	2後		2		○								兼1
		小計（23科目）	－	4	42	0	－			3	1	0	0	0	兼12
	マスメディアとカルチャー	情報倫理	1前	2			○								兼1
		メディア文化史	2前	2			○			1					
		マルチメディア論	1前		2		○			1					
		知覚メディアの心理学	1後		2		○			1					
		アニメーション表現論	1前		2		○			1					
		都市メディア論	1前		2		○			1					
		メディア社会学	1後		2		○								兼1
		ソーシャルメディア論	1後		2		○								兼1
		メディア論	1前		2		○								兼1
		映像表現論	1後		2		○			1					
		マンガ文化論Ａ	2前		2		○				1				
		マンガ文化論Ｂ	2後		2		○								兼1
		ゲームデザイン論	2前		2		○								兼1
		情報サービス論	2前		2		○								兼2
		図書館サービス概論	2後		2		○								兼1
		西洋美術表現論	2前		2		○								兼1
		現代美術論	2前		2		○								兼1
		現代哲学・メディア思想	2後		2		○								兼1
		ドキュメンタリー制作演習	2後		2			○							兼1
		ドラマ制作演習	2前		2			○							兼1
		放送番組制作	2前		2			○		1					
		ジャーナリズム論	2前		2		○								兼1
		広告プランニング	2前		2		○								兼1
		コミュニケーション論	2後		2		○								兼1
		デジタルアーカイブス	2後		2		○								兼1
		情報サービス演習A	3前		2			○			1				兼1
		情報サービス演習B	3前		2			○			1				兼1
		コーパスと演習	3後		2			○							兼1
		宗教とメディア	3後		2		○			1					
		アナウンス技術	3前		2		○								兼1
		小計（30科目）	－	4	56	0	－			5	1	0	0	0	兼18

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
応用・各論科目	エンターテインメントとビジネス	メディアエンターテインメント論	1後	2			○			1						
		マネージメント研究	2前	2			○								兼1	
		プロデュース論A	2前		2		○			1						
		プロデュース論B	2後		2		○			1						
		プランニング演習	2後		2			○							兼1	
		プロジェクトプランニング演習Ⅰ	2前		2			○		1						
		プロジェクトプランニング演習Ⅱ	2後		2			○		1						
		情報ビジネス起業論	2後		2		○								兼1	
		エンターテインメント産業論	2後		2		○								兼1	
		ストラテジー研究A	2後		2		○								兼1	
		ストラテジー研究B	2前		2		○								兼1	
		ITビジネス研究	2前		2		○								兼1	
		調査統計法	2後		2			○							兼2	
		グローバルエンターテインメント論	2前		2		○			1						
		ステージビジネス演習	2後		2			○							兼1	
		音楽エンターテインメント産業論	2前		2		○								兼1	
		インターンシップⅡ	3通		2				○	2						
		小計（17科目）	－	4	30	0	－			4	0	0	0	0	兼10	
	メディアとテクノロジー	ネットワーク概論	1前	2			○			1						
		ソフトウエア概論	1前	2			○			1						
		情報ネットワーク	1後		2			○		1						
		ＷＥＢ技術演習	1後		2			○		1						
		コンピュータ科学	1後		2		○								兼1	
		情報ネットワーク応用Ⅰ	2前		2			○		1						
		情報ネットワーク応用Ⅱ	2後		2			○		1						
		プログラミングＡⅠ	2前		2			○		1						
		プログラミングＡⅡ	2前		2			○		1						
		プログラミングＡⅢ	2後		2			○							兼1	
		プログラミングＡⅣ	2後		2			○							兼1	
		データベース論	2前		2		○								兼1	
		ヒューマンインタフェース論	2後		2		○			1						
		情報数学	2前		2		○								兼1	
		ＷＥＢプログラミング	3前		2			○							兼2	
		プログラミングＢⅠ	3前		2			○		1						
		プログラミングＢⅡ	3後		2			○		1						
		情報セキュリティ	3後		2		○								兼1	
		フィジカルコンピューティング	3後		2			○							兼1	
		テクノロジーと社会	3後		2		○			1						
		小計（20科目）	－	4	36	0	－			3	0	0	0	0	兼7	
	グローバルメディア	メディア創造系海外事情A	1前		2			○		1	1					隔年
		メディア創造系海外事情B	1前		2			○		2						隔年
		English Communication in Information and Media A	2前		2			○							兼1	
		English Communication in Information and Media B	2後		2			○							兼1	
		Media and Cross-cultural Communication	2前		2			○							兼1	
		Writing for the internet in English A	2前		2			○							兼1	
		Writing for the internet in English B	2後		2			○							兼1	
		Beginner's Reading	2前		2			○		1						
		アジアメディアスタディー	2後		2			○							兼1	
		欧米メディアスタディー	2前		2			○							兼1	
		Media Culture Reading	3前		2			○		1						
		小計（11科目）	－	0	22	0	－			4	1	0	0	0	兼5	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
ゼミナール科目	メディア創造演習	2後	2				○		9	2				
	メディア創造応用演習Ⅰ	3前	2				○		9	2				
	メディア創造応用演習Ⅱ	3後	2				○		9	2				
	卒業演習・制作Ⅰ	4前	2				○		9	2				兼1
	卒業演習・制作Ⅱ	4後	2				○		9	2				兼1
	小計（5科目）	－	10	0	0	－			9	2	0	0	0	兼1
図書館司書課程科目	図書館概論	1後			2	○								兼1
	図書館制度・経営論	3前			2	○								兼1
	図書館情報技術論	1後			2	○								兼1
	図書館情報資源概論	2前			2	○								兼1
	情報資源組織論	2前			2	○								兼1
	情報資源組織演習	4通			4		○							兼1
	図書・図書館通史	2前			1	○								兼1
	図書館施設論	2前			1	○								兼1
	図書館実習	4通			1			○		1				
	小計（9科目）		0	0	17				0	1	0	0	0	兼4
科目統合部学	学芸学部ジョイントプログラム	3後		2		○			1					
	小計（1科目）	－	0	2	0	－			1	0	0	0	0	0
合計（292科目）		－	50	468	17	－			9	2	0	0	0	兼171

学位又は称号	学士（メディア創造）	学位又は学科の分野	文学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【卒業要件】 必修科目50単位、選択科目60単位、選択科目の最低履修単位数を超える修得単位数14単位以上、計124単位以上修得すること。 【履修方法】 〈学科科目〉 「基礎教育科目」から8単位以上（必修8単位） 「入門・概論科目」から4単位（必修4単位） 「応用・各論科目」から60単位以上（必修16単位、選択必修4単位以上） 「ゼミナール科目」から10単位（必修10単位） 〈全学共通科目〉 「共通学芸科目」から12単位以上 「キリスト教・同志社関係科目」から6単位以上（必修4単位、選択必修2単位以上） 「外国語科目」から8単位以上（必修8単位） 「スポーツ・健康科目」から2単位以上（選択必修2単位以上） 「区分外領域（上記各科目区分のオーバー単位、他大学単位互換科目単位など）」から14単位以上 （履修科目の登録上限：49単位（年間）） （注） 1　学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。 2　私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。 3　開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。 4　「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（学芸学部国際教養学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通学芸科目	哲学A	1前		2		○								兼1	
	哲学B	1後		2		○								兼1	
	西洋の思想A	1前		2		○								兼1	
	西洋の思想B	1後		2		○								兼1	
	日本の思想A	1前		2		○								兼1	
	日本の思想B	1後		2		○								兼1	
	宇宙の科学	1後		2		○								兼1	
	地球の科学	1前		2		○								兼1	
	生命の科学	1前		2		○								兼1	
	自然人類学	1前		2		○								兼1	
	物質の科学	1後		2		○								兼1	
	生活環境の科学	1前		2		○								兼1	
	自然科学史	1前		2		○								兼1	
	科学技術と人間	1前		2		○								兼1	
	心理学A	1前		2		○								兼1	
	心理学B	1後		2		○								兼1	
	人格心理学	1前		2		○								兼1	
	臨床心理学	1後		2		○								兼1	
	薬の発明・発見史Ⅰ	1前		2		○								兼1	
	薬の発明・発見史Ⅱ	1後		2		○								兼2	オムニバス
	女性のための医学	1後		2		○								兼2	オムニバス
	日本国憲法	1前		2		○								兼1	
	国際社会と法	1前		2		○								兼1	
	法と市民生活	1後		2		○								兼1	
	国際関係論A	1前		2		○								兼1	
	国際関係論B	1後		2		○								兼1	
	国際社会と経済A	1前		2		○								兼1	
	国際社会と経済B	1後		2		○								兼1	
	日本経済のしくみ	1後		2		○								兼1	
	人間と社会A	1前		2		○								兼1	
	人間と社会B	1後		2		○								兼1	
	異文化間コミュニケーション論	1後		2		○								兼1	
	マスコミュニケーション論A	1前		2		○								兼1	
	マスコミュニケーション論B	1前		2		○								兼1	
	情報と社会	1前		2		○								兼1	
	社会保障と福祉	1後		2		○								兼1	
	介護概説	1前		2		○								兼1	
	女性と社会	1後		2		○								兼1	
	日本女性史	1前		2		○								兼1	
	外国文学と女性A	1前		2		○								兼1	
	外国文学と女性B	1後		2		○								兼1	
	日本文学と女性	1後		2		○								兼1	
	ヨーロッパの歴史と文化A	1前		2		○								兼1	
	ヨーロッパの歴史と文化B	1後		2		○								兼1	
	日本の歴史と文化A	1前		2		○								兼1	
	日本の歴史と文化B	1後		2		○								兼1	
	日本文化論	1後		2		○								兼1	
	文化交流史	1後		2		○								兼2	オムニバス
	文化人類学	1前		2		○								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通学芸科目	環境社会論	1後		2		○								兼1	
	アメリカ地域研究A	1前		2		○			1					兼2	オムニバス
	アメリカ地域研究B	1後		2		○			1					兼2	オムニバス
	アジア地域研究A	1前		2		○								兼1	
	アジア地域研究B	1後		2		○								兼1	
	日本古典芸能A	1前		2		○								兼1	
	日本古典芸能B	1後		2		○								兼1	
	美術史	1前		2		○								兼1	
	音楽と諸芸術	1前		2		○								兼1	
	音楽と社会	1前		2		○								兼1	
	現代の音楽	1後		2		○								兼1	
	映像文化論	1前		2		○								兼1	
	京都の文化A	1前		2		○								兼1	
	京都の文化B	1前		2		○								兼1	
	京都の文化C	1後		2		○								兼1	
	京都の文化D	1前		2		○								兼1	
	京都の文化に触れるA	2前		2		○								兼1	
	京都の文化に触れるB	2前		2		○								兼1	
	京都の文化に触れるC	2前		2		○								兼1	
	京都の文化に触れるD	2前		2		○								兼1	
	京都の文化に触れるE	2前		2		○								兼7	オムニバス
	京都の歴史A	1前		2		○								兼1	
	京都の歴史B	1後		2		○								兼1	
	教育の原理	2前		2		○								兼1	
	発達と学習の心理学	2前		2		○								兼1	
	教育の制度と経営	2後		2		○								兼1	
	海外事情（アメリカ）	1前		4			○							兼1	
	海外事情（イギリス）	1後		4			○							兼1	
	海外事情（ニュージーランド）	1後		4			○							兼1	
	海外事情（中国）	1後		4			○							兼1	
	海外事情（カナダ）	1前		4			○							兼1	
	Japan Studies A	1後		2		○								兼1	
	Japan Studies B	1後		2		○								兼1	
	Japan Studies C	1後		2		○								兼1	
	Japan Studies D	1後		2		○								兼1	
	大学生活とキャリアデザインⅠ	1後		2		○								兼1	
	大学生活とキャリアデザインⅡ	2前		2		○								兼1	
	大学生活とキャリアデザインⅢ	2後		2		○								兼1	
	キャリアのための自己表現演習	2前		1			○							兼1	
	インターンシップ［大学コンソーシアム京都］	2通		2				○						兼1	
	インターンシップⅠA	2通		1				○						兼1	
	インターンシップⅠB	2通		2				○						兼1	
	小計（91科目）	－	0	190	0	－			2	0	0	0	0	兼69	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
キリスト教・同志社関係科目	聖書A	1前	2			○								兼1	
	聖書B	1後	2			○								兼1	
	キリスト教の歴史A	1前		2		○								兼1	
	キリスト教の歴史B	1前		2		○								兼1	
	キリスト教の歴史C	1後		2		○								兼1	
	キリスト教文化論A	1後		2		○								兼1	
	キリスト教文化論B	1後		2		○								兼1	
	キリスト教文化論C	1前		2		○								兼1	
	キリスト教世界の探求A	1前		2		○								兼1	
	キリスト教世界の探求B	1後		2		○								兼1	
	キリスト教世界の探求C	1後		2		○								兼1	
	近代日本と同志社A	1後		2		○								兼1	
	近代日本と同志社B	1前		2		○								兼3	オムニバス
	近代日本と同志社C	1前		2		○								兼1	
	近代日本と同志社D	1後		2			○							兼1	
	小計（15科目）	－	4	26	0	－			0	0	0	0	0	兼13	
外国語科目	初級フランス語基礎Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級フランス語基礎Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	初級フランス語演習Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級フランス語演習Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	中級フランス語Ⅰ	2前		1			○							兼1	
	中級フランス語Ⅱ	2後		1			○							兼1	
	ラピートフランス語Ⅰ	2前		1			○							兼1	
	ラピートフランス語Ⅱ	2後		1			○							兼1	
	ラピートフランス語Ⅲ	3前		1			○							兼1	
	ラピートフランス語Ⅳ	3後		1			○							兼1	
	初級ドイツ語基礎Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級ドイツ語基礎Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	初級ドイツ語演習Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級ドイツ語演習Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	中級ドイツ語Ⅰ	2前		1			○							兼1	
	中級ドイツ語Ⅱ	2後		1			○							兼1	
	ラピートドイツ語Ⅰ	2前		1			○							兼1	
	ラピートドイツ語Ⅱ	2後		1			○							兼1	
	ラピートドイツ語Ⅲ	3前		1			○							兼1	
	ラピートドイツ語Ⅳ	3後		1			○							兼1	
	初級中国語基礎	1前		2			○							兼3	
	初級中国語演習	1後		2			○							兼3	
	中級中国語Ⅰ	2前		1			○							兼1	
	中級中国語Ⅱ	2後		1			○							兼1	
	ラピート中国語Ⅰ	2前		1			○							兼1	
	ラピート中国語Ⅱ	2後		1			○							兼1	
	ラピート中国語Ⅲ	3前		1			○							兼1	
	ラピート中国語Ⅳ	3後		1			○							兼1	
	初級ハングル基礎Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級ハングル基礎Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	初級ハングル演習Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級ハングル演習Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	中級ハングルⅠ	2前		1			○							兼1	
	中級ハングルⅡ	2後		1			○							兼1	
	初級イタリア語基礎Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級イタリア語基礎Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	初級イタリア語演習Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級イタリア語演習Ⅱ	1後		1			○							兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
外国語科目	中級イタリア語Ⅰ	2前		1			○							兼1	
	中級イタリア語Ⅱ	2後		1			○							兼1	
	初級スペイン語基礎Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級スペイン語基礎Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	初級スペイン語演習Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級スペイン語演習Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	中級スペイン語Ⅰ	2前		1			○							兼1	
	中級スペイン語Ⅱ	2後		1			○							兼1	
	小計（46科目）	－	0	48	0	－			0	0	0	0	0	兼23	
スポーツ・健康科目	体育実技A	1前		1				○						兼2	
	体育実技B	1後		1				○						兼2	
	からだの科学	1前		2		○								兼1	
	ウェルネス健康論	1前		2		○								兼1	
	食物と健康	1後		2		○								兼1	
	スポーツ文化論	1後		2		○								兼1	
	スポーツ実習A	2前		1				○						兼1	
	スポーツ実習B	2後		1				○						兼1	
	小計（8科目）	－	0	12	0	－			0	0	0	0	0	兼7	
基礎教育科目	Academic SpeakingⅠ	1前	2				○		1	1		1			
	Academic SpeakingⅡ	1後	2				○		1	1		1			
	Academic SpeakingⅢ	2前	2				○		1	1		3			
	Academic WritingⅠ	1前	2				○		1	1		1			
	Academic WritingⅡ	1後	2				○		1	1		1			
	Academic WritingⅢ	2前	2				○		1	1		3			
	Intensive ReadingⅠ	1前	2				○		1						
	Intensive ReadingⅡ	1後	2				○		1						
	Intensive ListeningⅠ	1前	2				○		1						
	Intensive ListeningⅡ	1後	2				○		1						
	Integrative SkillsⅠ	1前	1				○		1	1		2			
	Integrative SkillsⅡ	1後	1				○		1	1		2			
	Pronunciation and PresentationⅠ	1前	1				○		1			1			
	Pronunciation and PresentationⅡ	1後	1				○		1			1			
	Extensive Reading	2前	2				○							兼1	
	Consecutive Interpretation/日英逐次通訳入門	3後		2			○							兼1	
	Reading and Discussion A	3後		2			○					1			
	Reading and Discussion B	3後		2			○							兼1	
	Reading and Discussion C	3後		2			○			1					
	Reading and Discussion D	3後		2			○					1			
	Reading and Discussion E	3後		2			○		1						
	Simultaneous Interpretation/日英同時通訳入門	4前		2			○							兼1	
	Discussion and Debate A	4前		2			○							兼1	
	Discussion and Debate B	4前		2			○					1			
	小計（24科目）	－	26	18	0	－			3	1	0	3	0	兼4	
国際教養科目	Introduction to Japanese Studies/日本研究入門	1前・後	2			○				1					※演習
	Introduction to British Studies/イギリス研究入門	1前・後	2			○			1						※演習
	Introduction to North American Studies/北米研究入門	1前・後	2			○			1						※演習
	Introduction to Intercultural Communication/異文化間コミュニケーション入門	1前・後	2			○			1						※演習
	Overseas Study Preparation Ⅰ/留学前指導Ⅰ	1前	1			○			1						※演習
	Overseas Study Preparation Ⅱ/留学前指導Ⅱ	1後	1			○			1						※演習
	Contemporary Japanese Society/現代の日本社会	2前	2			○								兼1	※演習
	Introduction to international Relations/国際関係論入門	2前	2			○						1			※演習
	Overseas Study PreparationⅢ/留学事前指導Ⅲ	2前	2			○			4						※演習
	TutorialⅠ/実地研究指導Ⅰ	2後	2				○		3	1					
	TutorialⅡ/実地研究指導Ⅱ	3前	2				○		3	1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
国際教養科目	Historical View of Britain/イギリス史	2前		2		○			1						※演習
	Historical View of North America/北米史	2前		2		○			1						※演習
	Introduction to Linguistics/言語学概論	2前		2		○								兼1	※演習
	English Phonetics/英語音声学	2前		2		○			1						※演習
	Japanese & Comparative Literature/日本文学と外国文学	2前		2		○				1					※演習
	Japanese & Foreign Languaes/日本語と外国語	2前		2		○								兼1	※演習
	Christianity in the World/キリスト教と世界	2前		2		○								兼1	※演習
	Global Education/国際教育論	2前		2		○								兼1	※演習
	International Relations in East Asia/東アジア国際関係論	2前		2		○								兼1	※演習
	Sociolinguistics/社会言語学	3後		2		○								兼1	※演習
	Language Teaching Methodology/言語教育方法論	3後		2		○								兼1	※演習
	Bilingualism/バイリンガリズム論	3後		2		○			1						※演習
	Political Issues in Japan/日本の政治	3後		2		○								兼1	※演習
	Cultural Issues in Japan/日本の文化	3後		2		○								兼1	※演習
	Social Issues in Japan/日本の社会	3後		2		○								兼1	※演習
	Japanese Traditional Arts/日本の伝統芸能	3後		2		○								兼1	※演習
	Minority and Japanese Society/マイノリティーと日本社会	3後		2		○								兼1	※演習
	Inbound Tourism/インバウンド観光論	3後		2		○								兼1	※演習
	Japanese Film Studies/日本映画研究	3後		2		○				1					※演習
	English and American Literature/英米文学論	3後		2		○				1					※演習
	Asian Culture/アジア文化論	3後		2		○								兼1	※演習
	Multiculturalism in Modern Society/現代社会と多文化主義	3後		2		○								兼1	※演習
	Advanced British Studies/イギリス研究	3後		2		○			1						※演習
	Advanced North American Studies/北米研究	3後		2		○						1			※演習
	Comparative Religious Studies/比較宗教論	3後		2		○								兼1	※演習
	International Business/国際ビジネス論	3後		2		○								兼1	※演習
	Tourism Studies/国際観光論	3後		2		○								兼1	※演習
	Inrternational Gender Studies/国際ジェンダー論	3後		2		○								兼1	※演習
	Enviromental Issues in Modern Society/現代社会と環境	3後		2		○								兼1	※演習
	Issues in International Development/国際開発論	3後		2		○								兼1	※演習
	International Journalism/国際ジャーナリズム論	3後		2		○								兼1	※演習
	Overseas Study Credit/国際教養留学認定	3後		0～30											
	小計（43科目）	－	20	62	0	－			4	1	0	1	0	兼15	
キャリアデザイン科目	Global Career Design Ⅰ/グローバルキャリアデザインⅠ	2前		2		○								兼1	※演習
	Global Career Design Ⅱ/グローバルキャリアデザインⅡ	3後		2		○								兼1	※演習
	Global Leadership/グローバルリーダーシップ論	3後		2		○								兼1	※演習
	InternshipⅡ/インターンシップⅡ	3通		2				○	1						
	小計（4科目）	－	0	8	0	－			1	0	0	0	0	兼2	
演習科目	Seminar in International StudiesⅠ/国際教養演習Ⅰ	1前	2				○		4	1					
	Seminar in International StudiesⅡ/国際教養演習Ⅱ	1後	2				○		4	1					
	Seminar in International StudiesⅢ/国際教養演習Ⅲ	2前	2				○		4	1					
	Senior SeminarⅠ/卒業研究Ⅰ	3後	2				○		4	1		2			
	Senior SeminarⅡ/卒業研究Ⅱ	4前	4				○		4	1		2			
	Senior SeminarⅢ/卒業研究Ⅲ	4後	4				○		4	1		2			
	小計（6科目）	－	16	0	0	－			4	1	0	2	0	0	
学部統合科目	学芸学部ジョイントプログラム	3後		2		○								兼1	
	小計（1科目）	－	0	2	0	－			0	0	0	0	0	兼1	
合計（238科目）		－	66	366	0	－			5	2	0	3	0	兼127	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
学位又は称号	学士（国際教養学）		学位又は学科の分野			文学関係								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【卒業要件】 必修科目66単位、選択科目40単位、選択科目の最低履修単位数を超える修得単位数18単位以上、計124単位以上修得すること。 【履修方法】 〈学科科目〉 「基礎教育科目」から28単位以上（必修26単位、選択必修2単位以上） 「国際教養科目」から40単位（必修20単位、選択必修14単位以上） 「キャリアデザイン科目」から2単位以上 「演習科目」から16単位（必修16単位） 〈全学共通科目〉 「共通学芸科目」から8単位以上 「キリスト教・同志社関係科目」から6単位以上（必修4単位、選択必修2単位以上） 「外国語科目」から4単位以上（選択必修4単位以上） 「スポーツ・健康科目」から2単位以上（選択必修2単位以上） 「区分外領域（上記各科目区分のオーバー単位、他大学単位互換科目単位など）」から18単位以上 （履修科目の登録上限：49単位（年間） ※留学年度については留学期間を除き各学期28単位）	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

（注）

1　学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。

2　私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。

3　開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。

4　「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（現代社会学部社会システム学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通学芸科目	哲学A	1前		2		○								兼1
	哲学B	1後		2		○								兼1
	西洋の思想A	1前		2		○								兼1
	西洋の思想B	1後		2		○								兼1
	日本の思想A	1前		2		○								兼1
	日本の思想B	1後		2		○								兼1
	宇宙の科学	1後		2		○								兼1
	地球の科学	1前		2		○								兼1
	生命の科学	1前		2		○								兼1
	自然人類学	1前		2		○								兼1
	物質の科学	1後		2		○								兼1
	生活環境の科学	1前		2		○								兼1
	自然科学史	1前		2		○								兼1
	科学技術と人間	1前		2		○								兼1
	心理学A	1前		2		○								兼1
	心理学B	1後		2		○								兼1
	人格心理学	1前		2		○								兼1
	臨床心理学	1後		2		○								兼1
	薬の発明・発見史Ⅰ	1前		2		○								兼1
	薬の発明・発見史Ⅱ	1後		2		○								兼2　オムニバス
	女性のための医学	1後		2		○								兼2　オムニバス
	日本国憲法	1前		2		○								兼1
	国際社会と法	1前		2		○								兼1
	法と市民生活	1後		2		○								兼1
	国際関係論A	1前		2		○								兼1
	国際関係論B	1後		2		○								兼1
	国際社会と経済A	1前		2		○								兼1
	国際社会と経済B	1後		2		○								兼1
	日本経済のしくみ	1後		2		○			1					
	人間と社会A	1前		2		○								兼1
	人間と社会B	1後		2		○								兼1
	異文化間コミュニケーション論	1後		2		○								兼1
	マスコミュニケーション論A	1前		2		○								兼1
	マスコミュニケーション論B	1前		2		○								兼1
	情報と社会	1前		2		○								兼1
	社会保障と福祉	1後		2		○				1				
	介護概説	1前		2		○								兼1
	女性と社会	1後		2		○								兼1
	日本女性史	1前		2		○								兼1
	外国文学と女性A	1前		2		○								兼1
	外国文学と女性B	1後		2		○								兼1
	日本文学と女性	1後		2		○								兼1
	ヨーロッパの歴史と文化A	1前		2		○								兼1
	ヨーロッパの歴史と文化B	1後		2		○								兼1
	日本の歴史と文化A	1前		2		○								兼1
	日本の歴史と文化B	1後		2		○								兼1
	日本文化論	1後		2		○								兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通学芸科目	文化交流史	1後		2		○								兼2 オムニバス
	文化人類学	1前		2		○			1					
	環境社会論	1後		2		○			1					
	アメリカ地域研究A	1前		2		○								兼3 オムニバス
	アメリカ地域研究B	1後		2		○								兼3 オムニバス
	アジア地域研究A	1前		2		○								兼1
	アジア地域研究B	1後		2		○								兼1
	日本古典芸能A	1前		2		○								兼1
	日本古典芸能B	1後		2		○								兼1
	美術史	1前		2		○								兼1
	音楽と諸芸術	1前		2		○								兼1
	音楽と社会	1前		2		○								兼1
	現代の音楽	1後		2		○								兼1
	映像文化論	1前		2		○								兼1
	京都の文化A	1前		2		○								兼1
	京都の文化B	1前		2		○								兼1
	京都の文化C	1後		2		○								兼1
	京都の文化D	1前		2		○								兼1
	京都の文化に触れるA	2前		2		○								兼1
	京都の文化に触れるB	2前		2		○								兼1
	京都の文化に触れるC	2前		2		○								兼1
	京都の文化に触れるD	2前		2		○								兼1
	京都の文化に触れるE	2前		2		○			2					兼5 オムニバス
	京都の歴史A	1前		2		○								兼1
	京都の歴史B	1後		2		○								兼1
	教育の原理	2前		2		○								兼1
	発達と学習の心理学	2前		2		○								兼1
	教育の制度と経営	2後		2		○								兼1
	海外事情（アメリカ）	1前		4			○							兼1
	海外事情（イギリス）	1後		4			○							兼1
	海外事情（ニュージーランド）	1後		4			○							兼1
	海外事情（中国）	1後		4			○							兼1
	海外事情（カナダ）	1前		4			○							兼1
	Japan Studies A	1後		2		○								兼1
	Japan Studies B	1後		2		○								兼1
	Japan Studies C	1後		2		○								兼1
	Japan Studies D	1後		2		○								兼1
	大学生活とキャリアデザインⅠ	1後		2		○								兼1
	大学生活とキャリアデザインⅡ	2前		2		○								兼1
	大学生活とキャリアデザインⅢ	2後		2		○								兼1
	キャリアのための自己表現演習	2前		1			○							兼1
	インターンシップ［大学コンソーシアム京都］	2通		2				○						兼1
	インターンシップⅠA	2通		1				○						兼1
	インターンシップⅠB	2通		2				○						兼1
	小計（91科目）	―	0	190	0	―			4	1	0	0	0	兼66

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
キリスト教・同志社関係科目	聖書A	1前	2			○				1				兼2	
	聖書B	1後	2			○				1				兼2	
	キリスト教の歴史A	1前		2		○								兼1	
	キリスト教の歴史B	1前		2		○								兼1	
	キリスト教の歴史C	1後		2		○								兼1	
	キリスト教文化論A	1後		2		○								兼1	
	キリスト教文化論B	1後		2		○			1						
	キリスト教文化論C	1前		2		○				1					
	キリスト教世界の探求A	1前		2		○								兼1	
	キリスト教世界の探求B	1後		2		○								兼1	
	キリスト教世界の探求C	1後		2		○				1					
	近代日本と同志社A	1後		2		○								兼1	
	近代日本と同志社B	1前		2		○			1	1				兼1	オムニバス
	近代日本と同志社C	1前		2		○								兼1	
	近代日本と同志社D	1後		2			○							兼1	
	小計（15科目）	－	4	26	0	－			2	1	0	0	0	兼10	
外国語科目	Comprehensive English Ⅰ	1前	1				○							兼9	
	Comprehensive English Ⅱ	1後	1				○							兼9	
	Communication in English Ⅰ	1前	1				○			1		1		兼5	
	Communication in English Ⅱ	1後	1				○			1		1		兼5	
	初級フランス語基礎Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級フランス語基礎Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	初級フランス語演習Ⅰ	1前		1			○							兼2	
	初級フランス語演習Ⅱ	1後		1			○							兼2	
	中級フランス語Ⅰ	2前		1			○							兼1	
	中級フランス語Ⅱ	2後		1			○							兼1	
	ラピートフランス語Ⅰ	2前		1			○							兼1	
	ラピートフランス語Ⅱ	2後		1			○							兼1	
	ラピートフランス語Ⅲ	3前		1			○							兼1	
	ラピートフランス語Ⅳ	3後		1			○							兼1	
	初級ドイツ語基礎Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級ドイツ語基礎Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	初級ドイツ語演習Ⅰ	1前		1			○							兼2	
	初級ドイツ語演習Ⅱ	1後		1			○							兼2	
	中級ドイツ語Ⅰ	2前		1			○							兼1	
	中級ドイツ語Ⅱ	2後		1			○							兼1	
	ラピートドイツ語Ⅰ	2前		1			○		1						
	ラピートドイツ語Ⅱ	2後		1			○		1						
	ラピートドイツ語Ⅲ	3前		1			○		1						
	ラピートドイツ語Ⅳ	3後		1			○		1						
	初級中国語基礎	1前		2			○			1				兼3	
	初級中国語演習	1後		2			○			1				兼3	
	中級中国語Ⅰ	2前		1			○							兼1	
	中級中国語Ⅱ	2後		1			○							兼1	
	ラピート中国語Ⅰ	2前		1			○			1					
	ラピート中国語Ⅱ	2後		1			○			1					
	ラピート中国語Ⅲ	3前		1			○			1					
	ラピート中国語Ⅳ	3後		1			○			1					
	初級ハングル基礎Ⅰ	1前		1			○							兼4	
	初級ハングル基礎Ⅱ	1後		1			○							兼4	
	初級ハングル演習Ⅰ	1前		1			○							兼4	
	初級ハングル演習Ⅱ	1後		1			○							兼4	
	中級ハングルⅠ	2前		1			○							兼1	
	中級ハングルⅡ	2後		1			○							兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語科目	初級イタリア語基礎Ⅰ	1前		1			○							兼1
	初級イタリア語基礎Ⅱ	1後		1			○							兼1
	初級イタリア語演習Ⅰ	1前		1			○							兼1
	初級イタリア語演習Ⅱ	1後		1			○							兼1
	中級イタリア語Ⅰ	2前		1			○							兼1
	中級イタリア語Ⅱ	2後		1			○							兼1
	初級スペイン語基礎Ⅰ	1前		1			○							兼1
	初級スペイン語基礎Ⅱ	1後		1			○							兼1
	初級スペイン語演習Ⅰ	1前		1			○							兼2
	初級スペイン語演習Ⅱ	1後		1			○							兼2
	中級スペイン語Ⅰ	2前		1			○							兼1
	中級スペイン語Ⅱ	2後		1			○							兼1
	小計（50科目）	－	4	48	0	－			1	2	0	1	0	兼36
スポーツ・健康科目	体育実技A	1前		1				○						兼6
	体育実技B	1後		1				○						兼6
	からだの科学	1前		2		○								兼1
	ウェルネス健康論	1前		2		○								兼1
	食物と健康	1後		2		○								兼1
	スポーツ文化論	1後		2		○								兼1
	スポーツ実習A	2前		1				○						兼1
	スポーツ実習B	2後		1				○						兼1
	小計（8科目）	－	0	12	0	－			0	0	0	0	0	兼11
基礎・入門科目	基礎演習	1前	2				○		8	6		4		
	現代社会入門	1後	2			○			3			2		オムニバス
	社会リサーチ入門	1後	2			○			2					オムニバス
	シティズンシップ入門	1前・後	2			○				2				オムニバス
	法からみる現代社会	2前	2			○			1			1		オムニバス
	小計（5科目）	－	10	0	0	－			10	6	0	4	0	0
概論科目	文化人類学概論	1前・後		2		○			1					
	比較文化概論	1前・後		2		○			1					
	観光学概論	1前		2		○			1					
	京都観光学概論	1前		2		○			1					
	京都学概論	1後		2		○			1					
	博物館概論	1後		2		○			1					
	社会学概論	1前・後		2		○			1					
	倫理学概論	1前		2		○								兼1
	教育学概論	1前		2		○			1					
	社会心理学概論	1前・後		2		○								兼1
	経済学概論	1前・後		2		○			1					
	経営学概論	1前・後		2		○			1					
	法学概論	1前・後		2		○			1					
	政治学概論	1前・後		2		○				1				
	小計（14科目）	－	0	28	0	－			10	1	0	0	0	兼2

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
応用・各論科目	コース科目	多文化共生コース	オセアニア地域文化論	2前		2		○			1					
			アメリカ地域文化論	2後		2		○								兼1
			ヨーロッパ地域文化論Ⅰ	2前		2		○			1					
			ヨーロッパ地域文化論Ⅱ	2後		2		○			1					
			ヨーロッパの人と社会	2前		2		○								兼1
			ヨーロッパの人と文化	2後		2		○								兼1
			エスニシティ論	2後		2		○			1					
			カルチュラルスタディーズ	2前		2		○			1					
			国際関係史	2前		2		○								兼1
			宗教と世界史	2後		2		○								兼1
			アジア太平洋地域発展論	2後		2		○						1		
			東洋の歴史Ⅰ	2前		2		○								兼1
			東洋の歴史Ⅱ	2後		2		○								兼1
			多文化共生とこども	2前		2		○								兼1
			国際教育論	2後		2		○			1					
			世界の貧困問題とこども支援	2前		2		○								兼1
			ユニセフとこども支援	2後		2		○								兼1
			世界のこども政策	2前		2		○								兼1
			アジア地域文化論	3前		2		○			1					
			グローバル社会論	3後		2		○			1					
			異文化理解	3後		2		○								兼1
			移民難民論	3後		2		○			1					
			国際交流史	3後		2		○								兼1
			地誌学Ⅰ	3前		2		○								兼1
			地誌学Ⅱ	3後		2		○								兼1
			Academic Studies in English Ⅰ(A)	3前		2			○							兼2
			Academic Studies in English Ⅱ(A)	3後		2			○							兼2
			Academic Studies in English Ⅰ(B)	3前		2			○							兼2
			Academic Studies in English Ⅱ(B)	3後		2			○							兼2
			小計（29科目）	－	0	58	0	－			4	0	0	1	0	兼15
		京都学・観光学コース	京都観光論	2後		2		○			1					
			京都の文化財論	2後		2		○								兼1
			京都文化論	2後		2		○								兼1
			京都の美術史	2後		2		○								兼1
			京都伝統芸能論	2前		2		○								兼1
			京都文化資料論	2前		2		○								兼1
			観光地理論	2前		2		○			1					
			京都・大阪の歴史地理	2後		2		○			1					
			観光経営論	2前		2		○			1					
			観光社会論	2後		2		○			1					
			ホスピタリティマネジメント論	2前		2		○			1					
			観光地域事業論	2後		2		○			1					
			地域調査法	2前		2			○		1					
			博物館資料論	2前		2		○								兼1
			博物館展示論	2前		2		○			1					
			Tourism,Culture,and Technology Ⅰ	2前		2			○							兼1
			Tourism,Culture,and Technology Ⅱ	2後		2			○							兼1
			京都の社会史	3前		2		○								兼1
			日本の歴史Ⅰ	3前		2		○								兼1
			日本の歴史Ⅱ	3後		2		○								兼1
			考古学Ⅰ	3前		2		○			1					
			考古学Ⅱ	3後		2		○			1					
			地理学	3前		2		○			1					
			まちづくりの地理学	3後		2		○			1					

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
応用・各論科目	コース科目	京都学・観光学コース	ホスピタリティ産業論	3前		2		○								兼1
			観光マーケティング論	3後		2		○			1					
			観光イノベーション論	3後		2		○			1					
			国際観光論	3前		2		○			1					
			京都フィールドワーク	3後		2				○	1					
			博物館資料保存論	3後		2		○								兼1
			博物館教育論	3前		2		○			1					
			博物館情報・メディア論	3前		2		○								兼1
			博物館経営論	3後		2		○								兼1
			Academic Studies in English Ⅰ(C)	3前		2			○							兼2
			Academic Studies in English Ⅱ(C)	3後		2			○							兼2
			Academic Studies in English Ⅰ(D)	3前		2			○							兼1
			Academic Studies in English Ⅱ(D)	3後		2			○							兼1
			小計（37科目）	－	0	74	0	－			5	0	0	0	0	兼14
		ライフ・デザインコース	生命の倫理	2前		2		○								兼1
			現代社会と宗教	2後		2		○				1				
			宗教と人間	2後		2		○				1				
			生涯学習論	2後		2		○								兼1
			教育社会学	2前		2		○								兼1
			ジェンダー論	2前		2		○								兼1
			女性史	2後		2		○								兼1
			女性とリーダーシップ	2後		2		○			1					
			心理臨床学	2前		2		○			1					
			対人関係心理学	2後		2		○								兼1
			生涯発達心理学	2前		2		○			1					
			現代青年の心理と行動	2前		2		○								兼1
			高齢者心理学	2後		2		○			1					
			社会福祉論	2後		2		○				1				
			女性と社会保障	2後		2		○				1				
			社会福祉調査法	2後		2			○			1				
			こども福祉論	2前		2		○				1				
			レジャースポーツ論	2後		2		○								兼1
			ウエルネスライフ論	2後		2		○								兼1
			キャリア形成論	2後		2		○						1		
			コミュニティマネジメント論	2後		2		○						1		
			障害学	3前		2		○								兼1
			社会倫理学	3後		2		○								兼1
			ケアの人間学	3後		2		○								兼1
			現代教育学	3後		2		○			1					
			現代社会論	3後		2		○								兼1
			情報社会心理学	3前		2		○								兼1
			ジェンダーの社会心理学	3後		2		○								兼1
			カウンセリング論	3前		2		○								兼1
			家族臨床心理学	3後		2		○			1					
			音楽療法	3後		2		○								兼1
			家族社会論	3前		2		○								兼1
			Academic Studies in English Ⅰ(E)	3前		2			○							兼2
			Academic Studies in English Ⅱ(E)	3後		2			○							兼2
			Academic Studies in English Ⅰ(F)	3前		2			○			1				兼1
			Academic Studies in English Ⅱ(F)	3後		2			○			1				兼1
			小計（36科目）	－	0	72	0	－			3	3	0	1	0	兼19

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
応用・各論科目	コース科目	ビジネスマネジメントコース	金融論	2前		2		○			1					
			国際金融論	2後		2		○			1					
			保険論	2前		2		○			1					
			流通論	2後		2		○			1					
			簿記論Ⅰ	2前		2		○				1				
			簿記論Ⅱ	2後		2		○				1				
			財政学	2後		2		○								兼1
			会計学	2後		2		○				1				
			マーケティング論	2前		2		○								兼1
			原価計算	2後		2		○				1				
			環境経済論	2前		2		○			1					
			都市経済論	2後		2		○								兼1
			国際企業論	2前		2		○						1		
			マーケティング調査法	2前		2			○					1		
			広告論	2後		2		○								兼1
			情報学	2前		2		○								兼1
			情報ネットワーク基礎	2後		2		○			1					
			経済学ステップアップ	2前		2		○								兼1
			証券キャピタルマーケット論	2後		2		○			1					
			経営学ステップアップ	2前		2		○						1		
			ビジネス統計・数学	2前		2		○			1					
			企業の社会的責任	2前		2		○						1		
			社会情報論	2前		2		○			1					
			こども産業論	2前		2		○								兼1
			人的資源論	2前		2		○						1		
			経営哲学	3前		2		○								兼1
			財務諸表論	3前		2		○								
			ディスクロージャー論	3後		2		○				1				
			国際環境政策論	3後		2		○								兼1
			経済政策論	3後		2		○			1					
			ベンチャービジネス論	3後		2		○						1		
			ネットビジネス論	3前		2		○								兼1
			女性企業家論	3前		2		○								兼1
			国際ビジネス論	3前		2		○			1					
			Academic Studies in English Ⅰ(G)	3前		2			○							兼2
			Academic Studies in English Ⅱ(G)	3後		2			○							兼2
			Academic Studies in English Ⅰ(H)	3前		2			○							兼1
			Academic Studies in English Ⅱ(H)	3後		2			○							兼1
			小計（38科目）	―	0	76	0	―			3	1	0	2	0	兼14
		公共政策と法コース	地方行政論	2前		2		○								兼1
			外交論	2後		2		○				1				
			安全保障論	2後		2		○				1				
			社会保障論	2前		2		○				1				
			憲法Ⅰ	2前		2		○				1				
			憲法Ⅱ	2後		2		○				1				
			民法Ⅰ	2前		2		○						1		
			民法Ⅱ	2後		2		○						1		
			現代社会と犯罪	2前		2		○			1					
			刑法総論	2前		2		○			1					
			刑法各論	2後		2		○			1					
			商法	2後		2		○								兼1
			民事訴訟法	2後		2		○								兼1
			労働法	2前		2		○								兼1
			刑事訴訟法	2後		2		○			1					
			家族法	2後		2		○								兼1

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
応用・各論科目	コース科目	公共政策と法コース	国際法	2前		2		○								兼1
			行政法	2後		2		○								兼1
			ジェンダー法	2後		2		○				1				
			こどもと法	2後		2		○				1				
			現代の政治	3前		2		○								兼1
			国際社会協力政策論	3後		2		○				1				
			公務員と法	3前		2		○				1				
			国際社会と公共政策	3後		2		○			1					
			国連政策論	3前		2		○				1				
			都市政策論	3前		2		○								兼1
			物権法の重要問題	3前		2		○						1		
			債権法の重要問題	3後		2		○						1		
			刑法の重要問題	3前		2		○			1					
			刑事司法の重要問題	3後		2		○			1					
			企業と法	2前		2		○								兼1
			社会保障と法	3後		2		○								兼1
			税金と法	3前		2		○								兼1
			知的財産権法	3後		2		○								兼1
			金融取引と法	3前		2		○						1		
			家族法の重要問題	3前		2		○								兼1
			Academic Studies in English Ⅰ(I)	3前		2			○							兼1
			Academic Studies in English Ⅱ(I)	3後		2			○							兼1
			Academic Studies in English Ⅰ(J)	3前		2			○							兼1
			Academic Studies in English Ⅱ(J)	3後		2			○							兼1
			小計（40科目）	－	0	80	0	－			2	3	0	1	0	兼15
		コミュニケーション系科目	Academic Reading and Discussion Ⅰ	2前	2				○					1		兼10
			Academic Reading and Discussion Ⅱ	2後	2				○					1		兼10
			Communication Skills Ⅰ	1前		1			○					1		兼3
			Communication Skills Ⅱ	1後		1			○					1		兼3
			Academic Writing and Discussion Ⅰ	2前		2			○							兼5
			Academic Writing and Discussion Ⅱ	2後		2			○							兼5
			小計（6科目）	－	4	6	0	－			0	0	0	1	0	兼17
	総合キャリア科目	情報活用科目	情報活用実習Ⅰ	2前・後		2				○						兼3
			情報活用実習Ⅱ	2前・後		2				○						兼2
			情報活用実習Ⅲ	2前・後		2				○						兼3
			情報活用実習Ⅳ	2前・後		2				○						兼3
			情報活用実習Ⅴ	2前・後		2				○						兼2
			小計（５科目）	－	0	10	0	－			0	0	0	0	0	兼7
		キャリアデザイン科目	キャリアアップ英語Ⅰ	1前		2			○							兼5
			キャリアアップ英語Ⅱ	1後		2			○							兼5
			海外事情（アジアと女性）	1後		2				○		1				
			ライフデザイニング	2後		2			○		2			1		オムニバス
			World Affairs Ⅰ	2前		2			○							兼1
			World Affairs Ⅱ	2後		2			○							兼1
			キャリアアップ英語Ⅲ	2前		2			○							兼5
			キャリアアップ英語Ⅳ	2後		2			○							兼5
			Communication Skills for Work Ⅰ	3前		2			○							兼1
			Communication Skills for Work Ⅱ	3後		2			○							兼1
			English for Work Ⅰ	3前		2			○							兼1
			English for Work Ⅱ	3後		2			○							兼1
			インターンシップⅡ	3通		2				○	2	1		1		
			小計（13科目）	－	0	26	0	－			3	2	0	2	0	兼12

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
応用・各論科目	総合キャリア科目	プロジェクト科目	プロジェクト演習Ⅰ	2通		2			○		3					
			Project-Based English Ⅰ	2通		2			○			1		1		兼1
			プロジェクト演習Ⅱ	3通		2			○		3					
			Project-Based English Ⅱ	3通		2			○			1		1		兼1
			小計（４科目）	－	0	8	0	－			3	1	0	1	0	兼1
	ゼミナール科目		応用演習Ⅰ	3前	2				○		12	6		2		
			応用演習Ⅱ	3後	2				○		12	6		2		
			卒業研究Ⅰ	4前	2				○		13	6		4		
			卒業研究Ⅱ	4後	2				○		13	6		4		
			専門基礎演習	2前		2			○		10	6		3		
			小計（5科目）	－	8	2	0	－			14	6	0	4	0	0
	自由選択科目		コンピュータ活用	1前・後			2		○							兼4
			博物館実習	4通			3			○	1					
			小計（2科目）	－	0	0	5	－			1	0	0	0	0	兼4
合計（398科目）				－	30	680	5	－			14	7	0	4	0	兼201

学位又は称号	学士（社会システム）	学位又は学科の分野	社会学・社会福祉学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【卒業要件】 必修科目30単位以上、選択科目74単位、選択科目の最低履修単位数を超える修得単位数20単位以上、計124単位以上を修得すること 【履修方法】 〈学科科目〉 「基礎・入門科目」から10単位（必修10単位） 「概論科目」から8単位以上（選択必修8単位以上） 「コース科目」から44単位以上（選択するコースから最低14単位以上） 「コミュニケーション系科目」から4単位以上（必修4単位） 「総合キャリア科目」から4単位以上 「ゼミナール科目」から8単位以上（必修8単位） 〈全学共通科目〉 「共通学芸科目」から10単位以上 「キリスト教・同志社関係科目」から6単位以上（必修4単位、選択必修2単位以上） 「外国語科目」から8単位以上（必修4単位、選択必修4単位以上） 「スポーツ・健康科目」から2単位以上（選択必修2単位以上） 「区分外領域（上記各科目のオーバー単位、他大学単位互換科目単位など）」から20単位以上 （履修科目の登録の上限：49単位（年間）） （注） 1　学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。 2　私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。 3　開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。 4　「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。	１学年の学期区分	２期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（薬学部医療薬学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通学芸科目	哲学A	1前		2		○								兼1	
	哲学B	1後		2		○								兼1	
	西洋の思想A	1前		2		○								兼1	
	西洋の思想B	1後		2		○								兼1	
	日本の思想A	1前		2		○								兼1	
	日本の思想B	1後		2		○								兼1	
	宇宙の科学	1後		2		○								兼1	
	地球の科学	1前		2		○								兼1	
	生命の科学	1前		2		○								兼1	
	自然人類学	1前		2		○								兼1	
	物質の科学	1後		2		○								兼1	
	生活環境の科学	1前		2		○								兼1	
	自然科学史	1前		2		○								兼1	
	科学技術と人間	1前		2		○								兼1	
	心理学A	1前		2		○								兼1	
	心理学B	1後		2		○								兼1	
	人格心理学	1前		2		○								兼1	
	臨床心理学	1後		2		○								兼1	
	薬の発明・発見史Ⅰ	1前		2		○			1						
	薬の発明・発見史Ⅱ	1後		2		○				2					オムニバス
	女性のための医学	1後		2		○			1					兼1	オムニバス
	日本国憲法	1前		2		○								兼1	
	国際社会と法	1前		2		○								兼1	
	法と市民生活	1後		2		○								兼1	
	国際関係論A	1前		2		○								兼1	
	国際関係論B	1後		2		○								兼1	
	国際社会と経済A	1前		2		○								兼1	
	国際社会と経済B	1後		2		○								兼1	
	日本経済のしくみ	1後		2		○								兼1	
	人間と社会A	1前		2		○								兼1	
	人間と社会B	1後		2		○								兼1	
	異文化間コミュニケーション論	1後		2		○								兼1	
	マスコミュニケーション論A	1前		2		○								兼1	
	マスコミュニケーション論B	1前		2		○								兼1	
	情報と社会	1前		2		○								兼1	
	社会保障と福祉	1後		2		○								兼1	
	介護概説	1前		2		○								兼1	
	女性と社会	1後		2		○								兼1	
	日本女性史	1前		2		○								兼1	
	外国文学と女性A	1前		2		○								兼1	
	外国文学と女性B	1後		2		○								兼1	
	日本文学と女性	1後		2		○								兼1	
	ヨーロッパの歴史と文化A	1前		2		○								兼1	
	ヨーロッパの歴史と文化B	1後		2		○								兼1	
	日本の歴史と文化A	1前		2		○								兼1	
	日本の歴史と文化B	1後		2		○								兼1	
	日本文化論	1後		2		○								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通学芸科目	文化交流史	1後		2		○								兼2	オムニバス
	文化人類学	1前		2		○								兼1	
	環境社会論	1後		2		○								兼1	
	アメリカ地域研究A	1前		2		○								兼3	オムニバス
	アメリカ地域研究B	1後		2		○								兼3	オムニバス
	アジア地域研究A	1前		2		○								兼1	
	アジア地域研究B	1後		2		○								兼1	
	日本古典芸能A	1前		2		○								兼1	
	日本古典芸能B	1後		2		○								兼1	
	美術史	1前		2		○								兼1	
	音楽と諸芸術	1前		2		○								兼1	
	音楽と社会	1前		2		○								兼1	
	現代の音楽	1後		2		○								兼1	
	映像文化論	1前		2		○								兼1	
	京都の文化A	1前		2		○								兼1	
	京都の文化B	1前		2		○								兼1	
	京都の文化C	1後		2		○								兼1	
	京都の文化D	1前		2		○								兼1	
	京都の文化に触れるA	2前		2		○								兼1	
	京都の文化に触れるB	2前		2		○								兼1	
	京都の文化に触れるC	2前		2		○								兼1	
	京都の文化に触れるD	2前		2		○								兼1	
	京都の文化に触れるE	2前		2		○								兼7	オムニバス
	京都の歴史A	1前		2		○								兼1	
	京都の歴史B	1後		2		○								兼1	
	教育の原理	2後		2		○								兼1	
	発達と学習の心理学	2前		2		○								兼1	
	教育の制度と経営	2後		2		○								兼2	
	海外事情（アメリカ）	1前		4			○							兼1	
	海外事情（イギリス）	1後		4			○							兼1	
	海外事情（ニュージーランド）	1後		4			○							兼1	
	海外事情（中国）	1後		4			○							兼1	
	海外事情（カナダ）	1前		4			○							兼1	
	Japan Studies A	1後		2		○								兼1	
	Japan Studies B	1後		2		○								兼1	
	Japan Studies C	1後		2		○								兼1	
	Japan Studies D	1後		2		○								兼1	
	大学生活とキャリアデザインⅠ	1後		2		○								兼1	
	大学生活とキャリアデザインⅡ	2前		2		○								兼1	
	大学生活とキャリアデザインⅢ	2後		2		○								兼1	
	キャリアのための自己表現演習	2前		1			○							兼1	
	インターンシップ［大学コンソーシアム京都］	2通		2				○						兼1	
	インターンシップⅠA	2通		1				○						兼1	
	インターンシップⅠB	2通		2				○						兼1	
	小計（91科目）	―	0	190	0	―			2	2	0	0	0	兼67	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
キリスト教・同志社関係科目	聖書A	1前	2			○								兼1	
	聖書B	1後	2			○								兼1	
	キリスト教の歴史A	1前		2		○								兼1	
	キリスト教の歴史B	1前		2		○								兼1	
	キリスト教の歴史C	1後		2		○								兼1	
	キリスト教文化論A	1後		2		○								兼1	
	キリスト教文化論B	1後		2		○								兼1	
	キリスト教文化論C	1前		2		○								兼1	
	キリスト教世界の探求A	1前		2		○								兼1	
	キリスト教世界の探求B	1後		2		○								兼1	
	キリスト教世界の探求C	1後		2		○								兼1	
	近代日本と同志社A	1後		2		○								兼1	
	近代日本と同志社B	1前		2		○								兼3	オムニバス
	近代日本と同志社C	1前		2		○								兼1	
	近代日本と同志社D	1後		2			○							兼1	
	小計（15科目）	－	4	26	0	－			0	0	0	0	0	兼13	
外国語科目	Comprehensive English Ⅰ	1前	1				○							兼4	
	Comprehensive English Ⅱ	1後	1				○							兼4	
	Communication in English Ⅰ	1前	1				○							兼4	
	Communication in English Ⅱ	1後	1				○							兼4	
	Communication in English Ⅲ	2前	1				○							兼2	
	Communication in English Ⅳ	2後	1				○							兼2	
	薬学英語A	3前	1				○			3					オムニバス
	薬学英語B	4前		1			○		1			1			オムニバス
	医療薬学海外事情	6前		1			○		2	1		2			オムニバス
	初級フランス語基礎Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級フランス語基礎Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	初級フランス語演習Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級フランス語演習Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	初級ドイツ語基礎Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級ドイツ語基礎Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	初級ドイツ語演習Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級ドイツ語演習Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	初級中国語基礎	1前		2			○							兼1	
	初級中国語演習	1後		2			○							兼1	
	初級ハングル基礎Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級ハングル基礎Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	初級ハングル演習Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級ハングル演習Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	初級イタリア語基礎Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級イタリア語基礎Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	初級イタリア語演習Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級イタリア語演習Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	初級スペイン語基礎Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級スペイン語基礎Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	初級スペイン語演習Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級スペイン語演習Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	小計（31科目）	－	7	26	0	－			2	3	0	2	0	兼20	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
スポーツ・健康科目	体育実技A	1前		1				○						兼3	
	体育実技B	1後		1				○						兼3	
	からだの科学	1前		2		○								兼1	
	ウェルネス健康論	1前		2		○								兼1	
	食物と健康	1後		2		○								兼1	
	スポーツ文化論	1後		2		○								兼1	
	スポーツ実習A	2前		1				○						兼1	
	スポーツ実習B	2後		1				○						兼1	
	小計（8科目）	－	0	12	0	－			0	0	0	0	0	兼7	
基礎教育科目	基礎数学	1前	1.5			○			1						
	基礎物理化学	1前	1.5			○				1					
	基礎化学	1前	1.5			○				1					
	基礎生物学	1前	1.5			○			1						
	生物統計学	1後	1.5			○			1						
	小計（5科目）	－	7.5	0	0	－			3	2	0	0	0	0	
入門・概論科目	臨床薬学概論	1前	1.5			○			2			1			オムニバス
	医療倫理入門	1前	1.5			○			1					兼1	オムニバス
	臨床医学概論	1後	1.5			○			3					兼1	オムニバス
	看護・介護学概論	1後	1.5			○								兼4	オムニバス
	早期体験学習Ⅰ	1前	1.5				○		7	3		8		兼1	オムニバス
	早期体験学習Ⅱ	1後	1.5				○		5	2		4		兼1	オムニバス
	臨床医学入門	1前		2		○			1						
	小計（7科目）	－	9	2	0	－			10	3	0	9	0	兼7	
応用・各論科目	機能形態学Ⅰ	1前	1.5			○			1						
	生命物理化学Ⅰ	1後	1.5			○			1						
	有機化学Ⅰ	1後	1.5			○				1		1			
	医薬品分析化学Ⅰ	1後	1.5			○			1						
	生化学Ⅰ	1後	1.5			○			1						
	機能形態学Ⅱ	1後	1.5			○			1						
	生命物理化学Ⅱ	2前	1.5			○			1						
	有機化学Ⅱ	2前	1.5			○			1						
	医薬品分析化学Ⅱ	2前	1.5			○			1						
	生化学Ⅱ	2前	1.5			○			1						
	病態生理学	2前	1.5			○			1						
	調剤学Ⅰ	2前	1.5			○			3			1			オムニバス
	薬理学Ⅰ	2前	1.5			○			1						
	生薬学Ⅰ	2前	1.5			○				1					
	環境衛生学	2前	1.5			○			1						
	微生物学	2前	1.5			○			1						
	有機化学Ⅲ	2後	1.5			○			1						
	機器分析学	2後	1.5			○			1						
	分子生物薬学	2後	1.5			○			1						
	基礎病理学	2後	1.5			○			1						
	物理薬剤学	2後	1.5			○			1			1			オムニバス
	薬物動態学Ⅰ	2後	1.5			○				1					
	薬理学Ⅱ	2後	1.5			○			1						
	薬物治療学Ⅰ	2後	1.5			○			1					兼1	オムニバス

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
応用・各論科目	生薬学Ⅱ	2後	1.5			○				1					
	公衆衛生学	2後	1.5			○			1						
	有機化学Ⅳ	3前	1.5			○				1		1			オムニバス
	生体分析化学	3前	1.5			○				1					
	病態生化学Ⅰ	3前	1.5			○			1						
	臨床病理学	3前	1.5			○			1						
	調剤学Ⅱ	3前	1.5			○			1	1					オムニバス
	薬物動態学Ⅱ	3前	1.5			○				1					
	薬理学Ⅲ	3前	1.5			○			1						
	薬物治療学Ⅱ	3前	1.5			○			1					兼1	オムニバス
	衛生化学	3前	1.5			○			1						
	免疫・感染症学	3前	1.5			○			1						
	医薬品無機・放射化学	3後	1.5			○				1					
	医薬品毒性学	3後	1.5			○			1						
	病態生化学Ⅱ	3後	1.5			○			1						
	製剤学	3後	1.5			○			1						
	臨床薬剤学Ⅰ	3後	1.5			○			1	1					オムニバス
	薬理学Ⅳ	3後	1.5			○			1						
	薬物治療学Ⅲ	3後	1.5			○			1					兼1	オムニバス
	天然医薬品化学	3後	1.5			○				1					
	食品衛生化学	3後	1.5			○			1						
	日本薬局方概論	4前	1.5			○			1						
	薬事関連法規・制度	4前	1.5			○			1						
	医療安全性学	4前	1.5			○			1						
	臨床病態生化学	4前	1.5			○			1						
	処方解析学	4前	1.5			○			2	1		1		兼4	オムニバス
	臨床薬剤学Ⅱ	4前	1.5			○			2						オムニバス
	実務実習事前学習Ⅰ	4前	3			○			7	3		3		兼2	オムニバス
	医薬品情報学	4後	1.5			○				1					
	薬局管理学	4後	1.5			○								兼1	
	薬業経済学	4後	1.5			○			1					兼2	オムニバス
	チーム医療実践演習	4前	1.5			○			2	1		1		兼4	オムニバス
	処方提案論	4後	1.5			○			2	1		1		兼4	オムニバス
	実務実習事前学習Ⅱ	4後	3			○			5	2		2			オムニバス
	薬理学特論	6前		1		○			3			4			オムニバス
	臨床薬理学特論	6前		1		○			1					兼2	オムニバス
	創薬化学特論	6前		1		○			1	1		1		兼1	オムニバス
	ゲノム創薬特論	6前		1		○			1	1		1			オムニバス
	実践薬剤学特論	6前		1		○			1	2					オムニバス
	感染対策特論	6前		1		○			1	1					オムニバス
	免疫・感染症学特論	6前		1		○			1			4			オムニバス
	東洋医学特論	6前		1		○				2					オムニバス
	薬剤管理指導特論	6前		1		○			2					兼1	オムニバス
	臨床栄養学特論	6前		1		○			1						
	個別化医療特論	6前		1		○			3						オムニバス
	セルフメディケーション・在宅医療特論	6前		1		○			2						オムニバス
	薬学特別演習A	6前		4			○		17	7				兼1	オムニバス
	薬学特別演習B	6後		4			○		17	7		3			オムニバス
	健康科学概論	3前		2					1						
	インターンシップⅡ	3通		2				○	1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
応用・各論科目	医薬品分析化学実習	2前	1					○	1	1				
	生化学実習	2前	1					○	1			2		
	有機化学実習	2前	1					○	1	1		1		
	生命物理化学実習	2後	1					○	1	1				
	生薬学実習	2後	1					○		1				
	微生物学実習	2後	1					○	1			1		
	薬剤学実習	3前	1					○	1	1		3		
	薬理学実習	3前	1					○	3			4		
	衛生薬学実習	3前	1					○	1			1		
	薬物治療学実習	4前	1					○	1					兼1
	模擬病院・薬局実習	4後	3					○	5	3		3		兼1
	病院実務実習	5通	10					○	16	7		14		兼1
	薬局実務実習	5通	10					○	16	7		14		兼1
	小計（87科目）	－	123	24	0	－			17	7	0	14	0	兼9
卒業研究	薬学基礎研究	3後	2				○		15	7				兼1
	薬学研究Ⅰ	4通	4				○		16	7				兼1
	薬学研究Ⅱ	5通	4				○		16	7				兼1
	薬学研究Ⅲ	6前	4				○		16	7				兼1
	小計（4科目）	－	14	0	0	－			16	7	0	0	0	兼1
合計（248 科目）		－	164.5	280	0	－			17	7	0	14	0	兼119

学位又は称号	学士（薬学）	学位又は学科の分野	薬学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【卒業要件】 必修科目164.5単位、選択科目20単位、選択科目の最低履修単位数を超える修得単位数２単位以上、計186.5単位以上修得すること 【履修方法】 〈学科科目〉 「基礎教育科目」から7.5単位（必修7.5単位） 「入門・概論科目」から9単位以上（必修9単位） 「応用・各論科目」から133単位以上（必修123単位、選択必修10単位以上） 「卒業研究」から14単位（必修14単位） 〈全学共通科目〉 「共通学芸科目」から6単位以上 「キリスト教・同志社関係科目」から6単位以上（必修4単位、選択必修2単位以上） 「外国語科目」から7単位以上（必修7単位） 「スポーツ・健康科目」から2単位以上（選択必修2単位） 「区分外領域（上記各科目区分のオーバー単位、他大学単位互換科目単位など）」から2単位以上 （履修科目の登録の上限：30単位（各学期））	１学年の学期区分	２期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

（注）
1　学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
2　私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。
3　開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。
4　「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（看護学部看護学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通学芸科目	哲学A	1前		2		○								兼1	
	哲学B	1後		2		○								兼1	
	西洋の思想A	1前		2		○								兼1	
	西洋の思想B	1後		2		○								兼1	
	日本の思想A	1前		2		○								兼1	
	日本の思想B	1後		2		○								兼1	
	宇宙の科学	1後		2		○								兼1	
	地球の科学	1前		2		○								兼1	
	生命の科学	1前		2		○								兼1	
	自然人類学	1前		2		○								兼1	
	物質の科学	1後		2		○								兼1	
	生活環境の科学	1前		2		○								兼1	
	自然科学史	1前		2		○								兼1	
	科学技術と人間	1前		2		○								兼1	
	心理学A	1前		2		○								兼1	
	心理学B	1後		2		○								兼1	
	人格心理学	1前		2		○								兼1	
	臨床心理学	1後		2		○								兼1	
	薬の発明・発見史Ⅰ	1前		2		○								兼1	
	薬の発明・発見史Ⅱ	1後		2		○								兼2	オムニバス
	女性のための医学	1後		2		○								兼2	オムニバス
	日本国憲法	1前		2		○								兼1	
	国際社会と法	1前		2		○								兼1	
	法と市民生活	1後		2		○								兼1	
	国際関係論A	1前		2		○								兼1	
	国際関係論B	1後		2		○								兼1	
	国際社会と経済A	1前		2		○								兼1	
	国際社会と経済B	1後		2		○								兼1	
	日本経済のしくみ	1後		2		○								兼1	
	人間と社会A	1前		2		○								兼1	
	人間と社会B	1後		2		○								兼1	
	異文化間コミュニケーション論	1後		2		○								兼1	
	マスコミュニケーション論A	1前		2		○								兼1	
	マスコミュニケーション論B	1前		2		○								兼1	
	情報と社会	1前		2		○								兼1	
	社会保障と福祉	1後		2		○								兼1	
	介護概説	1前		2		○								兼1	
	女性と社会	1後		2		○								兼1	
	日本女性史	1前		2		○								兼1	
	外国文学と女性A	1前		2		○								兼1	
	外国文学と女性B	1後		2		○								兼1	
	日本文学と女性	1後		2		○								兼1	
	ヨーロッパの歴史と文化A	1前		2		○								兼1	
	ヨーロッパの歴史と文化B	1後		2		○								兼1	
	日本の歴史と文化A	1前		2		○								兼1	
	日本の歴史と文化B	1後		2		○								兼1	
	日本文化論	1後		2		○								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通学芸科目	文化交流史	1後		2		○								兼2	オムニバス
	文化人類学	1前		2		○								兼1	
	環境社会論	1後		2		○								兼1	
	アメリカ地域研究A	1前		2		○								兼3	オムニバス
	アメリカ地域研究B	1後		2		○								兼3	オムニバス
	アジア地域研究A	1前		2		○								兼1	
	アジア地域研究B	1後		2		○								兼1	
	日本古典芸能A	1前		2		○								兼1	
	日本古典芸能B	1後		2		○								兼1	
	美術史	1前		2		○								兼1	
	音楽と諸芸術	1前		2		○								兼1	
	音楽と社会	1前		2		○								兼1	
	現代の音楽	1後		2		○								兼1	
	映像文化論	1前		2		○								兼1	
	京都の文化A	1前		2		○								兼1	
	京都の文化B	1前		2		○								兼1	
	京都の文化C	1後		2		○								兼1	
	京都の文化D	1前		2		○								兼1	
	京都の文化に触れるA	2前		2		○								兼1	
	京都の文化に触れるB	2前		2		○								兼1	
	京都の文化に触れるC	2前		2		○								兼1	
	京都の文化に触れるD	2前		2		○								兼1	
	京都の文化に触れるE	2前		2		○								兼7	オムニバス
	京都の歴史A	1前		2		○								兼1	
	京都の歴史B	1後		2		○								兼1	
	教育の原理	2前		2		○								兼1	
	発達と学習の心理学	2前		2		○								兼1	
	教育の制度と経営	2後		2		○								兼1	
	海外事情（アメリカ）	1前		4			○							兼1	
	海外事情（イギリス）	1後		4			○							兼1	
	海外事情（ニュージーランド）	1後		4			○							兼1	
	海外事情（中国）	1後		4			○							兼1	
	海外事情（カナダ）	1前		4			○							兼1	
	Japan Studies A	1後		2		○								兼1	
	Japan Studies B	1後		2		○								兼1	
	Japan Studies C	1後		2		○								兼1	
	Japan Studies D	1後		2		○								兼1	
	大学生活とキャリアデザインⅠ	1後		2		○								兼1	
	大学生活とキャリアデザインⅡ	2前		2		○								兼1	
	大学生活とキャリアデザインⅢ	2後		2		○								兼1	
	キャリアのための自己表現演習	2前		1			○							兼1	
	インターンシップ［大学コンソーシアム京都］	2通		2				○						兼1	
	インターンシップⅠA	2通		1				○						兼1	
	インターンシップⅠB	2通		2				○						兼1	
	小計（91科目）	－		190	0	－			0	0	0	0	0	兼71	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
キリスト教・同志社関係科目	聖書A	1前	2			○								兼1	
	聖書B	1後	2			○								兼1	
	キリスト教の歴史A	1前		2		○								兼1	
	キリスト教の歴史B	1前		2		○								兼1	
	キリスト教の歴史C	1後		2		○								兼1	
	キリスト教文化論A	1後		2		○								兼1	
	キリスト教文化論B	1後		2		○								兼1	
	キリスト教文化論C	1前		2		○								兼1	
	キリスト教世界の探求A	1前		2		○								兼1	
	キリスト教世界の探求B	1後		2		○								兼1	
	キリスト教世界の探求C	1後		2		○								兼1	
	近代日本と同志社A	1後		2		○								兼1	
	近代日本と同志社B	1前		2		○			1					兼2	オムニバス
	近代日本と同志社C	1前		2		○								兼1	
	近代日本と同志社D	1後		2			○							兼1	
	小計（15科目）	－	4	26	0	－			1	0	0	0	0	兼11	
外国語科目	Comprehensive English Ⅰ	1前	1				○							兼2	
	Comprehensive English Ⅱ	1後	1				○							兼2	
	Communication in English Ⅰ	1前	1				○							兼2	
	Communication in English Ⅱ	1後	1				○							兼2	
	Communication in English Ⅲ	2前	1				○							兼1	
	Communication in English Ⅳ	2後	1				○							兼1	
	初級フランス語基礎Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級フランス語基礎Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	初級フランス語演習Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級フランス語演習Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	初級ドイツ語基礎Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級ドイツ語基礎Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	初級ドイツ語演習Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級ドイツ語演習Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	初級中国語基礎	1前		2			○							兼1	
	初級中国語演習	1後		2			○							兼1	
	初級ハングル基礎Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級ハングル基礎Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	初級ハングル演習Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級ハングル演習Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	初級イタリア語基礎Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級イタリア語基礎Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	初級イタリア語演習Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級イタリア語演習Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	初級スペイン語基礎Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級スペイン語基礎Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	初級スペイン語演習Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級スペイン語演習Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	小計（28科目）	－	6	24	0	－			0	0	0	0	0	兼13	
スポーツ・健康科目	体育実技A	1前		1				○						兼2	
	体育実技B	1後		1				○						兼2	
	からだの科学	1前		2		○								兼1	
	ウェルネス健康論	1前		2		○								兼1	
	食物と健康	1後		2		○								兼1	
	スポーツ文化論	1後		2		○								兼1	
	スポーツ実習A	2前		1				○						兼1	
	スポーツ実習B	2後		1				○						兼1	
	小計（8科目）	－	0	12	0	－			0	0	0	0	0	兼7	

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	人体の構造と機能科目	体のしくみ	1前	2			○			1						
		基盤病理学	1後	2			○								兼1	
		微生物学・免疫学	1後	2			○								兼1	
		基礎栄養学	1後	2			○								兼1	
		基礎薬理学	1後	2			○			1						
		外科疾病・治療学	2前	2			○								兼1	
		内科疾病・治療学	2前	2			○			1						
		こころのしくみと保健医療	2前	2			○				1				兼1	オムニバス
		成育医療学	2後	2			○								兼3	オムニバス
		健康心理学	2前		2		○			1						
		小計（10科目）	－	18	2	0	－			3	1	0	0	0	兼8	
	健康支援と社会保障科目	疫学	2後	2			○			1	1					オムニバス
		公衆衛生学	2後	2			○								兼1	
		看護と法律	2後	2			○								兼1	
		家族関係論	3前		2		○				3					オムニバス
		保健医療システム論	3前		2		○								兼3	オムニバス
		保健医療統計	2前		2		○			2					兼1	オムニバス
		小計（6科目）	－	6	6	0	－			3	4	0	0	0	兼6	
専門科目	看護基盤科目	看護学概論	1前	2			○			1	1					オムニバス
		看護理論	1前	1				○			1					
		ヘルスアセスメント	1前	1				○			1					
		フィジカルアセスメント	1後	1				○			1					
		生活援助技術	1後	2				○			1	1	1			
		診療補助技術	2前	2				○			1	1	1			
		看護過程論	2前	1				○			1	1	1			
		看護コミュニケーション論	1後	1				○			2					オムニバス
		睡眠改善学	2前	2			○			2	1	1			兼2	
		基礎看護学実習Ⅰ	1前	1					○		1	1	2	3		
		基礎看護学実習Ⅱ	2前	2					○		2	1	2	3		
		小計（11科目）	－	16	0	0	－			3	3	2	2	3	兼2	
専門科目	看護展開科目	成人看護学概論	2前	2			○			1	1					オムニバス
		成人急性期看護援助論	2後	1				○		1		1				オムニバス
		成人リハビリテーション期看護援助論	3前	1				○		1		1				オムニバス
		成人慢性期看護援助論A	2後	1				○			1	1				オムニバス
		成人慢性期看護援助論B	3前	1				○			1	1				オムニバス
		がん看護援助論	3前	1				○			1	1				オムニバス
		成人急性期看護学実習	3後	3					○	1		1		1		
		成人慢性期看護学実習	3後	3					○		1	1				
		精神看護学概論	2前	2			○				1					
		精神看護援助論A	2後	1				○			1					
		精神看護援助論B	3前	1				○			1					
		精神看護学実習	3後	2					○		1			1		
		母子保健看護概論	2後	2			○			2	1					オムニバス
		小児看護援助論A	3前	1				○			1					
		小児看護援助論B	3前	1				○			1					
		小児看護学実習	3後	2					○		1					
		ウイメンズヘルス援助論A	3前	1				○				1				
		ウイメンズヘルス援助論B	3前	1				○			1	1				オムニバス
		ウイメンズヘルス実習	3後	2					○	1	1	1		1		
		高齢者看護学概論	2前	2			○			2						オムニバス
		高齢者看護援助論A	2後	1				○		1						
		高齢者看護援助論B	3前	1				○				1				
		高齢者看護学実習	3後	3					○	2	1	1	1			

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	看護展開科目	在宅看護援助論A	3前	1				○		1						
		在宅看護援助論B	3前	1				○			1					
		在宅看護学実習	3後	2					○	2	3	1	1			
		公衆衛生看護学概論	2後	2			○			1						
		健康教育論	2後	1				○			1					
		国際保健	2後	1				○		1	1					
		国際看護活動論	4前	1				○		1	1					
		小計（30科目）	－	45	0	0	－			6	7	4	2	3	0	
専門科目	看護探求科目	卒業研究Ⅰ	3前	1				○		1	2					オムニバス
		卒業研究Ⅱ	4前	2				○		5	9	5				
		卒業研究Ⅲ	4後	2				○		5	9	5				
		看護実践総合演習Ⅰ	1通	1				○		1	2	1	1	1		
		看護実践総合演習Ⅱ	2通	1				○			3	1		1		
		看護実践総合演習Ⅲ	3通	1				○		3	3	1	1			
		看護実践総合演習Ⅳ	4通	1				○		1	1	2		1		
		看護実践総合実習（アドバンス）	4前	3					○	5	9	5	2	3		
		看護倫理	3前	1			○			1	3	1				オムニバス
		看護マネジメント	4前	1			○								兼1	
		学校保健	3前		2		○								兼1	
		近代看護教育の歴史	4後		1		○			1						
		看護キャリアデザイン論	4後		1		○								兼1	
		災害看護論	4前		1		○								兼1	
		セルフケア支援論	4前		1		○				1					
		終末期看護論	4前		1		○					1				
		補完代替医療	4前		1		○								兼1	
		臨床遺伝学と看護	4後		1		○								兼1	
		セーフティプロモーション論	4後		1		○			2					兼1	オムニバス
		小計（19科目）	－	14	10	0	－			6	9	5	2	3	兼8	
公衆衛生看護学関連科目		地域保健活動システム論	4前		1		○			1						
		家族相談援助論	4前		1		○				1					
		公衆衛生看護活動論Ⅰ	4前		1		○				1					
		公衆衛生看護活動論Ⅱ	4前		1		○				1					
		公衆衛生看護方法論Ⅰ	4前		1		○			1						
		公衆衛生看護方法論Ⅱ	4前		1		○				1					
		公衆衛生看護管理	4後		1		○			1						
		公衆衛生看護展開論演習	4前		1			○		1	2					
		公衆衛生看護学実習Ⅰ	4前		2				○	1	2					
		公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後		3				○	1	2					
		小計（10科目）	－	0	13	0	－			1	2	0	0	0	0	
養護教諭関連科目		養護概説	3前		2		○								兼1	
		教育実践演習（養護教諭）	4前		2			○			1				兼1	
		養護実習	4前		5				○	1	1					
		小計（３科目）	－	0	9	0	－			1	1	0	0	0	兼2	
合計（231科目）			－	109	292	0	－			9	9	5	2	3	兼120	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
学位又は称号	学士（看護学）		学位又は学科の分野			保健衛生学関係（看護学関係）								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【卒業要件】 本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、必修109単位を含む128単位以上を取得すること。 【履修方法】 （学科科目） 「専門基礎科目」から26単位以上（必修24単位、選択必修2単位以上） 「専門科目」から78単位（必修75単位、選択必修3単位以上） （全学共通科目） 「共通学芸科目」から8単位以上（選択必修8単位以上） 「キリスト教・同志社関係科目」から6単位以上（必修4単位、選択必修2単位以上） 「外国語科目」から6単位以上（必修6単位） 「スポーツ・健康科目」かた2単位以上（選択必修2単位以上） 「区分外領域（上記各科目区分のオーバー単位、他大学単位互換科目単位など）」から2単位以上（選択必修2単位以上） 保健師国家試験受験資格取得のためには、「公衆衛生看護学関連科目」の全科目と、「専門基礎科目」「専門科目」の指定された科目を修得し、卒業要件単位と合わせて140単位以上を取得すること。 養護教諭一種免許状取得のためには、「養護教諭関連科目」の全科目と、「専門基礎科目」「専門科目」の指定された科目、学則に定める「教職に関する科目」を修得し、卒業要件単位と合わせて145単位以上を取得すること。 （履修科目の登録の上限：1年次 49単位（年間） 2～4年次 28単位（各学期））	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

（注）

1　学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。

2　私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。

3　開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。

4　「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（表象文化学部英語英文学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通学芸科目	哲学A	1前		2		○								兼1	
	哲学B	1後		2		○								兼1	
	西洋の思想A	1前		2		○								兼1	
	西洋の思想B	1後		2		○								兼1	
	日本の思想A	1後		2		○								兼1	
	日本の思想B	1後		2		○								兼1	
	宇宙の科学	1後		2		○								兼1	
	地球の科学	1前		2		○								兼1	
	生命の科学	1前		2		○								兼1	
	自然人類学	1後		2		○								兼1	
	物質の科学	1前		2		○								兼1	
	生活環境の科学	1前		2		○								兼1	
	自然科学史	1前		2		○								兼1	
	科学技術と人間	1後		2		○								兼1	
	心理学A	1前		2		○								兼1	
	心理学B	1後		2		○								兼1	
	人格心理学	1前		2		○								兼1	
	臨床心理学	1後		2		○								兼1	
	薬の発明・発見史Ⅰ	1前		2		○								兼1	
	薬の発明・発見史Ⅱ	1後		2		○								兼2	オムニバス
	女性のための医学	1前		2		○								兼2	オムニバス
	日本国憲法	1前		2		○								兼1	
	国際社会と法	1前		2		○								兼1	
	法と市民生活	1後		2		○								兼1	
	国際関係論A	1前		2		○								兼1	
	国際関係論B	1後		2		○								兼1	
	国際社会と経済A	1前		2		○								兼1	
	国際社会と経済B	1後		2		○								兼1	
	日本経済のしくみ	1後		2		○								兼1	
	人間と社会A	1前		2		○								兼1	
	人間と社会B	1後		2		○								兼1	
	異文化間コミュニケーション論	1前		2		○								兼1	
	マスコミュニケーション論A	1前		2		○								兼1	
	マスコミュニケーション論B	1前		2		○								兼1	
	情報と社会	1後		2		○								兼1	
	社会保障と福祉	1前		2		○								兼1	
	介護概説	1後		2		○								兼1	
	女性と社会	1前		2		○								兼1	
	日本女性史	1後		2		○								兼1	
	外国文学と女性A	1前		2		○								兼1	
	外国文学と女性B	1後		2		○						1			
	日本文学と女性	1前		2		○								兼1	
	ヨーロッパの歴史と文化A	1前		2		○								兼1	
	ヨーロッパの歴史と文化B	1後		2		○								兼1	
	日本の歴史と文化A	1前		2		○								兼1	
	日本の歴史と文化B	1後		2		○								兼1	
	日本文化論	1前		2		○								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通学芸科目	文化交流史	1後		2		○								兼2	オムニバス
	文化人類学	1前		2		○								兼1	
	環境社会論	1後		2		○								兼1	
	アメリカ地域研究A	1前		2		○								兼3	オムニバス
	アメリカ地域研究B	1後		2		○								兼3	オムニバス
	アジア地域研究A	1前		2		○								兼1	
	アジア地域研究B	1後		2		○								兼1	
	日本古典芸能A	1前		2		○								兼1	
	日本古典芸能B	1後		2		○								兼1	
	美術史	1後		2		○								兼1	
	音楽と諸芸術	1後		2		○								兼1	
	音楽と社会	1前		2		○								兼1	
	現代の音楽	1後		2		○								兼1	
	映像文化論	1後		2		○								兼1	
	京都の文化A	1後		2		○								兼1	
	京都の文化B	1前		2		○								兼1	
	京都の文化C	1後		2		○								兼1	
	京都の文化D	1前		2		○								兼1	
	京都の文化に触れるA	2前		2		○								兼1	
	京都の文化に触れるB	2前		2		○								兼1	
	京都の文化に触れるC	2前		2		○								兼1	
	京都の文化に触れるD	2前		2		○								兼1	
	京都の文化に触れるE	2前		2		○								兼7	オムニバス
	京都の歴史A	1前		2		○								兼1	
	京都の歴史B	1後		2		○								兼1	
	教育の原理	2前		2		○								兼1	
	発達と学習の心理学	2後		2		○								兼1	
	教育の制度と経営	2前		2		○								兼1	
	海外事情（アメリカ）	1前		4			○							兼1	
	海外事情（イギリス）	1後		4			○							兼1	
	海外事情（ニュージーランド）	1後		4			○							兼1	
	海外事情（中国）	1後		4			○							兼1	
	海外事情（カナダ）	1前		4			○							兼1	
	Japan Studies A	1後		2		○								兼1	
	Japan Studies B	1後		2		○								兼1	
	Japan Studies C	1後		2		○								兼1	
	Japan Studies D	1後		2		○								兼1	
	大学生活とキャリアデザインⅠ	1後		2		○								兼1	
	大学生活とキャリアデザインⅡ	2前		2		○								兼1	
	大学生活とキャリアデザインⅢ	2後		2		○								兼1	
	キャリアのための自己表現演習	2前		1			○							兼1	
	インターンシップ［大学コンソーシアム京都］	2通		2				○						兼1	
	インターンシップⅠA	2通		1				○						兼1	
	インターンシップⅠB	2通		2				○						兼1	
	小計（91科目）	―	0	190	0	―			0	0	0	1	0	兼72	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
キリスト教・同志社関係科目	聖書A	1前	2			○								兼1
	聖書B	1後	2			○								兼1
	キリスト教の歴史A	1後		2		○								兼1
	キリスト教の歴史B	1前		2		○								兼1
	キリスト教の歴史C	1後		2		○								兼1
	キリスト教文化論A	1前		2		○								兼1
	キリスト教文化論B	1後		2		○								兼1
	キリスト教文化論C	1前		2		○								兼1
	キリスト教世界の探求A	1前		2		○								兼1
	キリスト教世界の探求B	1前		2		○								兼1
	キリスト教世界の探求C	1後		2		○								兼1
	近代日本と同志社A	1後		2		○								兼1
	近代日本と同志社B	1前		2		○								兼1
	近代日本と同志社C	1後		2		○								兼1
	近代日本と同志社D	1後		2			○			1				
	小計（15科目）	－	4	26	0	－			0	1	0	0	0	兼11
外国語科目	初級フランス語基礎Ⅰ	1前		1			○							兼1
	初級フランス語基礎Ⅱ	1後		1			○							兼1
	初級フランス語演習Ⅰ	1前		1			○							兼2
	初級フランス語演習Ⅱ	1後		1			○							兼2
	中級フランス語Ⅰ	2前		1			○							兼1
	中級フランス語Ⅱ	2後		1			○							兼1
	上級フランス語Ⅰ	3前		1			○							兼1
	上級フランス語Ⅱ	3後		1			○							兼1
	初級ドイツ語基礎Ⅰ	1前		1			○							兼1
	初級ドイツ語基礎Ⅱ	1後		1			○							兼1
	初級ドイツ語演習Ⅰ	1前		1			○							兼1
	初級ドイツ語演習Ⅱ	1後		1			○							兼1
	中級ドイツ語Ⅰ	2前		1			○							兼1
	中級ドイツ語Ⅱ	2後		1			○							兼1
	上級ドイツ語Ⅰ	3前		1			○							兼1
	上級ドイツ語Ⅱ	3後		1			○							兼1
	初級中国語基礎	1前		2			○							兼1
	初級中国語演習	1後		2			○							兼1
	中級中国語Ⅰ	2前		1			○							兼1
	中級中国語Ⅱ	2後		1			○							兼1
	上級中国語Ⅰ	3前		1			○							兼1
	上級中国語Ⅱ	3後		1			○							兼1
	初級ハングル基礎Ⅰ	1前		1			○							兼1
	初級ハングル基礎Ⅱ	1後		1			○							兼1
	初級ハングル演習Ⅰ	1前		1			○							兼1
	初級ハングル演習Ⅱ	1後		1			○							兼1
	中級ハングルⅠ	2前		1			○							兼1
	中級ハングルⅡ	2後		1			○							兼1
	初級イタリア語基礎Ⅰ	1前		1			○							兼1
	初級イタリア語基礎Ⅱ	1後		1			○							兼1
	初級イタリア語演習Ⅰ	1前		1			○							兼1
	初級イタリア語演習Ⅱ	1後		1			○							兼1
	中級イタリア語Ⅰ	2前		1			○							兼1
	中級イタリア語Ⅱ	2後		1			○							兼1
	初級スペイン語基礎Ⅰ	1前		1			○							兼1
	初級スペイン語基礎Ⅱ	1後		1			○							兼1
	初級スペイン語演習Ⅰ	1前		1			○							兼1
	初級スペイン語演習Ⅱ	1後		1			○							兼1
	中級スペイン語Ⅰ	2前		1			○							兼1
	中級スペイン語Ⅱ	2後		1			○							兼1
	小計（40科目）	－	0	42	0	－			0	0	0	0	0	兼20

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
スポーツ・健康科目	体育実技A	1前		1				○						兼3	
	体育実技B	1後		1				○						兼3	
	からだの科学	1後		2		○								兼1	
	ウェルネス健康論	1後		2		○								兼1	
	食物と健康	1前		2		○								兼1	
	スポーツ文化論	1前		2		○								兼1	
	スポーツ実習A	2前		1				○						兼1	
	スポーツ実習B	2後		1				○						兼1	
	小計（8科目）	－	0	12	0	－			0	0	0	0	0	兼7	
学部共通科目	文学と表象A	1前		2		○			1			1		兼1	オムニバス
	文学と表象B	1後		2		○			2					兼1	オムニバス
	文化と表象A	1前		2		○								兼1	
	文化と表象B	1後		2		○								兼1	
	舞台芸術文化論	1後		2		○								兼1	
	メディアと表象文化	1前		2		○								兼1	
	小計（6科目）	－	0	12	0	－			3	0	0	1	0	兼6	
基礎教育科目	Writing Skills Ⅰ	1前	2				○		5	2		1			
	Writing Skills Ⅱ	1後	2				○		5	2		1			
	Reading Ⅰ	1前	2				○		1					兼3	
	Reading Ⅱ	1後	2				○		1					兼3	
	Speaking Ⅰ	1前		1			○							兼10	
	Speaking Ⅱ	1後		1			○							兼10	
	Intermediate Speaking Ⅰ	1前		1			○			1					
	Intermediate Speaking Ⅱ	1後		1			○			1					
	Advanced Speaking Ⅰ	1前		1			○			1					
	Advanced Speaking Ⅱ	1後		1			○			1					
	Public Speaking Ⅰ	2前		1			○							兼7	
	Public Speaking Ⅱ	2後		1			○							兼7	
	Public Speaking Ⅰ (AESA)	2前		1			○			1					
	Public Speaking Ⅱ (AESA)	2後		1			○			1					
	Public Speaking Ⅰ (AESB)	2前		1			○							兼1	
	Public Speaking Ⅱ (AESB)	2後		1			○							兼1	
	Active Listening Ⅰ	1前		1			○			1				兼2	
	Active Listening Ⅱ	1後		1			○			1				兼2	
	Intermediate Active Listening Ⅰ	1前		1			○			1					
	Intermediate Active Listening Ⅱ	1後		1			○			1					
	Advanced Active Listening Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	Advanced Active Listening Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	Active Listening Ⅲ	2前		1			○			1				兼2	
	Active Listening Ⅳ	2後		1			○			1				兼2	
	Active Listening Ⅲ (AESA)	2前		1			○							兼1	
	Active Listening Ⅳ (AESA)	2後		1			○							兼1	
	Active Listening Ⅲ (AESB)	2前		1			○			1					
	Active Listening Ⅳ (AESB)	2後		1			○			1					
	英語情報処理演習Ⅰ	1前		2			○		1					兼3	
	英語情報処理演習Ⅱ	1前		2			○							兼1	
	ReadingⅢ	2前		2			○		1					兼2	
	ReadingⅣ	2後		2			○		1					兼2	
	ReadingⅢ(AESA)	2前		2			○		1						
	ReadingⅣ(AESA)	2後		2			○		1						
	ReadingⅢ(AESB)	2前		2			○							兼1	
	ReadingⅣ(AESB)	2後		2			○							兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎教育科目	Writing Strategies Ⅰ	2前		2			○			1				兼3	
	Writing Strategies Ⅱ	2後		2			○			1				兼3	
	Writing Strategies Ⅰ (AESA)	2前		2			○			1					
	Writing Strategies Ⅱ (AESA)	2後		2			○			1					
	Writing Strategies Ⅰ (AESB)	2前		2			○			1					
	Writing Strategies Ⅱ (AESB)	2後		2			○			1					
	Academic Skills Ⅰ	3前		2			○			1				兼5	
	Academic Skills Ⅱ	3後		2			○			1				兼5	
	Academic Skills Ⅰ(AESA)	3前		2			○			1					
	Academic Skills Ⅱ(AESA)	3後		2			○			1					
	Academic Skills Ⅰ(AESB)	3前		2			○			1					
	Academic Skills Ⅱ(AESB)	3後		2			○			1					
	CALL English Ⅰ	3前		2			○		1					兼2	
	CALL English Ⅱ	3後		2			○		1					兼2	
	CALL English Ⅰ (AES)	3前		2			○			1					
	CALL English Ⅱ (AES)	3後		2			○			1					
	小計（52科目）	－	8	72	0	－			7	5	0	Ⅰ	0	兼28	
入門・概論科目	イギリス文化入門	1後	2			○			1						※演習
	アメリカ文化入門	1前	2			○			1						※演習
	アメリカ文学史	1後	2			○			1						
	イギリス文学史	1前	2			○				1					
	言語コミュニケーション入門Ⅰ	1前	2			○								兼1	※演習
	言語コミュニケーション入門Ⅱ	1後	2			○								兼1	※演習
	英語音声学Ⅰ	1前		2		○								兼1	
	英語音声学Ⅱ	1後		2		○								兼1	
	イギリス文化研究	2前		2		○								兼1	
	アメリカ文化研究	2後		2		○								兼1	
	英語学概論Ⅰ	2前		2		○								兼1	
	英語学概論Ⅱ	2後		2		○								兼1	
	外国語教育論Ⅰ	2前		2		○			1						
	外国語教育論Ⅱ	2後		2		○			1						
	小計（14科目）	－	12	16	0	－			3	1	0	0	0	兼5	
応用・各論科目	Career Introduction Ⅰ	1後	2			○			1					兼2	オムニバス
	翻訳法Ⅰ	1前		2			○							兼1	
	翻訳法Ⅱ	1後		2			○							兼1	
	Pronunciation Skills Ⅰ	2前		2			○							兼1	
	Pronunciation Skills Ⅱ	2後		2			○							兼1	
	Presentation Skills Ⅰ	2前		2			○							兼1	
	Presentation Skills Ⅱ	2後		2			○							兼1	
	Career Introduction Ⅱ	2後		2			○							兼1	
	通訳法Ⅰ	2前		2			○							兼1	
	通訳法Ⅱ	2後		2			○							兼1	
	翻訳法Ⅲ	2前		2			○							兼1	
	翻訳法Ⅳ	2後		2			○							兼1	
	ビジネスイングリッシュⅠ	3前		2			○							兼1	
	ビジネスイングリッシュⅡ	3後		2			○							兼1	
	エアラインイングリッシュ	3前		2			○							兼1	
	セクレタリーイングリッシュ	3後		2			○							兼1	
	児童英語教育法Ⅰ	3前		2		○								兼1	
	児童英語教育法Ⅱ	3後		2		○								兼1	
	インターンシップⅡ	3通		2				○	1						
	Advanced Presentation Ⅰ	3前		2			○							兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
応用・各論科目	Advanced Presentation Ⅱ	3後		2			○							兼1	
	Advanced Pronunciation Ⅰ	3前		2			○			1					
	Advanced Pronunciation Ⅱ	3後		2			○			1					
	プロフェッショナル通訳法	3後		2			○							兼1	
	プロフェッショナル翻訳法	3前		2			○							兼1	
	Topics in English A	1前		2		○								兼1	
	Topics in English B	1前		2		○								兼1	
	Topics in English C	1後		2		○			1						
	Topics in English D	1前		2		○				1					
	Topics in English E	1後		2		○								兼1	
	Topics in English F	1後		2		○								兼1	
	Topics in English G	1後		2		○								兼1	
	Studies in English A	2前		2		○								兼1	
	Studies in English B	2後		2		○								兼1	
	Studies in English C	2前		2		○								兼1	
	Studies in English D	2後		2		○								兼1	
	Studies in English E	2前		2		○								兼1	
	Studies in English F	2後		2		○								兼1	
	Studies in English G	2前		2		○								兼1	
	Studies in English H	2後		2		○								兼1	
	Studies in English I	2前		2		○			1						
	Studies in English J	2後		2		○				1					
	Studies in English K	2前		2		○								兼1	
	Studies in English L(AES)	2前		2		○			2						
	Studies in English M(AES)	2後		2		○				1					
	イギリスの表象文化	2後		2		○			1						
	アメリカの表象文化	2前		2		○								兼1	
	アメリカの社会と文化	2前		2		○								兼1	
	イギリスの社会と文化	2後		2		○								兼1	
	ファンタジーの系譜Ⅰ	2前		2		○			1						
	ファンタジーの系譜Ⅱ	2後		2		○			1						
	コーパス言語学	2前		2		○								兼1	
	教育メディア学	2後		2		○								兼1	
	ラテン語Ⅰ	2前		2			○							兼1	
	ラテン語Ⅱ	2後		2			○							兼1	
	ジェンダーとコミュニケーション	2前		2		○								兼1	
	プラクティカルコミュニケーション	2後		2		○								兼1	
	Advanced Studies in English A	3前		2		○								兼1	
	Advanced Studies in English B	3後		2		○								兼1	
	Advanced Studies in English C	3前		2		○								兼1	
	Advanced Studies in English D	3後		2		○								兼1	
	Advanced Studies in English E	3前		2		○			1						
	Advanced Studies in English F	3後		2		○								兼1	
	Advanced Studies in English G	3後		2		○								兼1	
	Advanced Studies in English H	3前		2		○				1					
	Advanced Studies in English I	3前		2		○								兼1	
	Advanced Studies in English J	3後		2		○								兼1	
	Advanced Studies in English K	3後		2		○								兼1	
	Advanced Studies in English L	3後		2		○				1					
	Shakespeare Production Ⅰ	3前		2			○			1					
	Shakespeare Production Ⅱ	3後		2			○			1					
	イギリス文化・文学研究A	3前		2		○								兼1	
	イギリス文化・文学研究B	3後		2		○								兼1	
	アメリカ文化・文学研究A	3前		2		○								兼1	※演習

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
応用・各論科目	アメリカ文化・文学研究B	3後		2		○								兼1	※演習
	比較文化・文学研究A	3前		2		○								兼1	
	比較文化・文学研究B	3後		2		○								兼1	
	社会言語学	3前		2		○				1					
	応用言語学	3前		2		○								兼1	
	日英対照言語研究A	3前		2		○								兼1	
	日英対照言語研究B	3後		2		○								兼1	
	第二言語習得論Ⅰ	3前		2		○			1						
	第二言語習得論Ⅱ	3後		2		○			1						
	社会と外国語教育A	3前		2		○								兼1	
	社会と外国語教育B	3後		2		○								兼1	
	Shakespeare Production Ⅲ	4通		8			○			2					
	TOEIC演習Ⅰ	1前		2			○							兼2	
	TOEIC演習Ⅱ	1後		2			○							兼2	
	TOEIC800 Ⅰ	1前		2			○							兼1	
	TOEIC800 Ⅱ	1後		2			○							兼1	
	TOEFL・IELTS 初級 Ⅰ	1前		2			○							兼1	
	TOEFL・IELTS 初級 Ⅱ	1後		2			○							兼1	
	TOEFL・IELTS 中級 Ⅰ	1前		2			○							兼1	
	TOEFL・IELTS 中級 Ⅱ	1後		2			○							兼1	
	英語で読む日本昔話	1前		2		○								兼1	
	英語で読む京都印象記	1後		2		○								兼1	
	京都文化概論	1前		2										兼1	
	京ことば	1前・後		2										兼1	
	英語で案内する京都Ⅰ	2前		2			○							兼2	
	英語で案内する京都Ⅱ	2後		2			○							兼2	
	英語で読む日本文学	2後		2		○								兼1	
	京都を読む・歩く・見る	2前・後		2										兼1	
	源氏物語と京都	3前		2										兼1	
	京都の劇文学とワークショップ	3後		2										兼1	
	京都の中の外国文化	3後		2			○							兼1	
	小計（105科目）	－	2	214	0	－			5	5	0	0	0	兼47	
ゼミナール科目	英米文学基礎ゼミナールⅠ	2前	2				○		5	1		1			
	英米文学基礎ゼミナールⅡ	2後	2				○		5	1		1			
	Junior SeminarⅠ	3前	2				○		5	4		1			
	Junior SeminarⅡ	3後	2				○		5	4		1			
	Senior SeminarⅠ	4前	2				○		7	3					
	Senior SeminarⅡ	4後	2				○		7	3					
	小計（6科目）	－	12	0	0	－			7	4	0	1	0	0	
合計（337科目）		－	38	584	0	－			7	5	0	1	0	兼175	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
学位又は称号	学士（文学）		学位又は学科の分野			文学関係								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【卒業要件】 必修科目38単位、選択科目76単位、選択科目の最低履修単位数を超える修得単位数10単位以上、計124単位以上修得すること 【履修方法】 〈学科科目〉 「学部共通科目」から2単位以上 「基礎教育科目」から34単位以上（必修8単位、選択必修26単位以上） 「入門・概論科目」から14単位以上（必修12単位） 「応用・各論科目」から30単位以上（必修2単位、選択必修24単位以上） 「ゼミナール科目」から12単位以上（必修12単位） 〈全学共通科目〉 「共通学芸科目」から10単位以上 「キリスト教・同志社関係科目」から6単位以上（必修4単位、選択必修2単位以上） 「外国語科目」から4単位以上（選択必修4単位以上） 「スポーツ・健康科目」から2単位以上（選択必修2単位以上） 「区分外領域（上記各科目区分のオーバー単位、他大学単位互換科目単位など）から10単位以上 （履修科目の登録の上限：49単位（年間））	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

（注）

1　学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。

2　私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。

3　開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。

4　「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（生活科学部人間生活学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通学芸科目	哲学A	1前		2		○								兼1	
	哲学B	1後		2		○								兼1	
	西洋の思想A	1前		2		○								兼1	
	西洋の思想B	1後		2		○								兼1	
	日本の思想A	1後		2		○								兼1	
	日本の思想B	1後		2		○								兼1	
	宇宙の科学	1後		2		○								兼1	
	地球の科学	1前		2		○								兼1	
	生命の科学	1前		2		○								兼1	
	自然人類学	1後		2		○								兼1	
	物質の科学	1前		2		○								兼1	
	生活環境の科学	1前		2		○								兼1	
	自然科学史	1前		2		○								兼1	
	科学技術と人間	1後		2		○								兼1	
	心理学A	1前		2		○								兼1	
	心理学B	1後		2		○								兼1	
	人格心理学	1前		2		○								兼1	
	臨床心理学	1後		2		○								兼1	
	薬の発明・発見史Ⅰ	1前		2		○								兼1	
	薬の発明・発見史Ⅱ	1後		2		○								兼2	オムニバス
	女性のための医学	1前		2		○								兼2	オムニバス
	日本国憲法	1前		2		○								兼1	
	国際社会と法	1前		2		○								兼1	
	法と市民生活	1後		2		○								兼1	
	国際関係論A	1前		2		○								兼1	
	国際関係論B	1後		2		○								兼1	
	国際社会と経済A	1前		2		○								兼1	
	国際社会と経済B	1後		2		○								兼1	
	日本経済のしくみ	1後		2		○								兼1	
	人間と社会A	1前		2		○								兼1	
	人間と社会B	1後		2		○								兼1	
	異文化間コミュニケーション論	1前		2		○								兼1	
	マスコミュニケーション論A	1前		2		○								兼1	
	マスコミュニケーション論B	1前		2		○								兼1	
	情報と社会	1後		2		○								兼1	
	社会保障と福祉	1前		2		○			1						
	介護概説	1後		2		○								兼1	
	女性と社会	1前		2		○								兼1	
	日本女性史	1後		2		○								兼1	
	外国文学と女性A	1前		2		○								兼1	
	外国文学と女性B	1後		2		○								兼1	
	日本文学と女性	1前		2		○								兼1	
	ヨーロッパの歴史と文化A	1前		2		○								兼1	
	ヨーロッパの歴史と文化B	1後		2		○								兼1	
	日本の歴史と文化A	1前		2		○								兼1	
	日本の歴史と文化B	1後		2		○								兼1	
	日本文化論	1前		2		○								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通学芸科目	文化交流史	1後		2		○								兼2	オムニバス
	文化人類学	1前		2		○								兼1	
	環境社会論	1前		2		○								兼1	
	アメリカ地域研究A	1前		2		○								兼3	オムニバス
	アメリカ地域研究B	1後		2		○								兼3	オムニバス
	アジア地域研究A	1前		2		○								兼1	
	アジア地域研究B	1後		2		○								兼1	
	日本古典芸能A	1前		2		○								兼1	
	日本古典芸能B	1後		2		○								兼1	
	美術史	1後		2		○								兼1	
	音楽と諸芸術	1後		2		○								兼1	
	音楽と社会	1前		2		○								兼1	
	現代の音楽	1後		2		○								兼1	
	映像文化論	1後		2		○								兼1	
	京都の文化A	1後		2		○								兼1	
	京都の文化B	1前		2		○								兼1	
	京都の文化C	1後		2		○								兼1	
	京都の文化D	1前		2		○								兼1	
	京都の文化に触れるA	2前		2		○								兼1	
	京都の文化に触れるB	2前		2		○								兼1	
	京都の文化に触れるC	2前		2		○								兼1	
	京都の文化に触れるD	2前		2		○								兼1	
	京都の文化に触れるE	2前		2		○								兼7	オムニバス
	京都の歴史A	1前		2		○								兼1	
	京都の歴史B	1後		2		○								兼1	
	教育の原理	2前		2		○								兼1	
	発達と学習の心理学	2後		2		○								兼1	
	教育の制度と経営	2前		2		○								兼1	
	海外事情（アメリカ）	1前		4			○							兼1	
	海外事情（イギリス）	1後		4			○							兼1	
	海外事情（ニュージーランド）	1後		4			○							兼1	
	海外事情（中国）	1後		4			○							兼1	
	海外事情（カナダ）	1前		4			○							兼1	
	Japan Studies A	1後		2		○								兼1	
	Japan Studies B	1後		2		○								兼1	
	Japan Studies C	1後		2		○								兼1	
	Japan Studies D	1後		2		○								兼1	
	大学生活とキャリアデザインⅠ	1後		2		○								兼1	
	大学生活とキャリアデザインⅡ	2前		2		○								兼1	
	大学生活とキャリアデザインⅢ	2後		2		○								兼1	
	キャリアのための自己表現演習	2前		1			○							兼1	
	インターンシップ［大学コンソーシアム京都］	2通		2				○						兼1	
	インターンシップⅠA	2通		1				○						兼1	
	インターンシップⅠB	2通		2				○						兼1	
	小計（91科目）	－	0	190	0	－			1	0	0	0	0	兼73	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
キリスト教・同志社関係科目	聖書A	1前	2			○			1					
	聖書B	1後	2			○			1					
	キリスト教の歴史A	1後		2		○								兼1
	キリスト教の歴史B	1前		2		○								兼1
	キリスト教の歴史C	1後		2		○								兼1
	キリスト教文化論A	1前		2		○								兼1
	キリスト教文化論B	1後		2		○								兼1
	キリスト教文化論C	1前		2		○								兼1
	キリスト教世界の探求A	1前		2		○								兼1
	キリスト教世界の探求B	1前		2		○								兼1
	キリスト教世界の探求C	1後		2		○								兼1
	近代日本と同志社A	1後		2		○								兼1
	近代日本と同志社B	1前		2		○			1					
	近代日本と同志社C	1後		2		○								兼1
	近代日本と同志社D	1後		2			○							兼1
	小計（15科目）	－	4	26	0	－			1	0	0	0	0	兼10
外国語科目	Comprehensive English Ⅰ	1前	1				○							兼3
	Comprehensive English Ⅱ	1後	1				○							兼3
	Comprehensive English Ⅲ	2前	1				○							兼3
	Comprehensive English Ⅳ	2後	1				○							兼3
	Communication in English Ⅰ	1前	1				○							兼3
	Communication in English Ⅱ	1後	1				○							兼3
	Communication in English Ⅲ	2前	1				○							兼3
	Communication in English Ⅳ	2後	1				○							兼3
	初級フランス語基礎Ⅰ	1前		1			○							兼1
	初級フランス語基礎Ⅱ	1後		1			○							兼1
	初級フランス語演習Ⅰ	1前		1			○							兼1
	初級フランス語演習Ⅱ	1後		1			○							兼1
	中級フランス語Ⅰ	2前		1			○							兼1
	中級フランス語Ⅱ	2後		1			○							兼1
	上級フランス語Ⅰ	3前		1			○							兼1
	上級フランス語Ⅱ	3後		1			○							兼1
	初級ドイツ語基礎Ⅰ	1前		1			○							兼1
	初級ドイツ語基礎Ⅱ	1後		1			○							兼1
	初級ドイツ語演習Ⅰ	1前		1			○							兼1
	初級ドイツ語演習Ⅱ	1後		1			○							兼1
	中級ドイツ語Ⅰ	2前		1			○							兼1
	中級ドイツ語Ⅱ	2後		1			○							兼1
	上級ドイツ語Ⅰ	3前		1			○							兼1
	上級ドイツ語Ⅱ	3後		1			○							兼1
	初級中国語基礎	1前		2			○							兼2
	初級中国語演習	1後		2			○							兼2
	中級中国語Ⅰ	2前		1			○							兼1
	中級中国語Ⅱ	2後		1			○							兼1
	上級中国語Ⅰ	3前		1			○							兼1
	上級中国語Ⅱ	3後		1			○							兼1
	初級ハングル基礎Ⅰ	1前		1			○							兼2
	初級ハングル基礎Ⅱ	1後		1			○							兼2
	初級ハングル演習Ⅰ	1前		1			○							兼2
	初級ハングル演習Ⅱ	1後		1			○							兼2
	中級ハングルⅠ	2前		1			○							兼1
	中級ハングルⅡ	2後		1			○							兼1
	初級イタリア語基礎Ⅰ	1前		1			○							兼1
	初級イタリア語基礎Ⅱ	1後		1			○							兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
外国語科目	初級イタリア語演習Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級イタリア語演習Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	中級イタリア語Ⅰ	2前		1			○							兼1	
	中級イタリア語Ⅱ	2後		1			○							兼1	
	初級スペイン語基礎Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級スペイン語基礎Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	初級スペイン語演習Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級スペイン語演習Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	中級スペイン語Ⅰ	2前		1			○							兼1	
	中級スペイン語Ⅱ	2後		1			○							兼1	
	小計（48科目）	－	8	42	0	－			0	0	0	0	0	兼29	
スポーツ・健康科目	体育実技A	1前		1				○						兼3	
	体育実技B	1後		1				○						兼3	
	からだの科学	1後		2		○								兼1	
	ウェルネス健康論	1後		2		○								兼1	
	食物と健康	1前		2		○								兼1	
	スポーツ文化論	1前		2		○								兼1	
	スポーツ実習A	2前		1				○						兼1	
	スポーツ実習B	2後		1				○						兼1	
	小計（8科目）	－	0	12	0	－			0	0	0	0	0	兼7	
基礎教育科目	人間生活学基礎演習	1前	2				○		6	3					
	情報処理Ⅰ	1後		2			○							兼2	
	情報処理Ⅱ	2前		2			○							兼2	
	小計（3科目）	－	2	4	0	－			6	3	0	0	0	兼2	
入門・概論科目	くらしの経済学	1前		2		○								兼1	
	衣生活学	1前		2		○			1						
	食生活学	1後		2		○								兼1	
	住生活学	1後		2		○			1						
	被服造形論	1後		2		○				1					
	児童学	1前		2		○			1						
	いのちと倫理	2前		2		○			1						
	社会心理学	2後		2		○			1						
	まちづくり概論	1後		2		○				1					
	社会福祉学A	2後		2		○			1						
	小計（10科目）	－	0	20	0	－			6	2	0	0	0	兼2	
応用・各論科目	生活経営学	2後		2		○								兼1	
	服飾文化史	2前		2		○			1						
	ファッションと社会	2後		2		○			1						
	生活文化史	2前		2		○								兼2	オムニバス
	住文化史	2後		2		○								兼1	
	居住環境学	2後		2		○			1						
	住まいづくりの基礎	2前		2		○								兼1	
	インテリアデザイン論	2前		2		○								兼1	
	くらしの色彩学	2前		2		○			1						
	くらしのための技術と工芸	2前		2		○			1					兼4	オムニバス
	家庭機械および電気	2後		2		○								兼1	
	インターネットコミュニケーション	2後		2			○							兼1	
	消費者教育論	3後		2		○								兼1	
	服飾材料・整理学	3前		2		○								兼1	
	服飾デザイン論	3後		2		○			1						
	京の伝統染織論	3後		2		○								兼1	
	京と女性の住生活	3後		2		○								兼1	
	女性のための法律入門	3前		2		○								兼1	
	生活美術史	3前		2		○								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
応用・各論科目	国際生活文化論	3前		2		○								兼1	
	食物栄養学	3前		2		○								兼1	
	被服製作実習基礎	1後		1				○		1				兼1	
	被服製作実習（立体構成）	2前		1				○		1					
	被服製作実習（平面構成）	2後		1				○						兼1	
	テキスタイルデザイン実習	2後		1				○	1						
	住居製図基礎実習	2前		1				○	1						
	住居デザイン実習	2後		1				○						兼1	
	調理科学実習Ⅰ	2前		1				○						兼2	
	調理科学実習Ⅱ	2後		1				○						兼2	
	被服製作実習応用	3前		1				○		1					
	インテリアデザイン実習	3前		1				○						兼1	
	空間デザイン応用実習	3後		1				○						兼1	
	生活科学実験	3後		1				○						兼3	オムニバス
	世界の子どもたち	2前		2		○								兼1	
	児童文化と伝統	2後		2		○			1						
	児童文化と映像	2後		2		○			1						
	子ども心理学	2後		2		○								兼1	
	親子関係の心理学	2後		2		○								兼1	
	現代青年の心理と行動	2後		2		○			1						
	音楽社会心理学	2前		2		○			1						
	生活健康学	2前		2		○								兼1	
	介護概論	2後		2		○								兼4	オムニバス
	死生学	3後		2		○			1					兼2	オムニバス
	ジェンダーの社会心理学	3前		2		○			1						
	情報社会心理学	3後		2		○			1						
	女性のためのカウンセリング入門	3後		2		○								兼1	
	女性のための生涯発達論	3後		2		○								兼1	
	女性のためのライフプランニング	3後		2		○								兼2	オムニバス
	家庭看護学	3前		2		○								兼1	
	ファミリーセラピー	3前		2		○								兼1	
	保育学実習	3前		1				○	1						
	児童福祉論	2後		2		○			1						
	世界の社会福祉	2前		2		○			1					兼1	オムニバス
	環境教育論	2後		2		○				1					
	経済と環境	2後		2		○				1					
	空間情報学	2前		2		○				1					
	居住計画学	2後		2		○				1					
	都市空間論	2前		2		○				1					
	地域遺産論	2前		2		○				1					
	安全・安心のまちづくり	2後		2		○								兼3	オムニバス
	コミュニティ社会心理学	2後		2		○								兼1	
	環境生態学	3前		2		○								兼1	
	景観デザイン学	3後		2		○				1					
	ユニバーサルデザイン論	3後		2		○								兼1	
	ボランティア・ＮＰＯ活動論	3前		2		○								兼1	
	地域計画学演習	2前		2			○			1					
	キャリア心理学	2後		2		○								兼1	
	インターンシップⅡ	3通		2				○	2	1					
	小計（68科目）	－	0	123	0	－			6	3	0	0	0	兼48	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
科目 ゼミナール	応用演習Ⅰ	3前	2				○		5	3				
	応用演習Ⅱ	3後	2				○		5	3				
	卒業論文	4通	8				○		6	3				
	小計（3科目）	－	12	0	0	－			6	3	0	0	0	0
合計（246科目）		－	26	417	0	－			6	3	0	0	0	兼164

学位又は称号	学士（生活科学）	学位又は学科の分野	家政関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【卒業要件】 必修科目26単位、選択科目70単位、選択科目の最低履修単位数を超える修得単位数28単位以上、計124単位以上を修得すること 【履修方法】 〈学科科目〉 「基礎教育科目」から2単位以上（必修2単位） 「入門・概論科目」から12単位以上（選択必修12単位以上） 「応用・各論科目」から40単位以上 「ゼミナール科目」から12単位（必修12単位） 〈全学共通科目〉 「共通学芸科目」から10単位以上 「キリスト教・同志社関係科目」から6単位以上（必修4単位、選択必修2単位以上） 「外国語科目」から12単位以上（必修8単位、選択必修4単位以上） 「スポーツ・健康科目」から2単位以上（選択必修2単位以上） 「区分外領域（上記各科目区分のオーバー単位、他大学単位互換科目単位など）」から28単位以上 （履修科目の登録の上限：49単位（年間））	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

（注）

1　学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。

2　私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。

3　開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。

4　「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（生活科学部食物栄養科学科食物科学専攻）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通学芸科目	哲学A	1前		2		○								兼1	
	哲学B	1後		2		○								兼1	
	西洋の思想A	1前		2		○								兼1	
	西洋の思想B	1後		2		○								兼1	
	日本の思想A	1後		2		○								兼1	
	日本の思想B	1後		2		○								兼1	
	宇宙の科学	1後		2		○								兼1	
	地球の科学	1前		2		○								兼1	
	生命の科学	1前		2		○								兼1	
	自然人類学	1後		2		○								兼1	
	物質の科学	1前		2		○								兼1	
	生活環境の科学	1前		2		○								兼1	
	自然科学史	1前		2		○								兼1	
	科学技術と人間	1後		2		○								兼1	
	心理学A	1前		2		○								兼1	
	心理学B	1後		2		○								兼1	
	人格心理学	1前		2		○								兼1	
	臨床心理学	1後		2		○								兼1	
	薬の発明・発見史Ⅰ	1前		2		○								兼1	
	薬の発明・発見史Ⅱ	1後		2		○								兼2	オムニバス
	女性のための医学	1後		2		○								兼2	オムニバス
	日本国憲法	1前		2		○								兼1	
	国際社会と法	1前		2		○								兼1	
	法と市民生活	1後		2		○								兼1	
	国際関係論A	1前		2		○								兼1	
	国際関係論B	1後		2		○								兼1	
	国際社会と経済A	1前		2		○								兼1	
	国際社会と経済B	1後		2		○								兼1	
	日本経済のしくみ	1後		2		○								兼1	
	人間と社会A	1前		2		○								兼1	
	人間と社会B	1後		2		○								兼1	
	異文化間コミュニケーション論	1前		2		○								兼1	
	マスコミュニケーション論A	1前		2		○								兼1	
	マスコミュニケーション論B	1前		2		○								兼1	
	情報と社会	1後		2		○								兼1	
	社会保障と福祉	1前		2		○								兼1	
	介護概説	1後		2		○								兼1	
	女性と社会	1前		2		○								兼1	
	日本女性史	1後		2		○								兼1	
	外国文学と女性A	1前		2		○								兼1	
	外国文学と女性B	1後		2		○								兼1	
	日本文学と女性	1前		2		○								兼1	
	ヨーロッパの歴史と文化A	1前		2		○								兼1	
	ヨーロッパの歴史と文化B	1後		2		○								兼1	
	日本の歴史と文化A	1前		2		○								兼1	
	日本の歴史と文化B	1後		2		○								兼1	
	日本文化論	1前		2		○								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通学芸科目	文化交流史	1後		2		○								兼2	オムニバス
	文化人類学	1前		2		○								兼1	
	環境社会論	1後		2		○								兼1	
	アメリカ地域研究A	1前		2		○								兼3	オムニバス
	アメリカ地域研究B	1後		2		○								兼3	オムニバス
	アジア地域研究A	1前		2		○								兼1	
	アジア地域研究B	1後		2		○								兼1	
	日本古典芸能A	1前		2		○								兼1	
	日本古典芸能B	1後		2		○								兼1	
	美術史	1後		2		○								兼1	
	音楽と諸芸術	1後		2		○								兼1	
	音楽と社会	1前		2		○								兼1	
	現代の音楽	1後		2		○								兼1	
	映像文化論	1後		2		○								兼1	
	京都の文化A	1後		2		○								兼1	
	京都の文化B	1前		2		○								兼1	
	京都の文化C	1後		2		○								兼1	
	京都の文化D	1前		2		○								兼1	
	京都の文化に触れるA	2前		2		○								兼1	
	京都の文化に触れるB	2前		2		○								兼1	
	京都の文化に触れるC	2前		2		○								兼1	
	京都の文化に触れるD	2前		2		○								兼1	
	京都の文化に触れるE	2前		2		○								兼7	オムニバス
	京都の歴史A	1前		2		○								兼1	
	京都の歴史B	1後		2		○								兼1	
	教育の原理	2前		2		○								兼1	
	発達と学習の心理学	2後		2		○								兼1	
	教育の制度と経営	2後		2		○								兼1	
	海外事情（アメリカ）	1前		4			○							兼1	
	海外事情（イギリス）	1後		4			○							兼1	
	海外事情（ニュージーランド）	1後		4			○							兼1	
	海外事情（中国）	1後		4			○							兼1	
	海外事情（カナダ）	1前		4			○							兼1	
	Japan Studies A	1後		2		○								兼1	
	Japan Studies B	1後		2		○								兼1	
	Japan Studies C	1後		2		○								兼1	
	Japan Studies D	1後		2		○								兼1	
	大学生活とキャリアデザインⅠ	1後		2		○								兼1	
	大学生活とキャリアデザインⅡ	2前		2		○								兼1	
	大学生活とキャリアデザインⅢ	2後		2		○								兼1	
	キャリアのための自己表現演習	2前		1			○							兼1	
	インターンシップ［大学コンソーシアム京都］	2通		2				○						兼1	
	インターンシップⅠA	2通		1				○						兼1	
	インターンシップⅠB	2通		2				○						兼1	
	小計（91科目）	－	0	190	0	－			0	0	0	0	0	兼73	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
キリスト教・同志社関係科目	聖書A	1前	2			○								兼1
	聖書B	1後	2			○								兼1
	キリスト教の歴史A	1後		2		○								兼1
	キリスト教の歴史B	1前		2		○								兼1
	キリスト教の歴史C	1後		2		○								兼1
	キリスト教文化論A	1前		2		○								兼1
	キリスト教文化論B	1後		2		○								兼1
	キリスト教文化論C	1前		2		○								兼1
	キリスト教世界の探求A	1前		2		○								兼1
	キリスト教世界の探求B	1前		2		○								兼1
	キリスト教世界の探求C	1後		2		○								兼1
	近代日本と同志社A	1後		2		○								兼1
	近代日本と同志社B	1前		2		○								兼1
	近代日本と同志社C	1後		2		○								兼1
	近代日本と同志社D	1後		2			○							兼1
	小計（15科目）	－	4	26	0	－			0	0	0	0	0	兼12
外国語科目	Comprehensive English Ⅰ	1前	1				○							兼2
	Comprehensive English Ⅱ	1後	1				○							兼2
	Comprehensive English Ⅲ	2前	1				○							兼2
	Comprehensive English Ⅳ	2後	1				○							兼2
	Communication in English Ⅰ	1前	1				○							兼2
	Communication in English Ⅱ	1後	1				○							兼2
	Communication in English Ⅲ	2前	1				○							兼1
	Communication in English Ⅳ	2後	1				○							兼1
	初級フランス語基礎Ⅰ	1前		1			○							兼1
	初級フランス語基礎Ⅱ	1後		1			○							兼1
	初級フランス語演習Ⅰ	1前		1			○							兼1
	初級フランス語演習Ⅱ	1後		1			○							兼1
	中級フランス語Ⅰ	2前		1			○							兼1
	中級フランス語Ⅱ	2後		1			○							兼1
	上級フランス語Ⅰ	3前		1			○							兼1
	上級フランス語Ⅱ	3後		1			○							兼1
	初級ドイツ語基礎Ⅰ	1前		1			○							兼1
	初級ドイツ語基礎Ⅱ	1後		1			○							兼1
	初級ドイツ語演習Ⅰ	1前		1			○							兼1
	初級ドイツ語演習Ⅱ	1後		1			○							兼1
	中級ドイツ語Ⅰ	2前		1			○							兼1
	中級ドイツ語Ⅱ	2後		1			○							兼1
	上級ドイツ語Ⅰ	3前		1			○							兼1
	上級ドイツ語Ⅱ	3後		1			○							兼1
	初級中国語基礎	1前		2			○							兼2
	初級中国語演習	1後		2			○							兼2
	中級中国語Ⅰ	2前		1			○							兼1
	中級中国語Ⅱ	2後		1			○							兼1
	上級中国語Ⅰ	3前		1			○							兼1
	上級中国語Ⅱ	3後		1			○							兼1
	初級ハングル基礎Ⅰ	1前		1			○							兼2
	初級ハングル基礎Ⅱ	1後		1			○							兼2
	初級ハングル演習Ⅰ	1前		1			○							兼2
	初級ハングル演習Ⅱ	1後		1			○							兼2
	中級ハングルⅠ	2前		1			○							兼1
	中級ハングルⅡ	2後		1			○							兼1
	初級イタリア語基礎Ⅰ	1前		1			○							兼1
	初級イタリア語基礎Ⅱ	1後		1			○							兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
外国語科目	初級イタリア語演習Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級イタリア語演習Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	中級イタリア語Ⅰ	2前		1			○							兼1	
	中級イタリア語Ⅱ	2後		1			○							兼1	
	初級スペイン語基礎Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級スペイン語基礎Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	初級スペイン語演習Ⅰ	1前		1			○							兼1	
	初級スペイン語演習Ⅱ	1後		1			○							兼1	
	中級スペイン語Ⅰ	2前		1			○							兼1	
	中級スペイン語Ⅱ	2後		1			○							兼1	
	小計（48科目）	－	8	42	0	－			0	0	0	0	0	兼26	
スポーツ・健康科目	体育実技A	1前		1				○						兼2	
	体育実技B	1後		1				○						兼2	
	からだの科学	1後		2		○				1					
	ウェルネス健康論	1後		2		○								兼1	
	食物と健康	1前		2		○								兼1	
	スポーツ文化論	1前		2		○								兼1	
	スポーツ実習A	2前		1				○						兼1	
	スポーツ実習B	2後		1				○						兼1	
	小計（8科目）	－	0	12	0	－			0	1	0	0	0	兼5	
基礎教育科目	有機化学	1後	2			○			1						
	基礎統計学	1後	2			○								兼1	
	生物の基礎	1前		2		○								兼1	
	化学の基礎	1前		2		○								兼1	
	情報処理Ⅰ	1後		2			○		1					兼1	※講義
	情報処理Ⅱ	2前		2			○		1					兼1	※講義
	生物学実験A	2後	2					○						兼2	
	化学実験A	2後	2					○		1				兼1	
	小計（8科目）	－	8	8	0	－			2	1	0	0	0	兼7	
入門・概論科目	生活科学概論	1前	2			○			5	1				兼1	オムニバス
	食物学のための数学と物理	1前		2		○			1						
	小計（2科目）	－	2	2	0	－			5	1	0	0	0	兼1	
応用・各論科目	食生活論	1前	2			○								兼1	
	食品化学Ⅰ	2前	2			○				1					
	食品化学Ⅱ	2後	2			○				1					
	生化学	2前	2			○				1					
	栄養学	2後	2			○			1						
	調理科学Ⅰ	2前	2			○			1						
	調理科学Ⅱ	2後	2			○			1						
	食品物性学	2後	2			○			1						
	食物英書講読	4前	2			○			3					兼1	オムニバス
	食品微生物学	2後		2		○			1						
	食品衛生学A	2前		2		○								兼1	
	食品分析化学	2前		2		○			1						
	運動健康論	2前		2		○				1					
	食品流通論	3前		2		○								兼1	
	食品加工貯蔵学	3前		2		○								兼1	
	食品官能評価論	3後		2		○			1						
	食文化論	3前		2		○								兼1	
	公衆衛生学	3後		2		○								兼1	
	生活経済学	1前		2		○								兼1	
	被服学	1後		2		○								兼1	
	保育学	1前		2		○								兼2	オムニバス

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
応用・各論科目	京の料理と菓子	2前		2			○		1					兼2	オムニバス ※講義
	京の食材論	2後		2		○								兼1	
	住居学	2前		2		○								兼1	※演習
	家庭機械および電気	2後		2		○								兼1	
	家庭経営学	2前		2		○								兼1	
	フードスペシャリスト論	3前		2		○								兼1	
	フードコーディネート論	3前		2		○								兼1	
	食品バイオテクノロジー	3後		2		○								兼1	
	応用栄養学	3後		2		○								兼1	
	食と健康管理	3前		2		○			2					兼1	オムニバス
	インターンシップⅡ	3通		2				○	5	1					
	調理科学実習Ⅰ	1前	1					○						兼2	
	調理科学実習Ⅱ	1後	1					○						兼2	
	調理科学実験	3前・後	2					○	1						
	食品分析化学実験	3前・後	2					○	1						
	食品加工・物性学実験	3前・後	2					○	1						
	食品バイオテクノロジー実験	3前・後	2					○	1						
	調理科学実習Ⅲ	3前	1					○	1					兼1	
	調理科学実習Ⅳ	3後	1					○	1					兼1	
	被服製作実習基礎Ⅰ	1後		1				○						兼1	
	被服製作実習基礎Ⅱ	2前		1				○						兼1	
	保育学実習	3前		1				○						兼1	
	小計（45科目）	－	30	49	0	－			7	3	0	0	0	兼28	
卒論文業	卒業論文	4通	8				○		12	3					※実験・実習
	小計（1科目）	－	8	0	0	－			12	3	0	0	0	0	
合計（216 科目）		－	60	329	0	－			14	3	0	0	0	兼148	

学位又は称号	学士（生活科学）	学位又は学科の分野	家政関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【卒業要件】 必修科目60単位、選択科目46単位、選択科目の最低履修単位数を超える修得単位数18単位以上、計124単位以上修得すること 【履修方法】 〈学科科目〉 「基礎教育科目」から10単位以上（必修8単位、選択必修2単位以上） 「入門・概論科目」から2単位以上（必修2単位） 「応用・各論科目」から56単位以上（必修30単位、選択必修12単位以上） 「卒業論文」8単位（必修8単位） 〈全学共通科目〉 「共通学芸科目」から10単位以上 「キリスト教・同志社関係科目」から6単位以上（必修4単位、選択必修2単位以上） 「外国語科目」から12単位以上（必修8単位、選択必修4単位以上） 「スポーツ・健康科目」から2単位以上（選択必修2単位以上） 「区分外領域（上記各科目区分のオーバー単位、他大学単位互換科目単位など）」から18単位以上 （履修科目の登録の上限：49単位（年間））	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

（注）

1　学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。

2　私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。

3　開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。

4　「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。

学則の変更の趣旨等を記載した書類

資料目次

資料１　　過去５年間の志願者数等の状況

資料２　　女子大ランキング
「大学ランキング2019」より（朝日新聞出版）

資料３　　関西エリアにおける「知名度」「志願度」ランキング
「進学ブランド力調査2018」より
（株式会社リクルートマーケティングパートナーズ）

資料４　　「大学のイメージ」ランキング（関西エリア）
同志社女子大学ランクイン項目（2015～2018）
「進学ブランド力調査2015～2018」より
（株式会社リクルートマーケティングパートナーズ）

資料５　　大学ブランド力ランキング（近畿編）
「大学ブランド・イメージ調査（2017-2018）」より
（日経ＢＰコンサルティング）

資料６　　過去５年間の就職実績

資料７　　過去５年間の企業規模別就職者数

資料８　　過去５年間の都道府県別求人件数

過去５年間の志願者数等の状況　　【資料１】

	入試年度	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	実質倍率	充足率
音楽学科 演奏専攻	平成30(2018)年度	75	156	155	101	79	2.1	1.5	1.05
	平成29(2017)年度	75	170	169	107	76	2.3	1.6	1.01
	平成28(2016)年度	75	146	143	105	79	1.9	1.4	1.05
	平成27(2015)年度	75	160	159	115	90	2.1	1.4	1.20
	平成26(2014)年度	75	143	143	117	83	1.9	1.2	1.11
	平均	75	155	154	109	81	2.1	1.4	1.09

	入試年度	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	実質倍率	充足率
音楽学科 音楽文化専攻	平成30(2018)年度	40	180	180	68	34	4.5	2.6	0.85
	平成29(2017)年度	40	165	165	80	48	4.1	2.1	1.20
	平成28(2016)年度	40	254	253	80	48	6.4	3.2	1.20
	平成27(2015)年度	40	239	237	82	46	6.0	2.9	1.15
	平成26(2014)年度	40	194	192	84	52	4.9	2.3	1.30
	平均	40	206	205	79	46	5.2	2.6	1.14

	入試年度	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	実質倍率	充足率
メディア創造学科 ※平成29年度までは 情報メディア学科	平成30(2018)年度	120	913	908	250	128	7.6	3.6	1.07
	平成29(2017)年度	120	1,038	1,023	285	132	8.7	3.6	1.10
	平成28(2016)年度	120	1,163	1,147	294	123	9.7	3.9	1.03
	平成27(2015)年度	120	928	918	347	128	7.7	2.6	1.07
	平成26(2014)年度	120	1,238	1,225	327	138	10.3	3.7	1.15
	平均	120	1,056	1,044	301	130	8.8	3.5	1.08

	入試年度	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	実質倍率	充足率
国際教養学科	平成30(2018)年度	80	634	628	224	87	7.9	2.8	1.09
	平成29(2017)年度	80	729	722	259	93	9.1	2.8	1.16
	平成28(2016)年度	80	603	600	259	89	7.5	2.3	1.11
	平成27(2015)年度	80	858	849	251	84	10.7	3.4	1.05
	平成26(2014)年度	80	960	946	256	87	12.0	3.7	1.09
	平均	80	757	749	250	88	9.5	3.0	1.10

	入試年度	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	実質倍率	充足率
社会システム学科	平成30(2018)年度	300	2,539	2,509	719	303	8.5	3.5	1.01
	平成29(2017)年度	300	2,818	2,789	834	343	9.4	3.3	1.14
	平成28(2016)年度	300	2,241	2,207	837	325	7.5	2.6	1.08
	平成27(2015)年度	300	2,617	2,602	954	332	8.7	2.7	1.11
	平成26(2014)年度	300	3,013	2,979	953	337	10.0	3.1	1.12
	平均	300	2,646	2,617	859	328	8.8	3.1	1.09

過去５年間の志願者数等の状況　　【資料１】

	入試年度	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	実質倍率	充足率
現代こども学科	平成30(2018)年度	100	1,122	1,111	245	117	11.2	4.5	1.17
	平成29(2017)年度	100	1,179	1,167	298	109	11.8	3.9	1.09
	平成28(2016)年度	100	1,256	1,249	262	106	12.6	4.8	1.06
	平成27(2015)年度	100	1,515	1,505	271	109	15.2	5.6	1.09
	平成26(2014)年度	100	1,359	1,346	310	116	13.6	4.3	1.16
	平均	100	1,286	1,276	277	111	12.9	4.6	1.11

	入試年度	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	実質倍率	充足率
医療薬学科	平成30(2018)年度	120	1,261	1,226	326	132	10.5	3.8	1.10
	平成29(2017)年度	120	1,274	1,238	340	124	10.6	3.6	1.03
	平成28(2016)年度	120	1,436	1,408	342	126	12.0	4.1	1.05
	平成27(2015)年度	120	1,439	1,402	291	116	12.0	4.8	0.97
	平成26(2014)年度	120	1,769	1,724	304	139	14.7	5.7	1.16
	平均	120	1,436	1,400	321	127	12.0	4.4	1.06

	入試年度	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	実質倍率	充足率
看護学科	平成30(2018)年度	80	1,640	1,606	266	81	20.5	6.0	1.01
	平成29(2017)年度	80	1,725	1,678	303	90	21.6	5.5	1.13
	平成28(2016)年度	80	1,887	1,839	248	74	23.6	7.4	0.93
	平成27(2015)年度	80	1,803	1,755	226	82	22.5	7.8	1.03
	平成26(2014)年度	—	—	—	—	—	—	—	—
	平均	80	1,764	1,720	261	82	22.0	6.7	1.02

	入試年度	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	実質倍率	充足率
英語英文学科	平成30(2018)年度	145	1,023	1,000	380	161	7.1	2.6	1.11
	平成29(2017)年度	145	1,137	1,118	446	161	7.8	2.5	1.11
	平成28(2016)年度	145	1,129	1,108	436	154	7.8	2.5	1.06
	平成27(2015)年度	145	1,207	1,198	517	174	8.3	2.3	1.20
	平成26(2014)年度	160	1,690	1,680	532	174	10.6	3.2	1.09
	平均	148	1,237	1,221	462	165	8.3	2.6	1.11

	入試年度	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	実質倍率	充足率
日本語日本文学科	平成30(2018)年度	120	846	837	310	134	7.1	2.7	1.12
	平成29(2017)年度	120	986	968	303	128	8.2	3.2	1.07
	平成28(2016)年度	120	847	834	331	126	7.1	2.5	1.05
	平成27(2015)年度	120	1,011	1,004	390	131	8.4	2.6	1.09
	平成26(2014)年度	130	921	909	414	165	7.1	2.2	1.27
	平均	122	922	910	350	137	7.6	2.6	1.12

過去５年間の志願者数等の状況　　【資料１】

	入試年度	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	実質倍率	充足率
人間生活学科	平成30(2018)年度	80	884	872	191	86	11.1	4.6	1.08
	平成29(2017)年度	80	705	694	218	94	8.8	3.2	1.18
	平成28(2016)年度	80	817	806	215	80	10.2	3.7	1.00
	平成27(2015)年度	80	871	858	241	94	10.9	3.6	1.18
	平成26(2014)年度	80	886	881	226	99	11.1	3.9	1.24
	平均	80	833	822	218	91	10.4	3.8	1.13

	入試年度	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	実質倍率	充足率
食物栄養科学科 食物科学専攻	平成30(2018)年度	55	448	444	137	62	8.1	3.2	1.13
	平成29(2017)年度	55	553	549	160	68	10.1	3.4	1.24
	平成28(2016)年度	55	738	726	145	54	13.4	5.0	0.98
	平成27(2015)年度	55	644	636	173	73	11.7	3.7	1.33
	平成26(2014)年度	55	769	759	156	59	14.0	4.9	1.07
	平均	55	630	623	154	63	11.5	4.0	1.15

	入試年度	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	実質倍率	充足率
食物栄養科学科 管理栄養士専攻	平成30(2018)年度	80	1,170	1,153	223	78	14.6	5.2	0.98
	平成29(2017)年度	80	1,369	1,348	231	90	17.1	5.8	1.13
	平成28(2016)年度	80	1,460	1,444	222	90	18.3	6.5	1.13
	平成27(2015)年度	80	1,406	1,398	260	82	17.6	5.4	1.03
	平成26(2014)年度	80	1,794	1,779	231	79	22.4	7.7	0.99
	平均	80	1,440	1,424	233	84	18.0	6.1	1.05

	入試年度	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	実質倍率	充足率
大学全体	平成30(2018)年度	1,395	12,816	12,629	3,440	1,482	9.2	3.7	1.06
	平成29(2017)年度	1,395	13,848	13,628	3,864	1,556	9.9	3.5	1.12
	平成28(2016)年度	1,395	13,977	13,764	3,776	1,474	10.0	3.6	1.06
	平成27(2015)年度	1,395	14,698	14,521	4,118	1,541	10.5	3.5	1.10
	平成26(2014)年度	1,340	14,736	14,563	3,910	1,528	11.0	3.7	1.14
	平均	―	14,015	13,821	3,822	1,516	10.1	3.6	1.10

	入試年度	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	実質倍率	充足率
収容定員増加 対象学科のみ	平成30(2018)年度	980	9,342	9,193	2,493	1,040	9.5	3.7	1.06
	平成29(2017)年度	980	9,979	9,811	2,845	1,105	10.2	3.4	1.13
	平成28(2016)年度	980	10,014	9,841	2,776	1,025	10.2	3.5	1.05
	平成27(2015)年度	980	10,367	10,218	3,000	1,083	10.6	3.4	1.11
	平成26(2014)年度	915	10,325	10,194	2,754	1,033	11.3	3.7	1.13
	平均	―	10,005	9,851	2,774	1,057	10.4	3.6	1.09

１（書類等の題名）

【資料２】女子大ランキング

２（出典）

朝日新聞出版　大学ランキング２０１９

３（引用範囲）

「大学ランキング２０１９」　（朝日新聞出版）　（１９８ページから１９９ページ）

４（その他の説明）

１９８ページから１９９ページをコピーしたものに、本学に関する記載部分を赤で枠囲みした。

関西エリアにおける「知名度」ランキング

全体			女子			文系女子			理系女子		
順位	大学名	（%）	順位	大学名	（%）	順位	大学名	（%）	順位	大学名	（%）
1	近畿大学	89.9	1	近畿大学	90.3	1	関西大学	90.7	1	京都大学	92.8
2	関西大学	89.8	2	関西大学	88.9	1	同志社大学	90.7	1	近畿大学	92.8
3	同志社大学	88.6	3	同志社大学	88.3	3	近畿大学	89.6	3	立命館大学	91.6
4	立命館大学	86.4	4	立命館大学	85.1	4	立命館大学	84.4	4	神戸大学	89.2
5	京都大学	82.5	5	京都大学	82.8	5	龍谷大学	83.3	5	同志社大学	86.5
6	東京大学	80.8	6	同志社女子大学	81.2	6	東京大学	82.3	6	関西大学	84.4
7	神戸大学	80.0	7	神戸大学	80.0	6	京都大学	81.7	7	同志社女子大学	84.2
8	大阪大学	78.4	8	東京大学	79.4	8	同志社女子大学	80.4	8	早稲田大学	81.1
9	龍谷大学	77.5	9	龍谷大学	79.2	8	神戸大学	79.2	8	大阪大学	79.5
10	早稲田大学	76.4	10	早稲田大学	77.6	10	関西学院大学	77.4	10	お茶の水女子大学	77.1
11	関西学院大学	73.3	11	大阪大学	76.4	11	関西外国語大学	76.3	10	慶應義塾大学	77.1
12	明治大学	71.1	12	関西学院大学	75.2	12	早稲田大学	75.9	10	東京大学	77.1
13	慶応義塾大学	70.7	13	慶應義塾大学	74.7	13	大阪大学	75.0	13	関西学院大学	73.7
14	青山学院大学	69.5	14	明治大学	73.1	13	慶應義塾大学	75.0	14	大阪府立大学	73.5
15	甲南大学	67.0	15	関西外国語大学	70.6	15	青山学院大学	72.6	14	龍谷大学	73.5
16	大阪府立大学	66.7	16	青山学院大学	70.0	16	明治大学	72.5	16	明治大学	71.1
17	関西外国語大学	65.2	17	お茶の水女子大学	68.6	17	上智大学	69.3	17	甲南大学	69.8
18	同志社女子大学	65.1	18	甲南大学	68.3	18	甲南大学	67.0	18	大阪市立大学	69.5
19	上智大学	64.8	19	武庫川女子大学	67.2	19	武庫川女子大学	67.0	19	上智大学	67.7
20	大阪市立大学	62.8	20	大阪府立大学	65.8	20	お茶の水女子大学	66.3	19	武庫川女子大学	67.7
			20	上智大学	65.8						

関西エリアにおける「志願度」ランキング

全体			女子			文系女子			理系女子		
順位	大学名	（%）	順位	大学名	（%）	順位	大学名	（%）	順位	大学名	（%）
1	関西大学	14.2	1	関西大学	12.6	1	関西大学	17.4	1	近畿大学	10.9
2	近畿大学	13.7	2	近畿大学	10.4	2	関西学院大学	13.8	2	大阪市立大学	10.6
3	大阪市立大学	9.1	3	関西学院大学	9.8	2	同志社大学	12.2	2	大阪大学	10.6
4	同志社大学	9.0	4	同志社大学	9.1	4	近畿大学	10.6	2	神戸大学	10.6
5	神戸大学	8.9	5	神戸大学	6.8	5	立命館大学	8.3	5	大阪府立大学	8.4
6	関西学院大学	8.6	6	立命館大学	6.7	6	関西外国語大学	6.1	6	同志社女子大学	6.6
7	立命館大学	7.5	7	大阪市立大学	6.4	6	龍谷大学	6.1	7	兵庫県立大学	5.1
8	大阪大学	7.4	8	大阪大学	5.1	8	神戸大学	5.5	8	京都薬科大学	4.7
9	龍谷大学	5.7	8	同志社女子大学	5.1	9	大阪市立大学	4.9	8	奈良女子大学	4.7
10	大阪府立大学	5.1	10	龍谷大学	4.7	9	同志社女子大学	4.9	10	大阪薬科大学	4.4
11	甲南大学	4.1	11	関西外国語大学	4.5	11	甲南大学	4.3	10	関西大学	4.4
12	京都産業大学	3.9	12	大阪府立大学	4.3	12	武庫川女子大学	4.0	10	森ノ宮医療大学	4.4
13	関西外国語大学	3.5	13	武庫川女子大学	3.7	13	京都女子大学	3.8	10	立命館大学	4.4
14	兵庫県立大学	3.3	14	京都女子大学	3.3	14	大阪大学	3.7	14	京都大学	4.0
15	京都大学	3.2	15	甲南大学	3.3	14	京都産業大学	3.7	15	大阪教育大学	3.6
16	和歌山大学	3.0	16	大阪教育大学	2.8	16	大阪府立大学	3.1	15	京都府立大学	3.6
17	大阪教育大学	2.8	17	兵庫県立大学	2.7	16	佛教大学	3.1	15	武庫川女子大学	3.6
18	同志社女子大学	2.5	17	佛教大学	2.7	18	京都外国語大学	2.9	18	同志社大学	3.3
18	佛教大学	2.5	19	京都産業大学	2.6	18	京都橘大学	2.9	19	京都工芸繊維大学	2.9
20	京都府立大学	2.2	20	森ノ宮医療大学	2.5	18	神戸市外国語大学	2.9	20	畿央大学	2.6
									20	神戸薬科大学	2.6
									20	兵庫医療大学	2.6

「進学ブランド力調査 2018」
リクルート進学総研調べ

『大学のイメージ』ランキング（関西エリア）
同志社女子大学ランクイン項目（2015～2018）

平成30（2018）年度

イメージ項目	女子	全体
伝統や実績がある	13位	
有名である	15位	
校風や雰囲気が良い	15位	
教育内容のレベルが高い	14位	
社会で役立つ力が身につく	14位	
学生の学力が高い	15位	
学修設備や環境が整っている	10位	
キャンパスがきれいである	6位	7位
寮や奨学金等が充実している	6位	9位
学生生活が楽しめる	15位	
勉強するのに良い環境である	11位	
おしゃれな	6位	5位
自慢できそう	13位	
力強い	10位	
明るい	9位	15位
上品な	2位	4位

全４７項目中１６項目

「進学ブランド力調査 2018」 リクルート進学総研調べ

平成29（2017）年度

イメージ項目	女子	全体
教授・講師陣が魅力的である	10位	
先輩・卒業生が魅力的である	13位	
キャンパスがきれいである	6位	12位
学生生活が楽しめる	9位	
クラブ・サークル活動が盛んである	10位	
周囲の人からの評判が良い	15位	
偏差値が自分に合っている	15位	
おしゃれな	1位	9位
親しみやすい	6位	
上品な	10位	9位

全４７項目中１０項目

「進学ブランド力調査 2017」 リクルート進学総研調べ

平成28（2016）年度

イメージ項目	女子	全体
教育方針・カリキュラムが魅力的である	5位	11位
教授・講師陣が魅力的である	11位	
学生の面倒見が良い		11位
キャンパスがきれいである	4位	9位
偏差値が自分に合っている	15位	
おしゃれな	5位	10位
明るい	15位	
上品な	7位	7位

全４７項目中８項目

「進学ブランド力調査 2016」 リクルート進学総研調べ

平成27（2015）年度

イメージ項目	女子	全体
校風や雰囲気が良い	8位	15位
キャンパスがきれいである	7位	11位
教養が身につく	14位	
おしゃれな	6位	
上品な	2位	5位

全４７項目中５項目

「進学ブランド力調査 2015」 リクルート進学総研調べ

大学ブランド力ランキング（近畿編）

順位	前回順位	大学名	大学ブランド力（偏差値）
1	1	京都大学	93.3
2	2	大阪大学	72.2
3	3	同志社大学	71.8
4	4	近畿大学	67.5
5	5	立命館大学	66.3
6	6	神戸大学	65.8
7	7	関西大学	65.1
8	8	関西学院大学	60.6
9	9	大阪市立大学	54.9
10	14	同志社女子大学	54.3
11	11	関西外国語大学	53.9
11	13	京都産業大学	53.9
13	10	大阪府立大学	52.6
14	16	大阪教育大学	52.5
15	22	京都府立大学	50.8
16	18	京都工芸繊維大学	50.7
17	23	京都女子大学	50.5
18	12	京都外国語大学	50.4
18	19	武庫川女子大学	50.4
20	24	大阪工業大学	50.2

「大学ブランド・イメージ調査（2017-2018）」
日経BPコンサルティング調べ

過去５年間の就職実績　　【資料６】

学部	学科・専攻	年度	卒業者数	就職希望者数	就職希望率	就職決定者数	就職決定率
学芸学部	音楽学科 演奏専攻	平成25(2013)年度	83	41	49.4%	40	97.6%
		平成26(2014)年度	84	39	46.4%	38	97.4%
		平成27(2015)年度	70	44	62.9%	42	95.5%
		平成28(2016)年度	92	47	51.1%	43	91.5%
		平成29(2017)年度	77	44	57.1%	44	100.0%
	音楽学科 音楽文化専攻	平成25(2013)年度	35	24	68.6%	23	95.8%
		平成26(2014)年度	43	33	76.7%	33	100.0%
		平成27(2015)年度	41	35	85.4%	35	100.0%
		平成28(2016)年度	47	31	66.0%	31	100.0%
		平成29(2017)年度	52	41	78.8%	40	97.6%
	情報メディア学科	平成25(2013)年度	135	117	86.7%	113	96.6%
		平成26(2014)年度	142	122	85.9%	120	98.4%
		平成27(2015)年度	132	118	89.4%	116	98.3%
		平成28(2016)年度	146	130	89.0%	128	98.5%
		平成29(2017)年度	136	127	93.4%	126	99.2%
	国際教養学科	平成25(2013)年度	82	71	86.6%	68	95.8%
		平成26(2014)年度	85	68	80.0%	65	95.6%
		平成27(2015)年度	90	76	84.4%	76	100.0%
		平成28(2016)年度	89	79	88.8%	76	96.2%
		平成29(2017)年度	83	70	84.3%	68	97.1%
現代社会学部	社会システム学科	平成25(2013)年度	334	303	90.7%	291	96.0%
		平成26(2014)年度	326	295	90.5%	289	98.0%
		平成27(2015)年度	345	321	93.0%	315	98.1%
		平成28(2016)年度	357	342	95.8%	339	99.1%
		平成29(2017)年度	336	317	94.3%	312	98.4%
	現代こども学科	平成25(2013)年度	116	98	84.5%	98	100.0%
		平成26(2014)年度	111	93	83.8%	91	97.8%
		平成27(2015)年度	120	109	90.8%	109	100.0%
		平成28(2016)年度	108	102	94.4%	102	100.0%
		平成29(2017)年度	117	112	95.7%	112	100.0%
薬学部	医療薬学科	平成25(2013)年度	105	83	79.0%	83	100.0%
		平成26(2014)年度	110	79	71.8%	79	100.0%
		平成27(2015)年度	132	104	78.8%	104	100.0%
		平成28(2016)年度	126	103	81.7%	102	99.0%
		平成29(2017)年度	133	88	66.2%	88	100.0%
表象文化学部	英語英文学科	平成25(2013)年度	182	149	81.9%	143	96.0%
		平成26(2014)年度	182	156	85.7%	151	96.8%
		平成27(2015)年度	174	154	88.5%	150	97.4%
		平成28(2016)年度	171	155	90.6%	151	97.4%
		平成29(2017)年度	168	140	83.3%	139	99.3%
	日本語日本文学科	平成25(2013)年度	133	108	81.2%	101	93.5%
		平成26(2014)年度	142	114	80.3%	108	94.7%
		平成27(2015)年度	134	112	83.6%	111	99.1%
		平成28(2016)年度	148	123	83.1%	118	95.9%
		平成29(2017)年度	155	135	87.1%	130	96.3%

過去５年間の就職実績　　【資料６】

学部	学科・専攻	年度	卒業者数	就職希望者数	就職希望率	就職決定者数	就職決定率
生活科学部	人間生活学科	平成25(2013)年度	120	109	90.8%	107	98.2%
		平成26(2014)年度	90	84	93.3%	82	97.6%
		平成27(2015)年度	96	87	90.6%	86	98.9%
		平成28(2016)年度	82	77	93.9%	76	98.7%
		平成29(2017)年度	102	99	97.1%	99	100.0%
	食物栄養科学科 食物科学専攻	平成25(2013)年度	75	60	80.0%	58	96.7%
		平成26(2014)年度	62	53	85.5%	53	100.0%
		平成27(2015)年度	66	61	92.4%	61	100.0%
		平成28(2016)年度	58	54	93.1%	54	100.0%
		平成29(2017)年度	58	54	93.1%	54	100.0%
	食物栄養科学科 管理栄養士専攻	平成25(2013)年度	80	61	76.3%	60	98.4%
		平成26(2014)年度	92	83	90.2%	77	92.8%
		平成27(2015)年度	96	82	85.4%	77	93.9%
		平成28(2016)年度	92	75	81.5%	72	96.0%
		平成29(2017)年度	74	64	86.5%	59	92.2%
合計		平成25(2013)年度	1,480	1,224	82.7%	1,185	96.8%
		平成26(2014)年度	1,469	1,219	83.0%	1,186	97.3%
		平成27(2015)年度	1,496	1,303	87.1%	1,282	98.4%
		平成28(2016)年度	1,516	1,318	86.9%	1,292	98.0%
		平成29(2017)年度	1,491	1,291	86.6%	1,271	98.5%

過去５年間の企業規模別就職者数　　【資料７】

	平成25（2013）年度		平成26（2014）年度		平成27（2015）年度		平成28（2016）年度		平成29（2017）年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率％
巨大企業	163	13.8%	185	15.6%	207	16.1%	203	15.7%	182	14.3%
大企業A	268	22.6%	285	24.0%	338	26.4%	340	26.3%	351	27.6%
大企業B	144	12.2%	132	11.1%	159	12.4%	125	9.7%	160	12.6%
中企業	267	22.5%	257	21.7%	240	18.7%	297	23.0%	252	19.8%
小企業	230	19.4%	212	17.9%	223	17.4%	231	17.9%	227	17.9%
その他	113	9.5%	115	9.7%	115	9.0%	96	7.4%	99	7.8%
合　　計	1,185	100%	1,186	100%	1,282	100%	1,292	100%	1,271	100%

※巨大企業（従業員5,000人以上）、大企業A（4,999人～1,000人）、大企業B（999人～500人）、中企業（499人～100人）、小企業（100人未満）

従業員数が不明の場合は小企業に含む

その他＝公務員など

過去５年間の都道府県別求人件数

【資料８】

	平成25（2013）	平成26（2014）	平成27（2015）	平成28（2016）	平成29（2017）
北海道	40	35	40	40	33
青森県	2	1	2	3	2
岩手県	3	5	4	2	1
宮城県	10	7	12	8	5
秋田県	8	3	5	3	5
山形県	1	3	0	2	2
福島県	8	8	9	6	5
茨城県	19	19	17	20	14
栃木県	8	12	16	13	13
群馬県	37	26	23	23	28
埼玉県	40	35	54	63	81
千葉県	41	40	52	75	74
東京都	813	863	1,011	1,082	1,076
神奈川県	98	124	104	104	140
新潟県	11	10	11	13	11
富山県	47	47	44	38	38
石川県	64	61	73	54	54
福井県	43	46	40	67	44
山梨県	20	16	21	19	6
長野県	39	57	70	52	46
岐阜県	32	38	34	33	27
静岡県	109	105	92	70	73
愛知県	157	183	165	124	124
三重県	67	85	94	71	75
滋賀県	120	115	140	144	123
京都府	444	457	463	474	420
大阪府	1,204	1,384	1,508	1,557	1,441
兵庫県	285	328	331	390	381
奈良県	102	146	193	205	176
和歌山県	47	43	57	48	50
鳥取県	72	30	89	89	76
島根県	17	16	33	46	39
岡山県	94	92	113	95	117
広島県	103	124	128	128	112
山口県	45	47	48	53	43
徳島県	38	36	42	46	39
香川県	36	31	34	43	59
愛媛県	44	36	34	36	33
高知県	19	26	20	28	23
福岡県	80	90	102	93	65
佐賀県	14	17	14	17	10
長崎県	23	19	20	14	23
熊本県	21	17	14	11	11
大分県	17	10	16	10	14
宮崎県	9	8	11	13	8
鹿児島県	19	24	29	30	28
沖縄県	4	17	10	17	13
海外	0	1	4	4	3
合計	4,574	4,943	5,446	5,576	5,284